

令和 2 年 度

教 育 要 覧



市立小中学校普通教室へエアコン設置
(令和元年7月完了)

下関市教育委員会

下 関 市 民 憲 章

平成 19 年 2 月 13 日 制定

わたしたちは、美しい自然と古い歴史に恵まれたふるさと下関市を愛します。

わたしたちは、下関市民であることに誇りと責任を持って、互いに心を寄せあい、新しい理想のまちづくりをめざしてこの憲章をかかげます。

- わたしたちは **し** 自然の恵みを大切にします。
- わたしたちは **も** 燃え立つ心を大切にします。
- わたしたちは **の** 伸びゆく力を大切にします。
- わたしたちは **せ** 先人の訓えを大切にします。
- わたしたちは **き** 協働の営みを大切にします。

市の花「ハマユウ」



市の動物「クジラ」



市の鳥「ペンギン」



市の木「クスノキ」



市の花木「ツツジ」



市の花木「サクラ」



市の魚「フク」



市の虫「ホタル」

はじめに

本市では、「まちの誇りと自然の恵みを未来へつなぐ 輝き海峡都市・しものせき」を基本理念とし、その実現に向けたまちづくりを推進しております。そのまちづくりの基礎となる教育について、本市教育委員会では「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志 ～学びが好きな子ども 学びの街・下関～」を教育理念とし、様々な教育課題に取り組んでいるところです。

夢に挑戦し、夢をかなえるのは、学び続けることで成長した未来の自分です。社会の変化に合わせて自分を変化させなければ、生き抜くことはできません。変化し成長するためには「学びが好き」でなくてはなりません。

一方、Society5.0の到来など、大きな社会変革期において、令和2年3月、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、前例のない学校の長期臨時休業を実施しました。5月14日に学校を再開しましたが、新しい生活様式を取り入れるとともに、学校運営においても様々な対策を講じることが求められています。その一環として、GIGAスクール構想の加速による学びの保障に向けて、オンライン学習環境の整備を進め、子どもたちの学びや創造性を育み、学校における働き方改革につなげて参ります。

さて、近年の厳しい気象状況の中、子どもの熱中症対策と学習環境を改善するために、令和元年度に幼稚園の保育室、小・中学校の普通教室にエアコンの整備を行い、夏季の教育活動の環境改善を進めることができました。また、教員が子どもと向き合う時間・授業と向き合う時間を確保し、各学校における「学びが好きな子ども」の育成にむけた体制づくりの一環として、令和2年度から、小・中学校の夏季休業を短縮することとしました。

このたび刊行いたします本書は、本市教育委員会の取組を紹介するとともに、委員会内各課所館で取り組んできた事業の成果を取りまとめた内容となっております。

皆様方におかれては、本書をご高覧いただき、本市教育行政に対してなお一層のご理解とご協力を賜われますようお願い申し上げます。

下関市教育委員会
教育長 児玉典彦

目 次

～ 本 編 ～

◆ 下関市の教育

1	下関市の概要	1
2	教育委員会	2
(1)	教育長・教育委員	2
(2)	教育委員会議決事項等	3
3	下関市教育理念	5
4	令和元年度教育施策の実施状況	6
1.	子供たち一人ひとりの生きる力を育てます	6
2.	学校の教育力を高めます	11
3.	社会全体の教育力を高めます	14
4.	生涯を通じて学ぶ機会を提供します	16

～ 資料編 ～

I 学校教育関連資料

1	下関市学校教育指導上の努力点	23
2	市立学校一覧	24
(1)	幼稚園	24
(2)	幼保連携型認定こども園	26
(3)	小学校	28
(4)	中学校	30
(5)	高等学校	30
3	令和2年度研修計画	32
4	令和2年度研究事業一覧	33
5	下関市教育研究会	34
(1)	令和2年度部会一覧	34
(2)	研究主題	34
6	外国語指導助手派遣推進事業	34
7	特別支援教育	35
(1)	特別支援学級設置状況	35
(2)	通級指導教室活動実態	37
(3)	令和2年度就学支援状況	37
(4)	特別支援学級生徒の進路状況	38
(5)	下関市特別支援教育支援員配置状況	38
(6)	令和2年度に新設された特別支援学級	38
8	就学援助	38
(1)	就学援助費	38
(2)	特別支援教育就学奨励費	38
9	下関市奨学金制度	39

10	園・学校訪問	39
11	学校保健	40
(1)	令和元年度健康診断における疾患・異常	40
(2)	令和元年度負傷・疾病の種類別災害発生状況	41
(3)	令和元年度児童・生徒の体位比較	42
12	学校給食	42
(1)	学校給食実施状況	42
(2)	献立の作成から実施まで	42
(3)	令和元年度就学援助費(給食費)	43
(4)	学校給食共同調理場	43
13	生徒指導	44
14	教育相談	45
(1)	相談体制	45
(2)	令和元年度教育相談受理状況	45

II 生涯学習関連資料

1	社会教育委員	46
2	図書館	46
(1)	中央図書館	46
(2)	彦島図書館	47
(3)	長府図書館	47
(4)	菊川図書館	48
(5)	豊田図書館	48
(6)	豊浦図書館	48
(7)	豊北図書室	48
3	公民館活動	49
(1)	公民館運営審議会	49
(2)	公民館設置状況	49
(3)	公民館利用状況	50
4	下関市生涯学習プラザ	51
5	生涯学習センター	52
(1)	豊田生涯学習センター	52
(2)	豊北生涯学習センター	52
6	菊川ふれあい会館	53
7	その他社会教育施設	54
(1)	豊浦ふれあいセンター	54
(2)	宇賀ふれあいセンター	54
(3)	小野ふれあいセンター	54
8	成人教育	55

(1)生涯学習まちづくり出前講座	55
(2)市民文化セミナー	58
(3)関門海峡・温故知新塾	58
(4)市民学級	58
(5)社会教育関係団体	60
(6)PTA地域活動	60
9 家庭教育	61
(1)地域ふれあい活動	61
(2)家庭教育学級(幼稚園・こども園)	62
(3)家庭教育学級(小学校)	62
(4)女性団体の育成	63
10 下関みらい塾事業	64
11 豊田ホテルの里ミュージアム	64
12 青少年教育	65
(1)青少年健全育成事業	65
(2)青少年非行防止対策業務	67
(3)青少年教育施設	68

Ⅲ 学術文化関係資料

1 美術館	70
2 歴史博物館	72
3 東行記念館	74
4 考古博物館	75
5 土井ヶ浜遺跡・ 人類学ミュージアム	77
6 烏山民俗資料館	80
7 豊北歴史民俗資料館	81
8 文化財保護	83
(1)下関市文化財保護審議会	83
(2)施設	83
(3)調査・保存修理	84
(4)市内の文化財	84
9 埋蔵文化財調査	95
(1)埋蔵文化財調査実績	95
(2)周知の埋蔵文化財包蔵地 (遺跡)件数	95
(3)愛護・普及活動	95
(4)主な埋蔵文化財発掘調査 成果概要	96
(5)史跡管理・保存活用	97

Ⅳ その他資料

1 教育委員会	99
(1)機構及び事務分掌	99
(2)職員配置	100
(3)教育費予算	101
2 教育年譜	102

表紙

市立小中学校普通教室へエアコン設置

近年の厳しい気象状況の中、子どもの熱中症対策と学習環境を改善するため、幼稚園の保育室、小・中学校の普通教室にエアコンを設置しました。

(写真は、令和元年6月25日熊野小学校にて、市長がエアコンの電源を投入した様子)

◆ 下関市の教育

1 下関市の概要

(1) 下関市の概況

本州の最西端に位置し、日本海・関門海峡・瀬戸内海と三方を海に開かれた下関市は、早くから大陸文化流入の先進地として開け、各域に多くの遺跡・文化財が残されている。

気候は温暖で、緑に富んだ景観は海の青とともに美しく、風水害の少ない住み良い自然環境をもつ都市である。

特に関門海峡は、対岸の門司と「呼べば応える」といわれるほどに狭く、関門橋の架橋下ではわずか700mたらずであり、また、この海峡は幾度も歴史上の舞台となった。

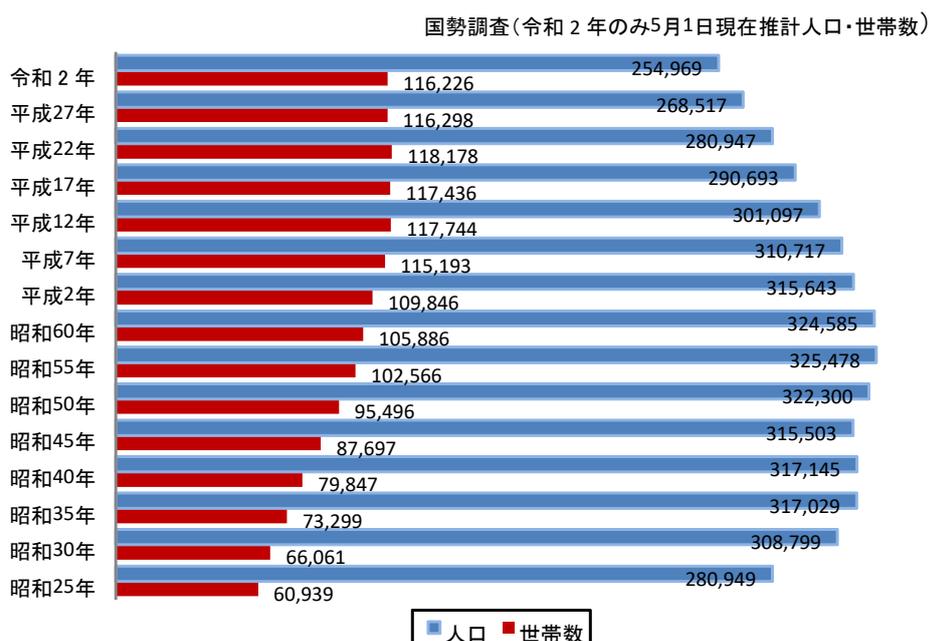
本市は、明治22年全国で初めて市制が施かれた31市の中の一つ赤間関市として誕生した。やがて山陽本線の開通、関門連絡船や関釜連絡船の就航等によって、九州はもとより大陸への門戸として再び活況を呈した。昭和20年、戦災によっていったんは市街が焼土と化したのが、まもなく復旧を遂げ関門国道トンネルや中国縦貫自動車道・関門橋の開通、関釜フェリー航路の開設や山陽新幹線の乗入れなどと、交通体系も大規模な整備がなされた。

平成17年2月には、豊浦郡4町（菊川町、豊田町、豊浦町、豊北町）との合併により新しい下関市が誕生し、平成17年10月には中核市へ移行した。

現在、下関市は、関門海峡や響灘をはじめとする豊かな自然や歴史、地場産業に蓄積された高度な技術などを活用し、中核市にふさわしい「まちの誇りと自然の恵みを未来へつなぐ輝き海峡都市」を目指して躍進している。

【面積】	715.89 k m ²	(平成27年10月1日現在)
【人口】	254,969人	(令和2年5月1日現在)
【世帯】	116,226世帯	(令和2年5月1日現在)

(2) 人口・世帯数の推移



2 教育委員会

(1) 教育長



教 育 長
児 玉 典 彦

教育委員



教育長職務代理者
小 田 耕 一



委 員
藤 井 悦 子



委 員
吉 村 邦 彦



委 員
佐 々 木 猛

(令和2年5月1日現在)

役 職 名	氏 名	職 業	任 期
教 育 長	児 玉 典 彦	公 務 員	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日
教 育 長 職 務 代 理 者	小 田 耕 一	農 業	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 4 月 19 日
委 員	藤 井 悦 子	歯科医院 事 務 長	自 平成 31 年 4 月 20 日 至 令和 5 年 4 月 19 日
委 員	吉 村 邦 彦	会 社 役 員	自 平成 30 年 4 月 20 日 至 令和 4 年 4 月 19 日
委 員	佐 々 木 猛	保 険 代 理 店 代 表 者	自 令和 2 年 4 月 20 日 至 令和 6 年 4 月 19 日

(2) 教育委員会議決事項等（令和元年度）

開催日	会議区分	議 案 件 名
H31. 4. 19	定例会	教育功労者表彰（篤行表彰）について
		下関市立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市立学校職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部を改正する規則
		下関市立小・中学校教科用図書の採択実施要領等の一部改正について
R1. 5. 21	定例会	下関市立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		令和元年度下関市教育支援委員会委員の委嘱について
		下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について
		令和2年度使用下関商業高等学校教科用図書の採択について
		下関市立公民館運営審議会委員の委嘱について
		下関市社会教育委員の委嘱について
		下関市文化財保護審議会委員の委嘱について
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム運営協議会委員の委嘱について		
R1. 6. 27	定例会	下関市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令
R1. 7. 30	定例会	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書について
		令和2年度使用下関市立中学校教科用図書の採択について
		令和2年度使用下関市立小学校教科用図書の採択について
		下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について
		下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の委嘱について
		豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員の委嘱について
		豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について
R1. 8. 22	定例会	令和元年度教育予算の補正（9月）について
		下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則
		令和2年度使用下関市立小・中学校一般図書の採択について
		令和2年度使用下関商業高等学校教科用図書の採択について
		下関市立美術館協議会委員の委嘱について
R1. 9. 30	定例会	教育功労者表彰について
		下関市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則
		下関市学校運営協議会規則の一部を改正する規則
		下関市指定管理候補者選定委員会（下関市生涯学習プラザ）委員の委嘱及び任命について
		下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱について
		教育委員会の職員の任免について
R1. 10. 25	定例会	下関市立学校適正規模・適正配置検討委員会委員の委嘱及び任命について
		下関市烏山民俗資料館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市菊川ふれあい会館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市菊川青年交流館の設置等に関する条例を廃止する条例
		財産の取得について
		下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則
		下関市立図書館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市立図書館の設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則

開催日	会議区分	議 案 件 名
R1. 10. 25 (つづき)	定例会 (つづき)	下関市ふれあいセンターの設置等に関する条例の一部を改正する条例
R1. 11. 25	定例会	令和元年度教育予算の補正（12月）について
		下関市指定文化財の指定について（角島灯台）
		豊田ホテルの里ミュージアムの設置等に関する条例の一部を改正する条例
		豊田ホテルの里ミュージアムの設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		下関市指定文化財の内容変更について（青井古墳群）
		下関市指定文化財の内容変更について（涌田青井の台場）
		下関市指定文化財の内容変更について（和久古墳）
R1. 12. 26	定例会	教育功労者表彰（篤行表彰）について
		令和2年度下関市立幼稚園教職員人事異動方針について
		令和元年度 下関市立学校教材審査会委員の委嘱について
R2. 1. 28	定例会	教育委員会の職員の任免について
R2. 2. 21	定例会	令和2年度教育予算について
		令和元年度教育予算の補正（3月）について
		教育功労者表彰（篤行表彰）について
		下関市指定文化財の指定について（絹本著色虚庵玄寂像）
		下関市指定文化財の指定について（板絵著色潮音院住持等像）
		財産の取得について
		下関市立高等学校会計年度任用講師の給与等に関する条例
下関市立高等学校会計年度任用講師の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例		
R2. 3. 4	臨時会	令和2年度 小・中学校教職員の人事異動について
		令和2年度 幼稚園教員の人事異動について
		令和2年度 教育技能士・校務技士・学校給食調理員の人事異動について
R2. 3. 27	定例会	下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則
		下関市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則
		下関市教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則
		下関市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令
		下関市立学校の会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する規則
		下関市立学校職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部を改正する規則
		下関市立図書館運営協議会規則の一部を改正する規則
		下関市菊川青年交流館の設置等に関する条例施行規則を廃止する規則
		下関市幼稚園管理規則の一部を改正する規則
		下関市職員の勤務時間等の特例に関する規則の一部を改正する規則
		教育委員会及び教育機関の職員の任免について
令和2年度 下関商業高等学校教職員の人事異動について		

3 下関市教育理念

夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志

～学びが好きな子ども 学びの街・下関～

現在、少子高齢化の進行やグローバル化・高度情報化の進展に伴い、家庭や地域社会の変容、個人の生活スタイルの多様化等、私たちをとりまく環境は大きく変化しています。

こうした変化や複雑化・多様化する様々な課題に柔軟に対応し、誰もが未来に向けてよりよく生きることができるよう、生涯にわたって学び続けることが大切です。そして、学びから得た力を自分のためだけでなく、社会全体のために役立てようとする心情・態度を育てることが、現在求められています。

そこで、下関市教育委員会では、上記の教育理念を掲げ、教育のさらなる充実・発展に努めてまいります。

「夢への挑戦」には、自分の可能性を信じ、夢に向かってあきらめずに挑戦してほしいという願いが込められています。

夢へ挑戦するためには、「生き抜く力」が必要となります。

【生き抜く力】

- どのような状況においても、主体的に課題を探求する力
- 柔軟に物事をとらえ、的確に判断し、行動する力
- 他者を思いやり、感謝する心や感動する心等の豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力
- 世界的な視野をもち、多様な集団において人間関係を形成し、協働する力

このような力を身につけて、郷土の自然や人、歴史、伝統、文化に「誇り」をもち、「志」を胸に抱いて社会で活躍する人材を育てていきたいと考えます。

社会の変化に合わせて自分を変化させ、成長するために必要な資質は、「学ぶ力」です。一人ひとりが「学ぶ力」を身につけ、学び続けることが、より豊かな人生を歩むためには欠かせません。

しかし、その「学ぶ力」は、自分の幸せだけでなく、より豊かな郷土・下関の形成に寄与できる力でなければなりません。

夢に挑戦し、夢を叶えるのは、学び続けることで成長した、未来の自分です。

「学ぶ力」を育成し、「学びが好きな子ども」を育て、「学びの街・下関」の実現に向けて下関市教育に力を尽くしてまいります。

4 令和元年度教育施策の実施状況

1. 子供たち一人ひとりの生きる力を育てます

(1) 確かな学力の育成

①基礎基本の定着と学力の向上

ア) 学習指導の充実 〈教育研修課〉

各学校における授業改善を推進するために、新学習指導要領の全面実施に向けて「下関スタンダード（授業を振り返る）」※1を配付するとともに、研修会を開催し、効果的な活用の仕方等について周知を図った。併せて、指導主事による計画的な学校訪問や研修支援訪問、学校からの要請に応じた訪問等を行い、「子供の実態を踏まえた授業」「かかわり合いのある授業」「見通しと振り返りのある授業」の更なる推進を図った。若手教員（1～3年目）の指導力の向上については、若手育成1000日プラン（たんぼぼ作戦）の実施により、定期的に指導助言を行うとともに、特に支援を要する教員には重点的に関わるように努めた。

また、学習指導の充実に向けて、中学校区ごとに児童生徒の課題を協議する学力向上連絡協議会を開催し、学力の向上に向けた共通取組事項を定め、学習規律や家庭学習の手引きを作成する等、積極的な取組が行われている。

※1「下関スタンダード（授業を振り返る）」：市内の学力向上推進リーダー、推進教員、英語教育推進教員を中心に作成したリーフレット。新学習指導要領全面実施に向けて、①これまでの指導観を見直し、新しい視点を意識する、②市内の児童生徒の実態から最低限身に付ける力を再確認する、③「学びが好きな子ども」の育成の視点から「下関市らしさ」の視点を共通理解する、という3つの目的を踏まえて完成した。

イ) 学力調査の活用 〈教育研修課〉

全国学力・学習状況調査及び県確認問題（4月）と山口県学力定着状況確認問題（10月）を利用して、各校の課題に応じた指導助言を行うことで、年間2回の検証・改善サイクルの確立を推進した。また、各学校が児童生徒の実態や学校の課題に応じて必要と考える知能検査や学力検査など各種調査を実施できるよう体制を整備している。

ウ) 学力向上プランの活用 〈教育研修課〉

確かな学力の定着に向けて教員の授業力向上を目指し下関市学力向上プランを作成し、本市における重点事項等について周知を図るとともに、各学校における学力向上プランの作成・活用について、年間2回の検証・改善のサイクルを確立し、より効果のある計画となるよう指導助言を行った。

エ) 家庭学習の充実 〈教育研修課〉

学びの習慣化に向けて指導の工夫・改善を図るため、各校において「家庭学習の手引き」の作成とその活用を奨励した。また、中学校区で開催する下関市学力向上連絡協議会において学力向上に向けた取組について協議し、小中連携の9年間の連続した学びを意識して、中学校区で共通の「家庭学習の手引き」の作成やノーメディア・デーや中学校の定期試験に合わせた小学校における学習週間の設定等を行う校区が増加している。

②時代の進展に対応した教育の推進

ア) 小中連携の促進 〈教育研修課〉

小中連携については、コミュニティ・スクールの取組がより一層進み、小・中学校の共通課題に応じ各中学校区での協議会設置や合同の研修会、熟議の開催など、小・中学校教職員の相互理解が深まり、互いに協力して児童生徒を育てていこうとする意識が高まるとともに、小・中学校が目指す児童生徒像に向け協力できる体制が更に整ってきている。

また、小・中学校間における「乗り入れ授業」や「出前授業」の取組を進めている学校が増えてきており、小・中学校における接続期のなめらかな連携及び教員の小中連携にもつながっている。小中連携に関する研修会を実施し、小中連携の効果的な進め方等について学ぶ機会を提供した。

さらに、県教育委員会の小中連携に関わる指定事業を受け、特に授業力向上の面での連携を深め、研修会等で他の校区にもその成果を広めた。

イ) へき地・複式教育の充実 〈教育研修課〉

へき地及び複式学級を有する学校（12校）の学校運営や学習指導等についての改善を図るため、指定校研究協議会を吉田小学校で開催し、公開授業及び部会ごとの研究協議、研究の取組紹介等を行った。学習の個別化、活躍の場の保障等といった、一人ひとりを大切にされた指導が小規模校の強みであることを再認識するとともに、地域の特色を生かした教育の推進について研修を行い、理解を深めた。

ウ) 情報教育の推進 〈教育研修課／学校支援課〉

学校における「教科指導におけるICTの活用推進」及び「校務の情報化の推進」等を図るため、ICT推進委員会を開催した。

また、タブレット端末の導入に伴い、その操作や活用方法に関する研修会を行うとともに、タブレット端末の基本的な操作や活用例を掲載した事例集の活用促進を図るなど小・中学校におけるICT活用推進のための環境整備等を行った。併せて、校務の電子化に向けて、ICT推進委員会において、教職員からの個別相談に応じた支援を行うなど、校務の効率化を図ることができるよう環境整備を行った。

さらに、プログラミング教育の導入に向け、専門的知識を有する山口県立下関工科高等学校と連携し、小学校における研修会や授業に講師を派遣した。

エ) 外国語教育の充実 〈教育研修課〉

外国語指導助手（ALT）を下関商業高等学校及び認定こども園、幼稚園、小・中学校に派遣し、外国語教育の充実に努めるとともに、ALTとの交流を通して国際交流及び相互理解の促進を図った。高等学校と中学校での英語科授業への派遣と、小学校外国語活動での補助として、12人のALTを延べ2,600日程度派遣した。

小学校外国語活動に係る研修会では、指導経験に応じたプログラムを用意し、模擬授業等を通じて、指導力と実践力の向上を図った。また、2日間のイングリッシュ・キャンプでは、ALTとの様々なコミュニケーション活動を通して、英語に対する興味・関心を高めるとともに、国際理解を深めることができた。

令和2年度から小学校において中学年で外国語活動が行われることに加えて、高学年では新たに外国語科の指導が始まる。各学校における外国語指導が円滑に進むよう、年間計画や時間割の作成例などについて情報提供を行った。

また、小学校5・6年生における外国語科、小学校3・4年生における外国語活動が本格実施となるため、国や県の動向を把握し、各学校において、その実施が円滑に進むよう新たな手立てとして、英語に^{たん}堪能な外国語指導支援員（Eサポ）を16人配置した。

③ キャリア教育の推進**ア) 発達段階に応じたキャリア教育の推進 〈教育研修課〉**

「フォローアップ（2年次）研修」において「キャリア教育の推進」、「中堅教諭等資質向上研修Ⅰ」において「地域とつながるキャリア教育」をテーマに講義を行った。受講者は、採用2年目の若手教員や学校の中核を担う年代の教員であり、学校のキャリア教育の充実に寄与するための知識等を修得した。

また、産業立地・就業支援課が実施した「未来創造jobフェア^{※1}」に市内中学生が参加し、市内の企業について学ぶなど本市にふさわしいキャリア教育を推進することができた。

加えて、令和2年度から全ての小・中・高で実施される「キャリア・パスポート^{※2}」についての準備及び各校への周知を行った。

※1 「未来創造jobフェア」：地元下関の企業・団体をわかりやすく紹介し、仕事の魅力や地域社会とのかかわり等を体験することで、働くことの意味やビジョンを描く集合型職業体験イベント

※2 児童・生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心とし、各教科等と自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたもの

④ ビジネス教育の推進**ア) ビジネス教育の推進 〈下関商業高等学校〉**

ビジネス社会に適応できる人材を育てるため、ビジネスに関する専門的な知識・技術の習得、保護者・地域との連携、学校行事・部活動の活性化を図った。簿記等に関しては、公認会計士試験や税理士試験、日本商工会議所簿記検定1級、全国経理教育協会主催簿記能力検定上級試験合格又はこれに準ずる専門知識の習得を目途に学習を進めており、高大連携授業の結果が出せる体制が整ってきた。

イ) 情報処理教育の充実 〈下関商業高等学校〉

生徒が下関商業高等学校コンピュータシステムを利用できるように、パソコン等電算機器及び校内ネットワークを導入している。

(2) 豊かな心の育成

①思いやりのある豊かな心を育む教育の推進

ア) 道徳教育の充実 〈教育研修課〉

「特別の教科 道徳」が全面実施され、各小・中学校においては、学校の道徳教育の目標や重点内容項目の明確化、「考え、議論する道徳」の授業づくりが進められた。

また、小・中学校ともに、県教育委員会が作成した指導資料の紹介をすることで、道徳教育推進教師^{※1}の役割や特色ある道徳教育の実践事例・取組の啓発を行った。さらに、各学校における「考え、議論する道徳」の授業づくりを推進するために、「子供にとっても教師にとっても楽しみになる～下関市版～『考え、議論する道徳』の授業づくり^{※2}」を作成した。

また、県教育委員会から「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト（平成30・31年度指定：西市小学校、令和元・2年度指定：木屋川中学校）の指定を受けるとともに、道徳教育研修会の開催等を通して、授業の質の向上に努めた。

※1「道徳教育推進教師」：校内の道徳教育の指導体制の中心として位置付けられた道徳教育の推進を主に担当する教師

※2「子供にとっても教師にとっても楽しみになる～下関市版～『考え、議論する道徳』の授業づくり」：市内の道徳教育サポート教員を中心に作成したリーフレット（令和2年4月配付）

イ) 人権教育の充実 〈教育研修課〉

人権教育の推進状況を把握するための調査を行い、各学校における人権教育の現状及び課題を把握するとともに、改善に向けた指導を行った。

併せて、「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」並びに県教育委員会作成の「学習展開例」を活用し、各学校において人権教育及びその研修が更に推進されるよう指導を行った。

また、人権教育研修会を開催し、講義等を通して学校における人権教育について理解を図るとともに、初任者研修、フォローアップ（2・3年次）研修、6年次研修、中堅教諭等資質向上研修など、全ての義務研修において人権教育に関する研修講座を実施し、計画的に人権教育の研修を行った。

ウ) いのちの教育の充実 〈教育研修課〉

「下関市いのちの日」における「命の尊厳」について考える取組の充実として、外部講師を招いた講演会を実施するなど、保護者、地域関係機関と連携した取組を進め、自他の生命を尊重する心や思いやりの心を育む取組の充実を図った。「特別の教科 道徳」等との関連を図りながら、計画的、継続的に実施することが必要である。

エ) 特別活動の充実 〈教育研修課〉

特別活動の推進により、子供たちがより良い生活や望ましい人間関係を築くことを目指している。

各小・中学校においては、9年間を通じた自然体験活動やボランティア活動等、体験活動の充実やAFPY[※]等、人間関係づくりのプログラムを計画的に実施することで特別活動の充実を図っている。

※AFPY…他者と関わり合う活動を通して個人の成長を図り、豊かな人間関係を築くための考え方と行動の在り方を学び合う山口県独自の体験学習法

オ) 読書活動の充実 〈教育研修課〉

各学校においては、朝読書や図書ボランティア等による読み聞かせなど、家庭や地域と連携しながら継続した読書活動を進めている。

また、平成27年度から市内に5人の学校司書を配置し、教員との連携による学校図書館のセンター機能（読書・学習・情報）の向上を図っている。平成28・29年度は、勤務形態を拠点校と兼務校にすることにより、勤務する学校数を増やし、取組の拡大を図った。平成30年度からは5人を増員し10人が32校兼務している。

なお、学校司書を対象とした研修会を年間5回行い、学校司書の資質向上を図った。これまでの成果と課題を検証し、今後の取組につなげていきたい。

カ) 姉妹校交流 〈下関商業高等学校〉

下関商業高等学校から生徒4人及び教職員2人が韓国の開成高等学校を訪問し、交流式典、親善交歓会等の相互交流を行い、両国の善隣友好を担える人材の育成を行った。

また、鹿児島商業高等学校から生徒32人及び教職員7人を下関商業高等学校に迎え、交流会、生徒会交流等を行った。

②ふるさと学習の推進

ア) ふるさと学習に対する支援 〈教育研修課〉

下関歴史マップ（2,400部）を作成し、小学校6年生児童全員に配付した。併せて、夏季休業中の

自由課題として「大すき ふるさと下関 歴史マップ」の作品募集を行い、29校 920点の応募があった。入賞作品は、ゆめシティなど5会場において展示を行い、ふるさと学習の充実を図った。

また、各学校においては、それぞれの実態に応じて「町探検、職場見学、施設訪問、店舗見学、観光マップ制作」等の活動を取り入れ、総合的な学習の時間や社会科、生活科等の各教科指導で地域の特色や人々の営みについて学んでいる。

③つながりを基盤とした青少年健全育成の推進

ア) 生徒指導推進体制の充実 〈学校教育課〉

小・中学校におけるいじめ、暴力行為等の生徒指導上の諸問題の未然防止、早期発見・対応の充実とともに、登下校時を含む児童生徒の安全確保、学校教育に対する保護者からの指摘等に対して、生徒指導推進室が積極的に学校を訪問し、指導・支援の充実を図った。

イ) 青少年補導センターにおける補導、相談の実施 〈生涯学習課〉

青少年補導センター 青少年補導委員 207人

・街頭補導回数	226回	・街頭補導従事者数	409人
・合同補導回数	49回	・合同補導従事者数	450人
・校区補導回数	1,245回	・校区補導従事者数	7,334人
・補導件数	2,856件	・ヤングテレホン 相談件数	207件

④不登校児童・生徒の適応指導の充実

ア) 不登校児童生徒への個別支援の実施 〈学校教育課〉

不登校児童生徒に対して、教育支援教室「かんせい」における体験活動や学習支援、フリースクールとの連携による個に応じた学びの場の提供、「教育相談室」における相談活動等を実施した。

また、学校だけでは対応が困難なケースは「カウンセリングアドバイザー※1」や「スクールソーシャルワーカー※2」を派遣し、状況の改善に努めた。

※1「カウンセリングアドバイザー」：緊急に市教育委員会から派遣する臨床心理士

※2「スクールソーシャルワーカー」：不登校や児童虐待等で家庭環境・生活環境を要因として学校の対応だけでは改善が困難な事案に対して学校に派遣される社会福祉士や精神保健福祉士等の専門家

イ) ふれあいDAYキャンプの実施 〈学校教育課〉

夏季休業中に、自然体験・社会体験を通して集団や社会に適応する力を養うために「ふれあいDAYキャンプ」を実施した。川遊びや野外炊事等の活動は、仲間づくりや異年齢の交流を通じて社会性や協調性、思いやりの心を育てる貴重な場となった。

(3) 健やかな体の育成

①体力の向上

ア) 体力向上プログラムの充実 〈教育研修課〉

全ての小・中学校において体力向上プログラムを作成し、体育科及び保健体育科の授業改善とともに、「柔軟性の向上に向けた取組」、「1校1取組」など、児童生徒や学校の実態に応じた継続的な取組を行った。

イ) スポーツ大会の運営・支援 〈教育研修課〉

小・中学校体育連盟主催の事業に対して支援を行うことによって、児童生徒の体力・競技力の向上を図った。

・小学校体育連盟補助金	1,042千円
・中学校体育連盟補助金	7,119千円

ウ) 選手派遣の支援 〈教育研修課〉

小・中学校体育連盟への補助事業を通して選手派遣を支援することにより、保護者の負担を軽減し、多くの選手が、より多くの大会に参加しやすい環境をつくるよう努めた。

②健康教育の推進

ア) 健康教育に関する研修会・調査研究の実施 〈教育研修課〉

各学校の健康教育の中核を担う、保健体育科担当教諭及び栄養教諭等を対象とした研修会を開催した。

イ) 望ましい生活習慣形成の啓発 〈教育研修課〉

「早寝、早起き、朝ごはん」など、望ましい生活習慣を形成するために、各校での生活アンケート

の活用など、校長会や校内研修会等において指導助言を行った。

全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙における生活習慣に関する結果に着目し、今後の取組について検討していく。

③食育の推進

ア) 地場産給食の推進 〈学校保健給食課〉

地場産食材を使用した学校給食を通じて、地元の農林水産物への理解や郷土愛の醸成に努めた。

- ・地場産食材の地域品目別使用割合

	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
県内産品	67%	65%	61%	59%	59%
市内産品	31%	32%	28%	29%	29%

イ) 食育推進ボランティアの活用 〈学校保健給食課〉

小・中学校へ食育推進ボランティアを派遣し、食育教室を実施した（4回）。

併せて市内の生産者等に対して、食育推進ボランティアへの参加協力を行った。

ウ) 食に関する指導の充実 〈教育研修課〉

市内全小・中学校において、栄養教諭、学校栄養職員による児童生徒の食生活の実態に沿った食に関する授業実践や食に関する指導を行った。

また、食に関する指導の学習効果を上げるために、栄養教諭や学校栄養職員の資質向上、授業力向上につながる研修を進めた。

さらに、食に関する指導研修会（栄養教諭配置校訪問）では、授業研究や参加者のグループ協議などを通して、参加者の学校の実態に応じた食育推進の取組についての支援を行った。

エ) 学校給食の充実 〈学校保健給食課〉

栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の保持増進、体位の向上を図っている。地元の農業や食文化への理解を深めるため、地元の食材を取り入れることで、学校給食の目標の1つである食育の推進を図った。

(4) 子供たちの状況に応じたきめ細かな教育の推進

①特別支援教育の推進

ア) 下関市教育支援委員会の開催 〈学校教育課〉

障害のある子供の状況を正しく理解し、一人ひとりの可能性が最大限に伸ばされる適切な就学先や必要な教育支援について審議するため、下関市教育支援委員会^(*)を開催した。前年度と比較して審議対象児童生徒数は、ほぼ横ばいの状態であるが、教育支援委員会前に実施する就学相談会を含め、児童生徒及び保護者への丁寧な聞き取りや、一人ひとりの状況に即した審議を行うことができた。

〔(*)平成 27 年 4 月 1 日に下関市就学指導委員会から改称〕

イ) 小・中学校への特別支援教育支援員の配置 〈学校教育課〉

特別な支援を必要とする子供が就学する小・中学校において、生活や学習上の困難を改善・克服するため、適切な支援・介助を行う特別支援教育支援員を配置した。

年度当初の配置後も、学校との情報共有を密に行いながら児童生徒の状況把握に努め、支援の必要性の高い学校へ順次、追加配置を行う等、きめ細かな支援体制を整えた。

ウ) 特別支援学級就学に対する助成 〈学校教育課〉

児童生徒の特別支援学級への就学について、就学に関しての特別な事情を配慮し、保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の推進を行った。

エ) 特別支援学級の設備整備 〈学校支援課〉

小・中学校の特別支援学級における教育活動に必要な教材や備品などの整備を行った。

2. 学校の教育力を高めます

(1) 学校の組織力の向上

①組織力を高める取組

ア) 評価を生かした組織的な取組 〈学校教育課／教育研修課〉

市内各小・中学校が、学校評価、教職員評価、授業評価及び各調査結果を通して学校の状況を明らかにするとともに、課題を共有しながら、学校運営協議会委員等、学校関係者からの意見・要望等を取り入れ、実効性のある重点目標を設定した。

また、学校通信やWebページ、保護者会等を通して学校評価の結果を公表することで、学校の課題を家庭、地域と共有し、保護者や地域の意見を反映させる取組を進めた。

②教職員の適切な配置

ア) 教職員の適正な人事管理 〈学校教育課〉

各学校において、教職員一人ひとりがそれぞれのモチベーションやキャリアステージに応じた資質能力の向上を図り、専門性を発揮しながら、特色ある学校づくり、確かな学力の育成や体力の向上、生徒指導の充実、キャリア教育の推進等の諸課題に組織的かつ適切に対応できるよう、全市的な視野に立ち、人事異動を行った。

イ) 非常勤講師の活用 〈学校教育課〉

県教育委員会と連携し、非常勤講師の配置によって、学校の実情に応じた、よりきめ細かな指導が行える体制を整えた。

③校種間の連携の推進

ア) なめらかな接続のための体制づくり 〈教育研修課〉

こ幼保小連携を図るための研修会を開催し、幼児教育長期研修生による報告や校種を越えた意見交流を行った。

同じ中学校区の小学校と各園が、こ幼保小連携の取組について情報交換をしたり、連携の在り方について再確認したりする場を設けたことで、より連携が深まってきている。

小中連携の取組としては、小・中学校の共通課題に応じて各中学校区で協議会を設置したり、小・中学校合同の研修会を開催するなど、小・中学校教職員の相互理解が増し、互いに協力して児童生徒を育てる意識が高まるとともに協力できる体制が更に整ってきている。

また、小中一貫教育についての研究を行うため、平成28・29年度は名陵中学校区、平成30年度からは、長成中学校区を指定校区とし、取組を進めている。

中高連携については、下関地域中高連携教育推進協議会を年3回開催し、県立高等学校の再編整備等に関する情報を共有することができた。

イ) 小中一貫教育の推進 〈教育研修課〉

小中一貫教育の推進のため、平成27年度に「下関市新しい学校づくり推進委員会小中一貫教育部会」を立ち上げ、本市の実情に合った小中一貫教育の研究を開始している。特別委員として学識経験者を講師に迎え、継続的な指導を受けるとともに、先進地視察等を行った。また、平成28年度から2年間、「小中一貫教育研究推進校」として、名陵中学校区を指定し、地域の特色を生かした名陵中学校区にふさわしい小中一貫教育の在り方について研究に取り組んだ。また、平成30年度からは、長成中学校区を研究推進校区として、一小学校一中学校における、よりよい小中一貫教育の在り方について研究している。

さらに、平成28年度から小中連携・一貫教育に関する中核市研修を実施し、教員への研修機会を確保している。

(2) 教職員の指導力の向上

①指導力を高める研修の実施

ア) 教職員の経験に応じた研修の実施 〈教育研修課〉

平成30年3月に策定された「山口県教員育成指標」に基づいて、教職員一人ひとりの資質向上を図るために、「基本研修」・「専門研修」・「希望研修」等、5つの研修体系・研修計画を整え、どの研修が育成指標のどこに対応しているのかを意識した「育成指標対応表」を作成した。

教職員のキャリアステージに対応するため、初任者、2年次、3年次、6年次及び中堅教諭を対象に、

職務に関する専門的知識と実践上の課題について、それぞれの経験に応じた研修を実施した。研修においては、実際の授業を参観したり、模擬授業を行うなど、より実践的な研修になるよう運営の工夫を行っている。

今後は、教育公務員特例法（昭和 24 年法律第 1 号）等の一部改正に基づき教員の研修体制の見直し等を慎重に行い、これからの学校教育を担う教員の資質の向上を目指していく必要がある。

イ) 教職員の専門性を高める研修の実施 〈教育研修課〉

教職員の資質向上を図り、より質の高い教育を提供するため、認定こども園、幼稚園・小・中・高等学校教職員に対して、中核市として市独自に教職員研修講座を全 57 講座開催した。

また、研修内容を整理し、新学習指導要領実践研修会等、教職員のニーズや学校における様々な教育問題に対応した研修会を行っており、研修後のアンケートからは、受講者の満足度が常に高い結果となっている。

さらに、自主研修会「わくわく教師塾」や指導主事等による要請訪問等を引き続き行い、「学びが好きな子ども」の育成・「学びの街・下関」の創造に向けて、自らが学び続ける教職員を目指している。

ウ) 指導主事等の派遣による校内研修などへの支援体制の充実 〈教育研修課〉

全ての認定こども園・幼稚園、小・中学校に、年 1 回研修支援訪問を行うとともに、各園・学校からの要請に応じて、その都度校内研修等に指導主事等を派遣し、教職員の指導力向上のための支援を行った。また、担当園・学校や専門分野を決めて日常的に指導主事等が園・学校訪問を行うことにより、学力向上や生徒指導、特別支援教育、新学習指導要領に関する情報提供等、園・学校の課題に応じたきめ細かな支援に努めた。園・学校と教育委員会が連携を図りながら、研修の成果や課題、今後の方向性を確認する場となっている。

さらに、県教育委員会の園・学校訪問にも同行し、県市が協力して、学校の研修の充実、教員の授業力向上に向けて支援を行った。

②教育センターの整備・運営

ア) 教育センターの整備・運営 〈教育研修課／教育政策課〉

平成 28 年 1 月 29 日に整備工事が完成し、平成 28 年 3 月 22 日から上田中町庁舎で執務していた教育委員会事務局の一部が移転し教育センターの運用を開始し、5 年目を迎えている。

教育センター研修室等全体の令和元年度の稼働率は約 65.9 パーセント、利用延べ人数は 35,135 人となった。

各種研修・会議等が実施されており、教職員の研修拠点として有効活用されている。

(3) 教育環境の整備

①市立学校の適正規模・適正配置の推進

ア) 市立小・中学校の適正規模・適正配置の推進 〈教育政策課〉

第 2 期下関市立学校適正規模・適正配置基本計画※1（計画期間：平成 27 年度～令和元年度）に基づき学校統合に向けた合意形成を進めるため、「学校統合に関する意見交換会」を 5 回開催した。

本計画に示す統合モデルのうち、豊北地区において、令和 2 年 3 月末までに全ての小学校が閉校し、令和 2 年 4 月に新たに豊北小学校として開校することとなった。

また、豊田地区の豊田中小学校（児童数 19 人）において、令和 2 年 2 月に「令和 3 年 4 月に西市小学校との統合を目標とし、統合後の学校位置は現在の西市小学校の位置とすること」が確認・決定され、同年 3 月に豊田中小校区代表者より「学校統合に関する要望書」が市長及び教育長へ提出された。

さらに、同計画の統合モデルのうち、名陵中学校区（名池小学校、王江小学校及び名陵中学校）において、各校区で「新しい学校づくり検討協議会」が設立され、令和 2 年 2 月に第 1 回新しい学校づくり 3 校協議を実施した。

適正規模・適正配置事業を積極的かつ効果的に進めるため、教育に関する専門的知識や経験を有する職員（適正規模アドバイザー）を引き続き配置することで、学校との緊密な連携や保護者・地域住民に対するわかりやすく説得力のある説明等を行い、より一層の事業推進を図った。

また、第 3 期基本計画の策定に当たり、令和元年 12 月に第 1 回下関市立学校適正規模・適正配置検討委員会を開催した。

※1「第 2 期下関市立学校適正規模・適正配置基本計画」：少子化に伴い、市立小中学校の小規模化が進行する中、将来にわたって義務教育の教育水準の維持・向上を図り、子供たち一人ひとりの「生き抜く力」を育てることができる、よりよい教育環境を提供することを目的として策定された計画

②私学教育の振興

ア) 私学に対する助成 〈学校教育課／教育政策課〉

私立学校等の特色ある教育事業を促進し、本市の学校教育の発展を図るため、私立中学校、私立高等学校及び私立専修学校に対し、事業の実施等に係る経費の一部を助成した。

③学校給食施設の管理運営

ア) 学校給食施設の衛生管理 〈学校保健給食課〉

子供たちに安全・安心で栄養に配慮した学校給食を提供するために、学校給食従事者の研修や衛生機器の更新を図り、衛生管理の徹底に努めた。

イ) 給食施設の管理運営 〈学校保健給食課〉

子供たちに安全・安心で栄養に配慮した学校給食を提供するために、^{ちゆう}厨房機器の更新を行うとともに、給食施設の維持管理や食材調達の円滑化に努めた。

④安全な施設、教材教具等の整備

ア) 学校施設の耐震化 〈学校支援課〉

「下関市立小・中学校耐震化計画」に基づいて、計画的かつ効率的に学校施設の耐震化を行い、一定のめどが立った。

イ) 学校施設の長寿命化 〈学校支援課〉

小・中学校施設の9割が建築後25年を経過している状況において、小・中学校施設の老朽化対策を効率的・効果的に進めるため、従来の建替えではなく、長寿命化改修によりコストを抑えながら学校施設の安全面や機能の改善を図り、児童生徒に安全で機能的な教室環境を提供する。

老朽化により劣化の進行した学校施設の構造体（柱、^{はり}梁、壁、床等）の耐久性と建物の安全性を向上させながら、内外装を改修し、機能や性能を現在の学校が求められる水準まで引き上げる小・中学校長寿命化事業に取り組んでおり、長寿命化事業対象校舎の基礎調査を実施中である。

ウ) 学校施設の整備 〈学校支援課〉

小・中学校の安全で安心な教育環境を維持するため学校施設の修繕、改修工事等を実施し、教室の環境に係る望ましい温度を確保するため、小・中学校の普通教室・特別支援教室・通級教室にエアコンの整備を行った。

また、現在の建築基準法に適合しないもの及び大地震の際において倒壊につながるおそれのあるブロック塀の改修を行った。

エ) 教材教具の整備 〈学校支援課〉

小・中学校における教材教具の整備を図った。

オ) 学校図書の実充 〈学校支援課〉

小・中学校の図書室における学校図書の整備を行った。

⑤就学に対する支援

ア) 奨学金の貸付 〈学校教育課〉

有用な人材育成のため、向学心があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な者に対し、学資を貸し付け、支援した。

イ) 学用品費等の援助 〈学校教育課〉

義務教育について、経済的理由によって就学が困難な市立学校（県立中等教育学校を含む。）の児童生徒の保護者へ就学援助を行った。

ウ) 遠距離通学に対する援助 〈学校教育課〉

片道の通学距離が小学校は4キロメートル以上、中学校は6キロメートル以上の児童生徒を対象に、通学費の援助を行った。

エ) スクールバスの運行 〈学校教育課〉

豊田、豊浦、豊北地区において、スクールバスの運行を実施した。

3. 社会全体の教育力を高めます

(1) 家庭の教育力の向上

①家庭への学習支援

ア) 家庭の教育力を高めるための講座の実施 〈生涯学習課〉

家庭教育の充実を図るため、こども園、幼稚園及び小学校において保護者を対象に家庭教育学級を開催した。

②家庭教育を支える組織の育成

ア) 社会教育団体の育成 〈生涯学習課〉

下関市PTA連合会及び下関市連合婦人会に補助金を交付した。

(2) 地域の教育力の向上

①青少年健全育成の体制づくり

ア) 青少年健全育成のための体制整備と啓発 〈生涯学習課〉

青少年健全育成のための市民運動を展開し、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、教育・啓発活動を行った。

イ) 青少年団体への支援 〈生涯学習課〉

青少年団体の育成を図るため、補助金を交付した。

②青少年の交流活動の場づくり

ア) 多様な体験活動の実施 〈生涯学習課〉

深坂自然の森「森の家下関」において、市内の小学校4年生から6年生までを対象にして、「自然の中で生き抜く力を身につけること」を目的としたキャンプを実施した。

青年の家では、自主性と思いやりの心、規範意識を養い、心身ともに成長することを目的とした野外活動を実施し、延べ249人が参加した。

イ) 青少年交流施設の活用の促進 〈生涯学習課〉

青年の家において、青少年の規律ある共同生活と研修を通じて交流を深め、人間関係を育て、学校・地域・職場の活動に貢献できる青少年の育成を図った。

また、菊川青年交流館において、青年の交流を通じた自主的活動（青年団活動）の振興促進を図った。

③地域活動を支える指導者の育成

ア) 指導者に対する研修の実施 〈生涯学習課〉

子供の指導者として活動している人や青少年の健全育成に関心を持つ人を対象に、活動する上で役立つ情報や体験活動・スポーツ等について学ぶことにより、知識・理解を広げ、指導者の資質の向上を図った。

(3) 学校・家庭・地域の連携

①地域とともにある学校づくりの推進

ア) 学校における生徒指導に対する地域連携の強化 〈学校教育課〉

児童生徒の問題行動等に係る実態を把握し、保護者や地域、児童相談所や警察等の関係機関との連絡調整も踏まえ、学校とともに対処策を多角的に検討するなど適切な支援に努めている。

取組の一つとして学校・家庭等に「スクールソーシャルワーカー※1」を派遣し、生徒指導上の課題解決に向けて対応した。

※1「スクールソーシャルワーカー」：不登校や児童虐待等で家庭環境・生活環境を要因として学校の対応だけでは改善が困難な事案に対して学校に派遣される社会福祉士や精神保健福祉士等の専門家

イ) コミュニティ・スクールの推進 〈教育研修課〉

平成24年度に、全ての小・中学校に下関市コミュニティ・スクール運営協議会が設置され、下関市コミュニティ・スクールとして指定し、平成26年7月には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6の規定に基づき、下関市学校運営協議会規則（平成26年教育委員会規則第8号）を定め、全ての学校が法にのっとりコミュニティ・スクールへと移行した。

また、地域と学校をつなぐコーディネーターについては、全小・中学校への配置が平成27年6月に

完了し、研修会を行ってきた。併せて、学校運営協議会委員等を対象とする研修会を開催し、コミュニティ・スクールの取組の充実を図った。

地域において学校運営協議会等を活用した熟議の実施等の支援を行い、学校や地域の特色を生かした地域とともにある学校づくりを引き続き目指す。

地域連携教育推進会議を開催し、下関市立大学天野准教授や地域連携教育特任アドバイザーである山口大学大学院静屋教授からアドバイスをいただき、成果と課題を全体で共有しながら推進を進めている。

各学校長が校区のコミュニティ・スクールの状況をプレゼンテーションにまとめ当該校の児童生徒に対して紹介をするようお願いをしている。

令和元年度の各学校の取組をきらめきネットに掲載するなど、コミュニティ・スクールに対する理解を深め、取組の充実を図った。昨年度は、全国各地から本市のコミュニティ・スクールへの視察が13件、また海外からの視察もあるなど、全国的に注目されている。

ウ) 学校運営協議会の活性化 〈教育研修課〉

学校や地域の「願い」を実現するために、全小・中学校が家庭・地域と一体となり、学校運営・学校支援・地域貢献の充実を目指して学校運営協議会を実施している。学校運営協議会やコミュニティ・スクール事業に関する行事に地域連携教育エリアアドバイザーの安富浩氏を派遣し、活動の価値付けや助言を積極的に行っている。エリアアドバイザー活動を通して各地域の活動の様子を把握し、その情報を更に各地域に伝達していくことで更なる活性化を進めている。

また、小・中学校が合同で学校運営協議会を実施するなど、小中連携も進んでいる。

さらに、学校運営協議会委員を対象に、講演会や実践発表を行った。

エ) 学校応援団の組織化 〈教育研修課〉

公民館、ボランティア団体、PTA、地域住民、地域企業、自治会、ふるさと下関協育ネット、まちづくり協議会、民生委員等多くの団体や個人が学校応援団として活動している。

地域住民・保護者ボランティアによる学校支援体制づくりを目指し、学校に必要な支援内容の明確化と計画的な実施、地域住民と教職員とが協働する場の創出などに取り組んだ。

また、下関青年会議所と連携し、学校の要望を地域が企業等にスムーズに伝わる仕組みを考案している。

オ) 学校と地域との連携の強化・促進 〈教育研修課〉

学校と学校応援団、地域をつなぐコーディネーターを全小・中学校に配置し、スムーズな連携、効果的な取組を促進した。地域連携教職員やコーディネーターが地域と学校を結ぶことで、児童生徒、教職員、地域の方で熟議の開催が増加している。広報戦略課と連携し熟議の様子や活動の様子を市報に掲載している。

また、コーディネーター及び地域連携担当教職員の資質向上及び活動充実のため、研修会を行った。

② 地域の子供を地域で育てる活動の促進

ア) 「ふるさと下関協育ネット」及び「放課後子供教室」の実施 〈生涯学習課〉

地域の教育力向上を図ることを目的として、地域住民等の参画によるふるさと下関協育ネット及び放課後子供教室を実施した。

- ・ふるさと下関協育ネット事業の実施・・・29 小学校、14 中学校
- ・放課後子供教室の実施・・・23 教室

イ) 「放課後子供教室」の「放課後児童クラブ」との連携の推進 〈生涯学習課〉

放課後子ども総合プランに基づき、一体型を中心とした放課後子供教室の放課後児童クラブとの連携に向けて調整を図った。

4. 生涯を通じて学ぶ機会を提供します

(1) 図書館の充実

① 図書館の充実

ア) 図書館基本計画の遂行 〈図書館政策課〉

平成 30 年 3 月に策定した下関市立図書館基本計画に基づき、年次計画を作成した。この年次計画を各図書館が遂行することにより、図書館サービスの充実を図っている。

イ) 図書館サービスの向上 〈図書館政策課〉

・ 図書等の資料の整備・充実

総貸出冊数 1,195,928 冊

総貸出件数 288,009 件

資料購入費 42,645 千円

・ 図書館の施設整備

各地域図書館の維持管理に係る修繕を行った。

雨漏り修繕や、照明器具取替など老朽化した施設の整備、ソファ等の張り替えなどの快適な環境整備を行った。

② 子供の読書活動の推進

ア) 学校貸出用図書の充実と人材の育成 〈図書館政策課〉

学校貸出用図書を整備し、幼稚園・保育所や小・中学校等に貸出を行った。

(2) 生涯学習の推進

① 公民館など生涯学習拠点施設の整備と活用の促進

ア) 公民館等の整備と管理運営 〈生涯学習課〉

生涯学習の推進及びコミュニティ活動拠点として設置している公民館等（公民館 34 館、その他社会教育施設 6 施設）及び、指定管理者制度のもと、生涯学習プラザの管理運営を行った。

イ) 公民館学級の実施 〈生涯学習課〉

各公民館を中心に、地区市民学級や地域ふれあい活動を開催し、地域住民の知識や技能を高めた。

ウ) 各種講座の開催 〈生涯学習課〉

市民のリクエストに応じて職員等が出向く「下関市生涯学習まちづくり出前講座」や本市と北九州市が提携した「関門海峡・温故知新塾」を開催するなど、多様な学習機会の提供に努めた。

また、成人向けに豊かな生き方を学ぶ「市民文化セミナー」のほか、ジャンルを問わず第一線で活躍している方々に自らの人生について語ってもらうことで、子供たちに夢や希望を与え、未来へ向け羽ばたく人材を育成することを目的とする「下関みらい塾」を開催した。

(3) 芸術・学術文化活動の推進

① 美術館の環境整備

ア) 美術館の環境整備 〈美術館〉

省エネルギーで、かつ、文化財の保存に適した LED 照明への取替を行った。

② 博物館など学術文化拠点の整備

ア) 新博物館の整備と長府博物館の改修 〈歴史博物館〉

新博物館建設計画は、博物館資料の収集保管、調査研究、展示活動を行う新館の建設と、教育普及・学習支援活動を行う旧長府博物館の改修とで構成されている。新館は、平成 28 年 11 月 18 日に開館し、順調に運営している。しかしながら、旧長府博物館改修については、改修費用等の課題があり進捗していない。

イ) 共通収蔵庫の整備と土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムのリニューアル

〈土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム／文化財保護課〉

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの敷地内に市域の人類学、考古学及び民俗学に係る資料のうち滅失するおそれのある資料を集約的に保管する各博物館等施設共通の収蔵施設を設置し、市域にある文化財の収集及び適切な保存を図るとともに、これを市民及び観光客に公開することを整備目的として、平成 28 年度から 29 年度にかけて土井ヶ浜整備事業基本構想検討委員会を開催し基本構想を策定した。

平成 30 年度は基本計画策定に至らなかったため、建築関係、観光関係、博物館関係、地域団体等の

外部有識者から意見を伺い、検討を重ねた。また、令和元年度も基本計画策定とはならなかったので、資料の整理、温湿度管理可能な収蔵庫へ収納する必要がある資料の数量などの検討を継続し、基本計画策定に向けて検討を行った。

ウ) 日清講和記念館の改修 〈歴史博物館〉

日清講和記念館については、平成 28 年 4 月 1 日から歴史博物館の分館とし、「公の施設」に位置づけた。

昭和 12 年竣工の日清講和記念館の建物については、経年による劣化が著しいことから、劣化調査及び耐震改修等に係る協議を市関係課所と行ったが、第 2 次総合計画実施計画に未掲載となったため、引き続き検討することとなった。

近年は、台湾、中国、韓国などの東アジア諸国からの来館者が急増していることに加え、日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」の構成資産となったことから、日本語のほか、中国語（簡体、繁体）、韓国語のリーフレットを作成するとともに、SNS による情報発信を積極的に行い観覧者の利便性の向上を図った。

エ) 考古博物館のリニューアル等 〈文化財保護課〉

開館以来 22 年が経過し、設備の老朽化が進み、常設展示の固定化や教育普及事業の定型化などの課題にも直面している。社会変化やライフスタイルの多様化による市民ニーズに対応し、学校教育から生涯学習まで市民の学びに寄与し、共に歩む博物館となるよう、将来の博物館の方針を含めたリニューアル計画を立案するための現況把握と試験的な取組を進めた。

また、博物館利用の促進と市民ニーズの的確な把握の観点から、地域連携を積極的に推進し、及び複数のまちづくり協議会との連携事業の可能性について協議し、実現を模索した。中でも、地元川中地区まちづくり協議会については、昨年度同様に川まち弥生まつり開催への協力を行い、行事開催に向けた準備協議の中から、施設に対する地域ニーズの掘り起こしを行い、今後の継続した展開への手ごたえを得た。

新型コロナウイルス感染症対策に伴い、3 月に予定された行事が中止となったことは残念であるが、今後更に連携を深めたい。

オ) 豊田ホテルの里ミュージアムの展示リニューアル 〈文化財保護課〉

開館後 16 年を経過した豊田ホテルの里ミュージアムの展示をリニューアルし、本市の自然史博物館として整備するための検討を進めた。

また、施設の役割を明確化するために、施設名称の併記（豊田ホテルの里ミュージアム、下関市立自然史博物館）が実現した。

カ) 積極的な学術資料の収集 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、(1)下関の美術の歴史に係る作品、(2)下関の美術の歴史を美術全体の中で位置付けることができる作品、(3)芸術的価値の高い作品を対象とする収集方針に従い、収蔵品の充実に努めている。令和元年度は、合計 18 件の美術資料（作品及び資料）を収集した。収集区分別にその内訳を示すと、寄贈 9 件（度会洞玉作「厩馬図」など絵画 4 件及び清水恒治「江戸市場」など写真 4 件、清水恒治の撮影関係資料 1 件）、寄託 8 件（笹山惟傳「龍門鯉魚図」の絵画 1 件、堀尾信夫「華弁双池研」の工芸 1 件、田能村竹田「芙蓉竹石図」など資料 6 件）、保管転換 1 件（藤田隆治「浜の風景」の絵画 1 件）である。

歴史博物館は、本市の中核的な歴史系博物館・文化財保存公開機関として、博物館展示の質的向上を図るとともに、本市ゆかりの文化財等の散逸を防ぐため、系統的な資料収集及び市内外に所在する本市ゆかりの文化財（古文書、歴史資料、美術工芸品など）の収集を行っている。昨年度は、寄贈が 302 件 424 点、寄託が 9 件 11 点あり、合わせて 311 件 435 点の資料を収集している。主な寄贈資料には、長府藩の奉書や乃木希典書簡などからなる山本家資料、清末藩領貴飯村への沙汰書などを含む松尾家文書、近代に再興された小早川家に伝来した小早川家資料などがある。また、寄託資料には、攘夷戦に際して鑄造された臼砲の模型などを含む木村家資料などがある。なお、平成 28 年度から開始した長府毛利家遺品の計画的な公有化（購入）については、所有者の事情により平成 29 年度は不執行としたが、令和元年度は 5 年計画の第 3 年次として公有化を行った。

豊北歴史民俗資料館においては、国登録有形民俗文化財を国指定重要有形民俗文化財にあげるため、旧下関市域の漁具関係資料の収集整理を実施した。

烏山民俗資料館においては、市域の近代観光関連資料及び市域の近代温泉文化に関する資料の調査・収集を実施した。

豊田ホテルの里ミュージアムにおいては、市域の生物調査及び化石・岩石調査を行い、多数の標本を収集した。

考古博物館においては、昭和 40 年に市内で採取された国内最初の恐竜化石(卵化石)の寄贈を受けた。なお、当該化石は、新種であることが明らかとなり、令和 2 年にマルチフィスウーリトゥス・シモノセキエンシス (Multifissoolithus shimonosekiensis) という下関の地名を冠した学名が命名され、世界的に認知された。併せて、北九州市立自然史博物館所蔵の吉母産出の恐竜足跡化石 2 点について、レプリカ制作を行った。また、響灘沿岸部の古地理変遷とそれに伴う遺跡形成過程や災害史についての基礎的研究を行うため、新潟大学災害・復興科学研究所と共同研究を実施し、地質ボーリングによるコア資料を多数収集した。

キ) 調査研究の充実と関係機関との連携 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、特別展「横山眞佐子と 3 人のゆかいな仲間たち 安野光雅／角野栄子／あべ弘士」開催に伴い、地域で絵本文化の普及に長年貢献してこられた横山眞佐子氏の仕事について調査した。また、特別展「やなせたかしのきせき アンパンマンを生んだひと」に関連して、クラフト作家富田一男の資料を預かり、聞き取り調査を行った。さらに、今年度は昨年度に続き写真家清水恒治氏の作品を収集し、調査・研究を進めた。

考古博物館では、研究紀要第 24 号を刊行した。また、山口県博物館協会が主催する研修会に積極的に参加し、博物館活動の現状と課題などについて知見を深めるとともに加盟館と情報交換を行った。また、新潟大学災害・復興科学研究所との共同研究として、地質ボーリング調査資料に基づく響灘沿岸地域における海岸低地の古地理復元、縄文時代の海進、津波堆積物の有無、弥生時代の水田立地と自然災害の影響等について知見をえるための基礎試料の収集とそれに基づく基礎研究を行った。

歴史博物館では、研究紀要第 1 号を刊行した。また、日本博物館協会中国支部研修会及び山口県博物館協会が主催する研修会に参加し、博学連携などに関する知見を深めるとともに、各加盟館と情報交換を行った。また、日本博物館協会中国支部が主催する総会に参加し、加盟する博物館施設との議論を深めた。

東行記念館では、山口県博物館協会が主催する研修会に参加し、博学連携などに関する知見を深め、各加盟館と情報交換を行った。

豊田ホテルの里ミュージアムでは、下関地域及び山口県内の自然史に関する調査・研究を行い、それらの研究成果の一部をまとめた「豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書第 12 号」を刊行した。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、国内研究機関(鳥取大学、東京大学総合研究博物館、京都大学等)と中国の関係機関(上海博物館、吉林大学等)の所属研究者と共同で中国上海市広富林遺跡出土の新石器時代人骨の研究を継続し、平成 29 年度からは国内の大学及び研究機関と沖縄県白保竿根田原洞穴遺跡出土人骨の共同研究を開始している。また、九州大学アジア埋蔵文化財研究センターと古人骨資料の研究連携・協力に関する覚書に基づき共同研究を実施した。その他に、新潟大学災害・復興科学研究所及び文化財保護課との共同研究として、響灘沿岸地域の地質ボーリング調査に参加した。また、古人骨調査の成果報告と企画展示で使用した配置薬に関する資料の整理について「研究紀要第 15 号」にまとめ刊行した。

烏山民俗資料館では、川棚温泉まちづくり株式会社、川棚コスモス倶楽部と共同で、「川棚温泉ひなまつり」を開催し、開催期間中に「カラスヤマのひな祭り」を実施した。

ク) 魅力的・効果的な展示 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、令和元年度中に、幅広いテーマ設定による特別展と所蔵品展を開催した。特別展としては、「横山眞佐子と 3 人のゆかいな仲間たち 安野光雅／角野栄子／あべ弘士」を企画し、下関の絵本の普及に貢献してきた横山眞佐子の活動を振り返り、横山と特にかかわりの深い 3 人の絵本作家の作品を紹介した。「やなせたかしのきせき アンパンマンを生んだひと」では、子供から大人まで幅広く愛される「アンパンマン」の作者として知られる、やなせたかしの絵本原画や資料を展示し、多彩な制作の軌跡をたどった。また、「書家・金澤翔子展」では芸術性の高い書の作品を展示し、短い会期ながらも多くの観覧者を迎えた。所蔵品展では、狩野芳崖や高島北海、大庭学僊など、地域ゆかりの美術を紹介する 5 本の展示を開催した。

考古博物館では、共催事業である山口県埋蔵文化財センター巡回展「発掘された山口」を皮切りに、特別展「至宝しものせき－梶栗浜遺跡と弥生の墓制－」、発掘速報展「掘ったほ！下関 2019」、「郷台地奇譚 EpisodeⅢ－郷台地の弥生石器とその石材－」を開催し、本市の歴史についての理解を深め文化財に愛着を持つことを目的とした企画展示を開催した。

歴史博物館では、常設展示のほか、企画展示として、「長門国府から長府へ～城下町成立前史～」、高杉晋作生誕 180 年記念企画展「晋作と龍馬」、「源平合戦と下関」、「幕末長州藩の戦いと戦術」、「下

関の文化財—美術工芸品を中心に」を開催した。特別展示では、赤間関市誕生 130 年記念特別展示「下関の鉄道物語」、長府藩初代藩主毛利秀元生誕 440 年記念特別展「関ヶ原一天下分け目と毛利氏の戦い」を開催した。また、関連イベントとして、ミニ講座、展示解説、こども鉄道模型運転会、ミニ SL 展示会、こども制服試着体験、京都鉄道博物館のミニ SL 展示、日本遺産関門“ノスタルジック”海峡巡回パネル展、表千家只楽会呈茶席等のイベントを開催した。

東行記念館では、高杉晋作生誕 180 年記念企画展「赤間関之鎮主高杉晋作」、夏休み子ども向け企画展「ファミリーヒストリー—高杉家のひみつ」、**「猛烈奇兵—晋作が描いた奇兵隊」**、「晋作に魅せられた者たち」の常設企画展を開催した。また、関連イベントとして、展示解説やこども向け展示解説、境内見学、講演会、しんさくクイズなどを実施した。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、「土井ヶ浜遺跡をめぐる謎」「人と病～暮らしの中の薬と治療～」「食の人類学 I 防長菓子ものがたり Part1」を企画展示として開催した。

烏山民俗資料館では、旧宇賀村出身の政治家である湯浅倉平をとりあげた企画展「生誕 145 年記念湯浅倉平」を開催し、旧宇賀村に寄贈された湯浅倉平の遺品を公開した。なお、本展覧会開催を契機として福島県郡山市在住の湯浅本家の方々が来館された際に地元自治会や宇賀村関係者が資料館に集い、湯浅倉平の墓参りや記念碑の案内役を務めるなど、本展覧会を介して郡山の湯浅家と宇賀地区で新たな交流が生まれることとなった。そのほかに企画展を 3 回、所蔵品展を 3 回、合計 7 回の展覧会を開催した。

豊北歴史民俗資料館では、資料整理が終了した農具を 1 年の農作業サイクルに合わせた連続企画展「躍動する民具—土地とともに生きる人々—」を 4 回に分けて季節ごとに開催した。そのほか、「平成のあしあと—太翔館の展示ポスター・チラシからみる平成—」、「夏のすごしかた—くらしとおもちゃ—」、「豊北・下関の伝説—戦と怨霊信仰—」、「変わるくらしと道具—社会の教科書の道具たち」など合計 9 回の展示を開催した。いずれも資料収集・整理活動の成果としての民具、文献資料から地域を考える展示を、地域住民との協力の上で開催した。

豊田ホテルの里ミュージアムでは、企画展として、春季企画展「身近な魚の脳」、蛍季企画展「発光生物の発光器と昼間も見れる光るホテル」、夏季企画展「蛍の生殖と虫の生殖」、秋季企画展「身近なナメクジの体」、冬季企画展「下関のコムカデ」を開催した。さらに、テーマ展として春季テーマ展「下関の常緑樹の葉脈」、夏季テーマ展「収穫標本展 カミキリムシ」、夏季特別企画「世界のカブトムシとクワガタムシ」、秋季テーマ展「下関の代表的な地質」、冬季テーマ展「下関の冬に咲く花」を開催した。

ケ) 普及活動の充実 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では児童から一般まで幅広い層の市民を対象とした美術講座を開催した。展覧会と連動したワークショップでは、展覧会出品作家のあべ弘士氏が講師となり、小学生を対象とした「あべ弘士と動物をつくろう」、クラフト作家富田一男氏を招いた「やなせたかしの詩に絵をつけよう～布の貼り絵～」を開催した。また、富田一男氏による「木のおもちゃであそぼう」では、4 日間の開催で 770 人もの参加者があった。さらに、夏休みには学芸員が講師となり「ストーンペインティング つくろう！海のいきもの・山のいきもの」を開催した。

前年度に引き続き、広報誌など紙媒体によるものとあわせ、フェイスブック、ツイッターなど SNS による告知をし、美術館活動の紹介・普及に努めた。

考古博物館では、館内での体験講座や講演会を多数開催するとともに、館外への出前講座や出前授業も積極的に受け付けた。加えて、アンケートの実施等により、市民ニーズの把握に努めるとともに、新規メニューの試作を行った。そのほか、親しみの持てる博物館として多くの市民に利用されるよう、平成 27 年に設定した公式キャラクター「ぶえ吉」フェイスブックによる博物館情報等の周知や「ぶえ吉」着ぐるみの活用を積極的に行った。地域連携では平成 30 年度から始まった考古博物館等を会場とする「川まち弥生まつり」に合わせ、土器焼成や勾玉づくり等の体験イベントを計画し、博物館での地域行事開催による相乗効果の創出に努めた。

さらに、新潟大学災害・復興科学研究所との地質ボーリング調査を実施するに当たって、今後の考古博物館におけるボランティア活動を考える一環として、考古博物館ボランティアの方々に参加を募り、実際の調査研究の最前線を体験することで、今日における地域に根差した調査研究やボランティア活動の意義について考えを深める契機とした。

歴史博物館では、特別展示及び企画展示の関連イベントとして、ミニ講座、展示解説、こども鉄道模型運転会、ミニ SL 展示会、こども制服試着体験、京都鉄道博物館のミニ SL 展示、日本遺産関門“ノスタルジック”海峡巡回パネル展、表千家只楽会呈茶席等を開催した。また、中学生の職場体験学習、教師の職場研修の受入れ、学校や公益団体、市民団体などの依頼による出前講座や講師派遣に積極的

に対応した。

さらに、歴史講座&展示解説を5回開催し、常設展示室で当館が収蔵する逸品を紹介したほか、新たな試みとして、長府藩初代藩主毛利秀元ゆかりの地を巡る城下町散策イベントを実施した。

東行記念館では、展示に併せて展示解説やこども向け展示解説、境内見学、講演会、しんさくクイズなどを実施した。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、平成26年度から自然人類学体験講座「ホネホネウォッチング」と題して、自然人類学を中心とした体験型の講座を実施し、これらの内容を出前授業として市内の学校、公民館、教育施設等において開催した。また、土井ヶ浜遺跡の出土遺物である貝輪を実際に作る体験講座「貝輪づくり」を開催した。

豊北歴史民俗資料館では、当館の県指定有形建物や所蔵資料である民具を使った小・中学生向けの体験型学習「竹のおもちゃをつくってみよう」、「新春の遊びをしよう」、「昔の道具を使ってみよう」を実施した。本年度から菊舎顕彰会と連携した菊舎を知る談話会をはじめ、豊北郷土文化友の会と連携した歴史文学講座、古文書整理等を実施した。

豊田ホテルの里ミュージアムは、下関市立唯一の自然史系博物館として自然史に関する調査・研究、更に市民向けに様々な体験学習講座（観察会、夏休み講座等）を実施した。また、館内イベントや研究者を招待して講演いただく特別講演会、学校等での出前講座を実施したほか、当館では初めての試みとなる自然史に関する様々な体験講座を1日で体験できる「自然史体験の日」を実施した。

コ) 博学連携の強化 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

考古博物館では、未来を担う子供たちが郷土に誇りを持ち、郷土を愛する若者に育つことを願って、小学校の歴史学習を中心とした学校単位での見学解説を多数行ったほか、中学校の職場体験や教職員の研修受け入れをはじめ、市教育研究会小中学校社会科部会との意見交換などを積極的に行った。加えて、学芸員養成課程に係る学生の博物館実習も実施した。また、今後発生が懸念される大規模自然災害に対する防災・減災を目的とした大学等研究機関との連携研究を推進し、現代社会への博物館としての貢献の可能性を追求した。

美術館では、幼保こども園、小学校の教員を対象とした、幼児教育実技研修会と授業づくり研修会（小学校図工科）兼夏季研修会への講師派遣を行った。研修は、特別展の展示解説と講義実習を併せた形式で実施した。具体的には、美術教育についてのアンケートをもとにした討議、展示のテーマや作品の見方についてのレクチャーと画材を用いた実習を行った。

歴史博物館では、学校行事で来館する児童生徒への対応について学校教員と協議し、授業の進度や歴史の理解力などを十分に把握した上で、展示解説やフィールドワークなどを行った。また、小・中学校の教育研究会社会科部会の研修を受け入れ、学校教育における博物館連携について協議した。

豊北歴史民俗資料館では、豊北・下関北高校との博学連携事業として地域探求を実施し、梅光学院大学と共同で下関市域の庚申信仰の調査を実施した。また、町内小学校と協力し、資料館の展示を実施した。

サ) 博福連携の検討 〈文化財保護課／歴史博物館〉

考古博物館における博福連携の一環として、高齢者福祉施設入所者への広報、誘致を積極的に推進した。また、休憩所弥生の里において、地域の子育て親子の交流促進や子育て関連情報の提供を目的として、就学前の児童とその保護者を対象に地域子育て拠点施設として活用され、非常に好評を博している。施設利用者の児童と保護者には考古博物館への来館を促すため、様々なコラボレーションイベントを積極的に実施し、利用者層の拡大に努めた。

歴史博物館では、老人憩の家や高齢者福祉施設ほか、福祉施設や老人クラブなどへ来館を積極的に働きかけた。

烏山民俗資料館では、川棚の杜で毎月開催する「なつかしの歌」イベントに高齢者及び福祉施設入所者が数多く参加することから、高齢者及びその関係者との交流を目的として、昭和初期頃までの暮らしをテーマとした展覧会「電気を使わない暮らし」を実施した。展示期間中館内では、介護施設からの来館者もあり、この時は高齢者と介護職員との関係が、日常の世話を受ける側から、昔の道具の使い方を教える側に移ることで会話が弾む様子を見ることができた。

(4) 文化財保護活動の推進

①歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり

ア) 指定文化財及び登録文化財の管理状況の把握 〈文化財保護課〉

本市が所有者又は管理団体となっている建造物、史跡、名勝、天然記念物等の指定文化財について、適切な維持管理に努め、台風、豪雨、地震等の発生に際しては、被害状況の迅速な把握に努めた。ま

た、民間が所有する指定文化財については、文化財保護指導員などによる定期的な巡視を行った。

重要文化財旧下関英国領事館については、平成 26 年 7 月 18 日の再開館後、指定管理者による公開活用を行い、平成 26 年から続く文学サロンや休憩室（カフェ＆パブ）の運営により、英国文化の情報発信に努めた。また、唐戸界わいや対岸の門司港への回遊を企図したイベントを実施したほか、新しい試みとして、「日本遺産の日」にちなみ、旧下関英国領事館を含む構成文化財の PR を行うなど、来館者の増加に努めた。

来館者数は前年度より若干減少したが、附属屋ギャラリーの利用は前年度から 150 件以上増加した。

イ) 指定文化財に対する保護措置の強化 〈文化財保護課〉

文化財の保存修理を行う所有者及び指定文化財の定期的な維持管理を行っている所有者に対して、必要に応じて補助金を支出した。

今後、保存修理等の措置が必要と考えられる指定文化財は、基礎調査等の実施により現状の把握に努め、破損などが顕著な文化財については、所有者に対して保存修理などを助言するとともに、次年度着手に向けて補助金の確保に努力した。

また、新たに 3 件の有形文化財を、本市の文化財に指定した。

「綾羅木地神祭」「住吉神社御田植祭」など未指定の無形民俗文化財についても現況把握などを行い、今後の無形民俗文化財の保護活動のための情報収集を行った。

ウ) 埋蔵文化財に対する適切な保護と活用 〈文化財保護課〉

試掘・確認調査 4 件を実施し、埋蔵文化財の基礎情報を収集した。また 2 件の本発掘調査を行ったほか、工事立会や立会調査等を随時実施し、宅地造成等開発工事により影響を受ける遺跡の記録保存に努めた。

公共工事、宅地開発や不動産売買などに伴う埋蔵文化財の分布照会は、1,320 件を数え、前年度より若干減少した。1,000 平方メートル以上の開発行為に伴う開発事前協議は 4,430 件あり、前年度より 14 件減少した。これらの中から、文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）に基づく発掘届又は発掘通知の提出は 131 件（前年比 11 件増）あり、埋蔵文化財保護のための調整を行った。

エ) 市域に所在する文化財の悉皆調査 〈文化財保護課〉

自然、歴史、文化遺産を生かしたまちづくり実現のため、平成 30 年の文化財保護法の改正により新たに制度化された文化財保護のアクションプランである「文化財保存活用地域計画」の策定を念頭に、その手法等について研修会への参加などにより、情報の収集、検討に努めた。また、文化財総合調査の一環として、北九州市と連携し、文化庁から認定を受けた「日本遺産 関門 “ノスタルジック海峡～時の停車場、近代化の記憶～”」は認定 3 年目となり、1. 情報発信（ホームページの英語化）2. 普及啓発（#のすたる関門インスタグラムフォトコンテスト、関門海峡キャンドルナイト、フグ料理 PR イベント出展等）3. 調査研究（北九州空港を利用した台湾からのインバウンドを対象とする行動・嗜好調査）に取り組み、育成ボランティアを活用した地域イベントとの連携や SNS の活用、首都圏での PR 等で一定の成果を上げた。

②文化財の整備活用の推進

ア) 長州藩下関前田台場跡の整備活用 〈文化財保護課〉

国史跡長州藩下関前田台場跡については、適切な管理・活用を図るため、定期的な除草等環境整備を実施した。また、従来未整備であった駐車場について、近隣の土地を借り上げ、簡易的な整備を実施し、来場者の利便性を向上させることができた。

同時に、「明治日本の産業革命遺産」の関連資産として位置付けられたことや、日本遺産の構成文化財として認定を受けたことにより、複合的な活用を視野に、ハード整備にとらわれず、柔軟な整備活用の在り方を検討し、実現へ向けて関係機関等との協議・調整を実施した。

イ) 国指定三史跡の整備検討 〈文化財保護課〉

昭和 40 年代後半から平成初期にかけて公有化し、将来の整備公開活用に備えている国指定三史跡について、考古博物館での展示講演活動はもとより、周辺域に県内屈指の密度で分布する周知の埋蔵文化財包蔵地を含め、定期的な除草作業など環境の整備に努めるとともに、その価値を広く周知するため、愛護意識の啓発に努めた。

また、綾羅木郷遺跡史跡指定 50 周年を記念し、川まち弥生まつり等地域連携事業を推進するなど、市民の愛護意識の醸成に努め、今後の史跡等整備公開活用の推進に備えた。

ウ) 長府藩主毛利家墓所の整備 〈文化財保護課〉

県指定文化財となった長府藩主毛利家墓所について、その立地性により優れた観光資源であることから、定期的な除草作業など環境の整備に努めるとともに、その価値を広く周知するため、愛護意識

の啓発に努め、将来の整備活用に備えた。

エ) 天然記念物などの現状把握 〈文化財保護課〉

記念物のうち、名勝、天然記念物（樹木類）については、周辺環境及び気候環境の変化に連動して適切な維持管理に課題を抱えているものが多い。このため、所有者等の協力のもと適宜状況を把握し、今後の適切な管理の在り方を検討するための情報収集に努めた。また、突然枯れ症を発症した国指定天然記念物「川棚のクスノ森」については、専門家を招聘し、枯損対策の緊急対応を実施するとともに、国・県と連携し、今後の対策検討を深めた。また、国史跡天然記念物の「六連島の雲母玄武岩」については、土砂の流出のため安全性が危惧されたため、緊急的に安全対策を施した。将来的な補修整備が検討される。

オ) 天然記念物などの保存（管理）活用計画の策定検討 〈文化財保護課〉

指定文化財の適切な管理・活用を目的に、管理団体として所有者等に対し、保存（管理）活用計画策定の必要性について説明するよう心がけ、所有者、管理団体間の共通認識の醸成に努めた。また、平成30年に新たに国史跡に指定された勝山御殿跡について、所管課である都市整備部公園緑地課と保存活用計画を策定するまでの当面、史跡の維持管理についての取扱いについて取りまとめた。

(5) 人権教育の推進

①関係機関と連携した多様な人権教育の推進

ア) 家庭、地域社会への情報提供の充実 〈生涯学習課〉

人権に関する各種研修会や行事の案内等、市内各教育支所、公民館等に情報提供を行った。また、人権に関する標語、作文、ポスター等を市内各教育支所、公民館、小・中学校に配布した。

イ) 学習機会の充実 〈生涯学習課〉

人権尊重の職場や地域環境づくりについての理解や認識を深めるために、人権学習講座を企業、学校、団体、グループ等で開催した。

②教職員研修の充実

ア) 人権課題に応じた研修の計画的な実施 〈教育研修課〉

人権教育の推進状況を把握するための調査を行い、各学校における人権教育の現状及び課題を把握するとともに、改善に向けた指導を行った。

併せて、「山口県人権推進指針」及び「人権教育推進資料」並びに県教育委員会作成の「学習展開例」を活用し、各学校において人権教育及びその研修が更に推進されるよう指導を行った。

また、人権教育研修会を開催し、講義等を通して学校における人権教育について理解を図った。初任者、フォローアップ、6年次の各研修においても人権教育の内容を必ず扱った。

資料編

I 学校教育関連資料

1 下関市学校教育指導上の努力点

下関市教育理念

夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志

～ともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育～

学びが好きな子ども 学びの街・下関

III 豊かな心の育成

- 1 思いやりのある豊かな心の育成
- 2 「かがわり」つながりを基礎とした成長促進的な生徒指導の推進

VI 子供たちの状況に応じたきめ細かな教育の推進

- 1 特別支援教育の充実
- 2 少人数指導の充実
- 3 へき地・複式教育の充実

IX 安心・安全な教育環境の整備

- 1 防災教育の推進
- 2 危機管理体制の確立
- 3 子供を守る安全対策の充実

II 新しい時代に必要な資質・能力の育成

- 1 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた工夫・改善
- 2 確かな学力の定着と向上に向けた取組の推進
- 3 時代の進展に対応した教育の推進
- 4 下関商業高等学校におけるビジネス教育の推進

V 地域とともにある学校づくりの推進

コミュニティ・スクールの推進

IV 健やかな体の育成

- 1 体力の向上に向けた取組の推進
- 2 健康教育の推進
- 3 食育の推進

III 学校の組織力の向上

- 1 学校評価等の効果的活用
- 2 学校の総合力の向上に向けた取組の推進

I 生き抜く力の基礎を培う 就学前教育の推進

- 1 連携の強化
- 2 研修の充実

令和2年度 下関市学校教育指導上の努力点

市の魚 フク
市の鳥 ハシロ
市の木 クスノキ
市の花 カクラミ
市の動物 フジラ

2 市立学校一覧

(1) 幼稚園

区 分	所 在 地	学級数	園 児			教 員	保健室	給食室
			総数	男	女			
令和元年度		19	302	140	162	33 (31)	8	8
令和2年度		15	270	135	135	28 (26)	6	5
1 第 一	貴船町三丁目 11-12	1	25	15	10	5 (4)	※1○	配
2 豊 浦	長府亀の甲二丁目 2-82	1	24	10	14	3 (5)	※1○	配
3 小 月	小月宮の町 15-20	2	42	22	20	4 (5)	※1○	配
4 内 日	休 園							
5 江 浦	休 園							
6 清 末	清末西町一丁目 6-1	5	90	43	47	6 (5)	※1○	配
7 川中西	休 園							
8 川 中	伊倉本町 21-1	4	68	34	34	7 (5)	○	配
9 豊 東	菊川町大字上大野字上ノ原 10020-1	2	21	11	10	3 (2)	○	

() は非常勤または会計年度任用職員、外数

○有の意味 (配は、給食配膳室のみ)

※1 保健室と職員室を共用して使用

令和2年5月1日現在

校舎				用地				左の内 借地	区分
校舎保有面積				面積					
総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	建物敷地	屋外運動場	その他		
7,558	5,043	2,497	18	27,232	12,657	13,114	1,461		令和元年度
7,558	5,043	2,497	18	27,232	12,657	13,114	1,461		令和2年度
927	717	210		4,174	1,842	1,911	421		1 第一
1,035	1,025		10	2,989	1,781	1,208			2 豊浦
1,005	974	31		3,121	1,616	1,363	142		3 小月
499		499		2,488	874	1,614			4 内日
983	956	27		3,498	1,534	1,964			5 江浦
854	620	234		3,058	1,604	1,454			6 清末
789	751	30	8	2,614	1,032	1,582			7 川中西
1,010		1,010		2,740	1,480	904	356		8 川中
456		456		2,550	894	1,114	542		9 豊東

(2) 幼保連携型認定こども園

	所在地	学級数	園児			教員	保健室	給食室
			総数	男	女			
令和元年度		49	970	494	476	74 (63)	9	9
令和2年度		49	962	495	467	72 (61)	9	9
1 中央	幡生新町 1-10	9	185	95	90	11 (11)	※1○	有
2 垢田	新垢田東町 1-2-7	6	117	59	58	9 (9)	※1○	有
3 王喜	王喜本町 2-11-12	5	93	57	36	8 (4)	※1○	有
4 菊川	菊川町大字下岡枝字高田 1504	6	137	71	66	9 (9)	※1○	有
5 西市	豊田町大字矢田字横の田 184	3	55	30	25	5 (3)	○	有
6 豊田下	豊田町大字手洗字堂本 273-1	3	50	27	23	5 (4)	○	有
7 川棚	豊浦町大字川棚寺田 5281	9	170	81	89	12 (9)	※1○	有
8 黒井	豊浦町大字黒井字下北岡 2159-1	5	103	48	55	8 (7)	○	有
9 豊北	豊北町大字滝部字上ノ原 2992-1	3	52	27	25	5 (5)	※1○	有

平成 27 年度の子ども・子育て支援新制度施行に伴い、幼保連携型認定こども園が開設。

認定こども園の各数値は全体数値（旧幼稚園と旧保育園の合算値）

（ ）は非常勤または会計年度任用職員、外数

○有の意味（配は、給食配膳室のみ）

※1 保健室と職員室を共用して使用

令和2年5月1日現在

校 舎				用 地				区 分	
校 舎 保 有 面 積				面 積					左の内 借 地
総 数	鉄 筋	鉄 骨	木 造	総 数	建物敷地	屋外運動場	その他		
9,903	8,002	1,901	0	40,459	23,705	10,599	6,155	令和元年度	
9,903	8,002	1,901	0	40,459	23,705	10,599	6,155	令和2年度	
1,819	1,819	0		6,601	3,586	2,020	995	1 中 央	
771	771	0		2,084	486	800	798	2 垢 田	
714	703	11		2,644	714	998	932	3 王 喜	
1,076	0	1,076		2,801	1,302	745	754	4 菊 川	
1,124	1,124	0		4,870	2,953	1,000	917	5 西 市	
814		814		4,907	906	2,272	1,729	6 豊田下	
1,833	1,833			5,870	4,485	1,355	30	7 川 棚	
768	768			2,331	1,582	749		8 黒 井	
984	984			8,351	7,691	660		9 豊 北	

(3) 小学校

区分	所在地	学級	特別支援学級	児童			教員	事務職員		養護教諭 (養護士)		栄養教諭	栄養士	校務技士	学校給食調理員	保有教室		
				総数	男	女		県	市	県	市					普通	特別	多目的
令和元年度		485	114	12,288	6,233	6,054	806	48		50		15	3	12(35)	57(34)	619	522	33
令和2年度		472	113	12,069	6,107	5,962	800	47		47		14	4	11(33)	56(34)	614	502	35
1 養治	本町二丁目6-1	6	2	120	61	59	11	1		1				(1)			9	16
2 文関	上田中町一丁目14-1	18	3	500	251	249	26	1		1			1	(1)	2(1)		24	13
3 名池	名池町10-1	7	3	178	88	90	18	1		1				(1)	2		11	17
4 王江	入江町9-1	6	2	85	41	44	10	1		1				(1)	2		9	12
5 関西	関西町12-1	5	2	55	29	26	10	1		1				(1)	2		7	14
6 桜山	上新地町二丁目5-10	8	2	185	90	95	13	1		1				(1)			10	19
7 向山	向山町14-1	12	2	302	153	149	17	1		1			1	2(1)			16	29
8 生野	幡生本町7-14	12	3	314	162	152	20	1		1				(1)	2(1)		17	9
9 本村	彦島本村町三丁目16-1	6	2	78	47	31	11	1		1				(1)			8	14
10 西山	彦島迫町五丁目13-21	9	2	216	119	97	14	1		1				1			11	15
11 江浦	彦島江の浦町三丁目4-1	12	4	281	126	155	22	1		1		1		(1)			16	14
12 角倉	彦島角倉町三丁目5-5	8	3	215	106	109	17	1		1		1		1			11	24
13 向井	彦島向井町二丁目20-1	12	2	250	121	129	17	1		1				(1)			14	10
14 小月	小月西の台6-1	12	2	303	161	142	20	1		1				(1)	2(1)		14	9
15 清末	清末西町一丁目6-1	16	3	472	239	233	27	1		1		1		1	2(2)		21	6
16 王司	王司神田六丁目9-1	18	4	499	259	240	28	1		1				(1)	2(2)		22	7
17 豊浦	長府亀の甲二丁目2-1	27	6	893	426	467	48	2		2		1		1	3(4)		34	20
18 勝山	秋根上町二丁目2-1	25	5	765	373	392	40	1		1		1		1	2(3)		31	10
19 川中	伊倉本町19-1	23	7	719	373	346	39	1		1		1		1	3(2)		31	9
20 安岡	安岡町三丁目5-5	24	3	742	389	353	37	2		2		1		1	3(2)		28	11
21 吉見	吉見里町一丁目8-1	6	1	166	95	71	9	1		1				(1)	2		7	12
22 吉母	大字吉母字塩谷287	2	0	8	3	5	4	1		1				(1)			2	8
23 蓋井	大字蓋井島字田町126-2	2	0	7	5	2	3			1				(1)			2	3
24 吉田	大字吉田字高田1044-2	4	2	42	25	17	8	1		1				(1)	2		8	5
25 王喜	王喜本町二丁目12-30	7	4	183	103	80	15	1		1				(1)	2		11	7
26 内日	大字内日下字坂本1031	3	0	11	4	7	5	1		1				(1)	2		3	10
27 山の田	山の田中央町13-1	19	4	594	296	298	33	1		1		1		2(2)			23	13
28 川中西	古屋町二丁目9-1	16	4	446	217	229	26	1		1		1		(1)	2(2)		21	11
29 垢田	新垢田西町一丁目1-1	11	5	272	149	123	22	2		1				(1)	2(1)		17	18
30 長府	長府松小田北町14-1	18	5	464	247	217	30	1		1			1	(1)	2(2)		25	18
31 一の宮	一の宮住吉一丁目8-1	18	5	480	253	227	30	1		1		1		2(2)			24	5
32 熊野	熊野西町10-1	25	3	777	374	403	40	2		2		1		1	3(3)		26	8
33 豊東	菊川町大字上大野字上ノ原10020-1	9	2	203	108	95	13	1		1			1	(1)	2(2)		12	9
34 岡枝	菊川町大字吉賀字金蔵寺2494	6	2	134	64	70	11	1		1				(1)	2(1)		8	8
35 檜崎	菊川町大字檜崎字殿屋敷215	5	1	51	29	22	8	1		1				(1)	2		7	8
36 豊田中	豊田町大字浮石字久下1159-1	3	0	20	4	16	5	1		1				(1)			3	10
37 西市	豊田町大字矢田字今熊132	6	2	98	52	46	11	1		1		1		(1)			8	9
38 豊田下	豊田町大字手洗字貴布祢303	5	2	53	26	27	9	1		1				(1)			8	5
39 室津	豊浦町大字室津下字新田152-1	4	0	39	22	17	6	1		1				(1)			7	6
40 誠意	豊浦町大字黒井字才舁2200	8	2	186	87	99	14	1		1		1		(1)			11	17
41 川棚	豊浦町大字川棚字後楽3650-1	13	2	388	192	196	21	1		1		1		(1)			15	8
42 小串	豊浦町大字小串字谷田ヶ浴617	5	2	43	21	22	9	1		1				(1)			7	8
43 宇賀	豊浦町大字宇賀字ふけ4961	3	1	29	12	17	6	1		1				(1)			5	11
44 豊北	豊北町大字滝部字常安1200	8	2	203	105	98	17	1		1				(1)			10	7

() は非常勤職員または会計年度任用職員、外数

○有の意味(配は、給食配膳室のみ)

令和2年5月1日現在

保健室	給食室	水 泳 プ ル	校舎等									用地				区分
			校舎保有面積				屋内運動場保有面積			面積				左の内 借地		
			総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	鉄筋	鉄骨	総数	建物敷地	屋外運動場	その他			
49	49	46	195,288	186,367	7,780	1,141	40,360	10,290	30,070	914,991	369,682	425,887	139,610	30,611	令和元年度	
44	44	41	189,563	181,014	7,549	1,000	38,658	9,154	29,504	855,005	356,382	394,638	124,173	30,611	令和2年度	
○	配	○	4,593	4,456	137		809		809	10,589	5,131	4,607	851		1 養 治	
○	○	○	6,392	6,294	7	91	968		968	18,679	7,752	6,646	4,281		2 文 関	
○	○	○	3,748	2,961	787		887		887	15,920	6,945	7,102	1,873		3 名 池	
○	○	○	3,646	3,522	114	10	729	729		14,454	4,537	5,040	4,877		4 王 江	
○	○	○	3,950	3,787	163		965		965	20,947	9,009	7,855	4,083		5 関 西	
○	配	○	4,891	4,773	118		785		785	11,647	4,494	4,768	2,385		6 桜 山	
○	○	○	8,249	8,104	145		936		936	20,208	9,260	7,438	3,510		7 向 山	
○	○	○	4,355	4,305	50		928		928	14,271	5,449	7,184	1,638		8 生 野	
○	配	○	4,685	4,370	315		806		806	14,537	6,463	5,298	2,776		9 本 村	
○	配	○	4,946	4,738	208		879		879	25,481	12,731	11,603	1,147	20,832	10 西 山	
○	配	○	4,783	4,638	145		918		918	18,047	10,018	7,825	204		11 江 浦	
○	配	○	6,030	5,761	269		1,046	24	1,022	18,385	7,420	8,843	2,122		12 角 倉	
○	配	○	5,029	4,823	206		890		890	31,930	13,116	14,583	4,231		13 向 井	
○	○	○	3,778	3,659	119		1,156	1,156		26,279	8,618	9,058	8,603		14 小 月	
○	○	○	4,481	4,216	92	173	814		814	19,686	9,033	9,315	1,338		15 清 末	
○	○	○	4,499	4,258	241		981	981		18,538	7,553	9,731	1,254		16 王 司	
○	○	○	8,772	8,606	157	9	1,404		1,404	29,261	20,743	8,518			17 豊 浦	
○	○	○	5,658	5,574	84		1,123		1,123	29,844	10,369	12,931	6,544		18 勝 山	
○	○	○	6,540	5,400	1,140		1,181		1,181	24,071	9,501	12,762	1,808		19 川 中	
○	○	○	6,978	5,988	990		1,189		1,189	20,902	9,004	9,965	1,933	9,575	20 安 岡	
○	○	○	3,971	3,901	70		980		980	24,810	8,164	12,319	4,327		21 吉 見	
○	配	○	1,961	1,843	118		868		868	11,517	5,349	6,168			22 吉 母	
○	○	○	322		322		761		761	8,637	1,571	4,902	2,164		23 蓋 井	
○	○	○	1,924	1,820	33	71	868		868	15,285	4,653	10,632			24 吉 田	
○	○	○	2,782	2,741	41		906	906		17,861	7,386	8,739	1,736		25 王 喜	
○	○	○	2,233	2,188	45		881		881	13,323	6,657	6,018	648		26 内 日	
○	○	○	5,772	5,697	75		811		811	17,902	6,946	8,798	2,158		27 山 の 田	
○	○	○	5,313	5,165	148		788		788	17,018	6,005	9,822	1,191		28 川 中 西	
○	○	○	6,319	6,248	71		1,011		1,011	27,104	9,928	12,728	4,448		29 垢 田	
○	○	○	7,335	7,250	85		1,131		1,131	30,014	10,878	10,932	8,204		30 長 府	
○	○	○	5,900	5,900			1,018		1,018	32,475	11,110	12,200	9,165	204	31 一 の 宮	
○	○	○	6,051	5,990	61		1,015	1,015		31,042	11,935	11,740	7,367		32 熊 野	
○	○	○	3,351	2,712	620	19	648		648	21,195	10,336	8,863	1,996		33 豊 東	
○	○	○	2,799	2,769	30		544		544	17,131	5,916	6,546	4,669		34 岡 枝	
○	○	○	2,011	1,686	69	256	525		525	19,664	5,730	8,699	5,235		35 檜 崎	
○	配	○	1,817	1,769	17	31	698	698		26,081	7,174	9,300	9,607		36 豊 田 中	
○	配	○	3,076	3,037	3	36	694		694	14,331	7,680	6,008	643		37 西 市	
○	配	○	1,696	1,665		31	680	680		15,966	7,153	8,813			38 豊 田 下	
○	配		2,087	2,037		50	785	785		19,699	8,380	11,319			39 室 津	
○	配		4,062	3,972	75	15	561		561	16,216	4,685	11,375	156		40 誠 意	
○	配	○	4,169	3,945	116	108	911		911	22,290	9,993	12,297			41 川 棚	
○	配		3,144	3,098	13	33	607	607		14,632	7,809	5,835	988		42 小 串	
○	○	○	2,542	2,480		62	779	779		11,772	4,773	6,269	730		43 宇 賀	
○	配	○	2,923	2,868	50	5	794	794		25,552	9,025	13,244	3,283		44 豊 北	

(4) 中学校

区分	所在地	学級	特別支援学級	生徒			教員	事務職員		養護教諭 (養護士)		栄養教諭	栄養士	校務技士	学校給食調理員	保有教室		
				総数	男	女		県	市	県	市					普通	特別	多目的
令和元年度		196	48	5,774	3,005	2,763	441	28		22		5	2	14(8)	14(8)	286	440	16
令和2年度		195	51	5,817	3,014	2,803	448	28		22		6	1	13(9)	14(8)	271	454	16
1 日 新	上田中町一丁目 15-1	9	2	297	146	151	22	1		1				1		14	26	
2 向 洋	向洋町一丁目 14-1	5	1	131	61	70	12	1		1				1		6	25	
3 文 洋	上新地町五丁目 6-1	7	2	142	71	71	18	1		1				1		9	39	
4 名 陵	丸山町一丁目 13-3	6	2	119	62	57	15	1		1				1		9	18	
5 東 部	清末陣屋 5-10	17	3	562	291	271	35	2		1		1		1	2(2)	20	21	
6 長 府	長府逢坂町 3-1	13	4	432	245	187	30	1		1		1		1	2(1)	17	20	
7 勝 山	秋根上町二丁目 5-1	18	4	603	304	299	37	1		1		1		1	2(2)	22	14	2
8 川 中	伊倉新町四丁目 6-1	19	3	657	339	318	40	5		2		1	1	(1)		27	53	
9 安 岡	安岡町四丁目 2-1	12	3	358	196	162	25	1		1		1		1	2(1)	17	17	2
10 吉 見	永田本町一丁目 3-10	3	1	82	39	43	10	1		1				1	2	4	12	
11 彦 島	彦島江の浦町二丁目 25-1	12	3	382	191	191	28	1		1				1		15	26	
12 玄 洋	彦島本村町二丁目 8-1	6	2	149	75	74	14	1		1				(1)		10	25	
13 木 屋 川	木屋川南町二丁目 660	4	3	111	57	54	12	1		1				(1)	2	7	10	
14 内 日	大字内日下字福寿庵 1196-2	2	0	13	5	8	6	1						(1)		4	7	1
15 山 の 田	山の田本町 8-1	14	4	435	230	205	31	2		1				1		18	20	
16 堀 田	大字堀田字笹原 1127-6	11	2	330	178	152	24	1		1				1		13	25	
17 長 成	長府日の出町 4-1	7	2	217	103	114	16	1		1				1		12	19	2
18 菊 川	菊川町大字下岡枝字上室屋 1-2	6	2	199	106	93	16	1		1				(1)	2(2)	10	14	
19 豊 田	豊田町大字矢田字鎮守 434	4	2	94	48	46	11	1		1				(1)		7	12	
20 豊 洋	豊浦町大字黒井字馬神 10724-1	6	2	127	72	55	14	1		1				(1)		8	13	
21 夢 が 丘	豊浦町大字小串字夢が丘 10145	9	2	260	137	123	19	1		1				(1)		12	15	4
22 豊 北	豊北町大字滝部字幸神 1244-36	5	2	117	58	59	13	1		1		1		(1)		10	23	5

() は非常勤職員または会計年度任用職員、外数

○有の意味 (配は、給食配膳室のみ)

(5) 高等学校

下関商業高等学校 (下関市後田町四丁目 11-1)

区分	生徒	学級	保有教室		保健室	食堂	水泳プール	校舎保有面積			
			普通	特別				校			
								総数	鉄筋	鉄骨	木造
令和元年度	553(14)	17(3)	24	11	1	1	1	12,840	12,641	93	106
令和2年度	512(9)	16(2)	24	11	1	1	1	12,840	12,641	93	106

() は定時制、外数

令和2年5月1日現在

保 健 室	給 食 室	水 泳 プ ール	武 道 場	校舎等								用地					区 分
				校舎保有面積				屋内運動場保有面積				面積				左の内 借地	
				総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	鉄筋	鉄骨	総数	建物敷地	屋外運動場	その他			
22	22	20	17	126,510	120,835	5,604	71	22,341	9,424	12,917	782,933	243,848	277,554	261,531	20,146	令和元年度	
22	22	20	17	126,510	120,835	5,604	71	22,341	9,424	12,917	782,933	243,848	277,554	261,531	20,146	令和2年度	
○	配	○	○	6,683	6,368	315		812	812		33,695	8,355	7,957	17,383		1日新	
○	配	○	○	5,771	5,376	395		1,192	1,192		30,529	13,250	12,340	4,939	17,258	2向洋	
○	配	○	○	7,450	6,925	525		749	749		25,490	12,248	7,803	5,439	2,888	3文洋	
○	配	○	○	5,038	4,946	92		758	758		16,391	7,299	8,016	1,076		4名陵	
○	○	○	○	6,299	6,194	105		819	819		73,459	12,331	13,118	48,010		5東部	
○	○	○	○	6,843	6,315	528		1,026		1,026	57,236	12,519	15,171	29,546		6長府	
○	○	○	○	6,858	6,806	52		961		961	29,899	11,510	10,694	7,695		7勝山	
○	配	○	○	12,131	12,131			2,299	133	2,166	33,753	19,553	14,200			8川中	
○	○	○	○	6,212	5,555	657		1,019		1,019	34,816	12,251	16,299	6,266		9安岡	
○	○	○	○	3,401	3,208	193		994		994	26,753	10,472	14,832	1,449		10吉見	
○	配	○	○	7,322	6,737	585		817	817		37,778	10,785	16,491	10,502		11彦島	
○	配	○	○	6,233	5,606	627		1,130		1,130	46,640	12,069	15,768	18,803		12玄洋	
○	○	○	○	3,097	3,002	95		602		602	20,743	7,157	10,435	3,151		13木屋川	
○	配	○		1,928	1,864	64		776		776	12,611	5,750	6,541	320		14内日	
○	配	○	○	6,530	6,368	162		985		985	20,761	9,116	10,254	1,391		15山の田	
○	配	○	○	6,464	6,022	442		1,234		1,234	33,053	12,000	15,000	6,053		16垢田	
○	配	○	○	5,549	5,491	58		1,178	1,178		35,095	8,864	15,910	10,321		17長成	
○	○			3,234	2,664	543	27	1,426		1,426	26,465	11,341	15,124			18菊川	
○	配	○		2,919	2,813	62	44	1,123	1,123		25,538	11,437	13,859	242		19豊田	
○	配	○		3,441	3,337	104		676	78	598	19,928	6,302	9,997	3,629		20豊洋	
○	配			5,580	5,580						23,423	5,611	11,500	6,312		21夢が丘	
○	配	○	○	7,527	7,527			1,765	1,765		118,877	23,628	16,245	79,004		22豊北	

令和2年5月1日現在

舎等		用地					左の内 借地	区 分
屋内運動場保有面積		面積						
総数	鉄筋	総数	建物敷地	屋外運動場	その他			
5,579	5,579	38,517	9,605	25,917	2,995	0	令和元年度	
5,579	5,579	38,517	9,605	25,917	2,995	0	令和2年度	

3 令和2年度 研修計画

令和2年5月1日現在

番号	研修会名	参加対象				実施予定日等	番号	研修会名	参加対象				実施予定日等	
		幼 こ 保	小	中	高				幼 こ 保	小	中	高		
1	下関市小・中学校初任者研修		○	○		全7回	29	授 業 づ く り 研 修 会	中学校 音楽科		○	○	○	未定
2	フォローアップ(2年次)研修		○	○		6月11日(木)	30		中学校 美術科		○	○	○	未定
3	フォローアップ(2年次・3年次)研修		○	○		8月17日(月)	31		中学校 保健体育科		○	○	○	未定
4	下関市小・中学校6年次研修		○	○		全2回	32		中学校 技術家庭科(技術)		○	○	○	未定
5	小・中学校中堅教諭等資質向上研修I		○	○		全4回	33		中学校 技術家庭科(家庭)		○	○	○	未定
6	教頭研修会		教頭	教頭	教頭	6月25日(木)	34		中学校 英語科		○	○	○	未定
7	園長・校長フォローアップ(1・2・3年次)研修会	園長	校長	校長		全3回	35		中学校 道徳科		○	○	○	未定
8	園長研修会	園長				7月3日(金)	36	幼児教育実技研修会	○				7月27日(月)	
9	校長研修会		校長	校長	校長	7月7日(火)	37	児童生徒理解を深める生徒指導研修会		○	○		11月13日(金)	
10	園務主任等研修会	○				7月27日(月)	38	危機対応研修会		○	○		10月1日(木)	
11	教育課程研修会		○	○		7月2日(木)	39	通常の学級における特別支援教育研修会	○	○	○	○	8月7日(金)	
12	人材育成担当者連絡協議会		○	○		5月12日(火)	40	道徳教育研修会		○	○	○	6月19日(金)	
13	つなぐ生徒指導研修会		○	○		6月18日(木)	41	人権教育研修会		○	○		10月29日(木)	
14	教育相談担当研修会		○	○		5月8日(金)	42	英語教育研修会		○	○		7月25日(木)	
15	特別支援教育スキルアップ研修会	○	○	○		7月31日(月)	43	「なめらかな接続」のための連携教育研修会	○	○			11月12日(木)	
16	小中連携キャリア教育研修会		○	○		9月25日(金)	44	ICT活用推進研修会		○	○		8月5日(水)	
17	学校図書館研修会		○	○		6月9日(火)	45	研修支援訪問					計画による	
18	養護教諭研修会		○	○		6月23日(火)	46	授業力サポート研修		○	○		随時	
19	学校事務職員研修会		○	○		6月12日(金)	47	小学校英語教育校内研修		○			随時	
20	授 業 づ く り 研 修 会	小学校 国語科		○	○		未定	48	イングリッシュ・チャット・ルーム		○	○	○	夏期休業中
21		小学校 社会科		○	○		未定	49	わくわく教師塾 in 下関	任意参加			随時	
22		小学校 算数科		○	○		未定	50	短・中期派遣研修(こ・幼・保)	○				計画による
23		小学校 理科		○	○		未定	51	短・中期派遣研修(小・中・高)		○	○	○	計画による
24		小学校 生活科		○	○		未定							
25		中学校 国語科		○	○	○	未定							
26		中学校 社会科		○	○	○	未定							
27		中学校 数学科		○	○	○	未定							
28	中学校 理科		○	○	○	未定								

4 令和2年度研究事業一覧

☆印は山口県教育委員会事業 ○印は文部科学省事業

研 究 領 域	学 校 名	期 間
☆小中高連携英語教育推進校	下関市立彦島中学校 下関市立江浦小学校 下関市立角倉小学校 下関市立向井小学校	令和2年度
☆小学校英語専科教員配置モデル事業	下関市立王司小学校 下関市立勝山小学校 下関市立熊野小学校 下関市立小月小学校 下関市立川棚小学校	令和2年度
○授業力向上実践研究	下関市立山の田小学校	令和2年度
☆「やまぐちっ子の心を育む道德教育」 プロジェクト推進校	下関市立木屋川中学校 下関市立川中小学校	令和元年度～令和2年度 令和2年度～令和3年度
☆英語教育改善プラン推進事業研修協力校	下関市立名陵中学校	令和2年度
○遊び・運動大好き！オリパラ教育推進事業	下関市立豊北小学校	令和元年度～令和2年度
☆プログラミング教育実践研究校	下関市立向山小学校	令和2年度
下関市へき地・複式教育研究協議会	下関市立宇賀小学校	令和2年度
下関市小中一貫教育研究推進校	下関市立豊北中学校 下関市立豊北小学校	令和2年度～令和3年度

5 下関市教育研究会

(1) 令和2年度部会一覧

幼稚園	幼児教育																									
小学校	学校事務	養護				国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語活動	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	キャリア教育	学校図書館	情報教育	特別支援教育	人権教育	栄養	
中学校	学校経営	教育課程	学校事務	養護	保健	研修	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	技術・家庭(技術)	技術・家庭(家庭)	保健体育	英語	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	キャリア教育	学校図書館	情報教育	特別支援教育	人権教育	栄養

(2) 研究主題

年 度	研究主題	副 題
令和2年度	学ぶ力を育む下関教育	主体性をもって、多様な人々と協働して、 学ぶ意欲と態度の育成を視点に

6 外国語指導助手派遣推進事業

ALT人数・配置先	11人：教育研修課 7人、菊川教育支所 1人、豊田教育支所 1人、 豊浦教育支所 1人、豊北教育支所 1人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の生活や文化に慣れ親しむための指導に当たる。 ・外国語担当教員や学級担任のもとで協同授業(ティーム・ティーチング)を行い、児童・生徒のコミュニケーション能力の素地や基礎を養う。 ・外国語担当教員のための各種研修会に講師として参加する。 ・特別活動・課外活動などを担当教員のもとで指導する。 ・外国語暗唱・弁論大会の指導及び審査に当たる。 ・音声教材及び外国語原稿作成への支援に当たる。 ・その他、所属長または校長が必要と認める職務に当たる。

7 特別支援教育

(1) 特別支援学級設置状況（令和2年度）

（令和2年5月1日現在）

（ア）小学校

（単位：学級、人）

区 分	障害別	学級	担当者数	児 童						合計
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	
令和元年度	—	114	122	63	73	85	72	92	78	463
令和2年度	—	113	125	57	65	85	93	80	100	480
養治小	知的	1	1	1	0	1	0	0	1	3
	自閉・情緒	1	1	1	0	1	1	1	1	5
文関小	知的	1	1	0	0	0	0	2	5	7
	自閉・情緒	2	2	1	0	2	2	2	4	11
名池小	知的	1	1	0	0	0	2	0	0	2
	肢体不自由	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	2	0	2	0	3	0	2	7
王江小	知的	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	0	0	5	6
関西小	知的	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	2	0	0	0	0	1	3
桜山小	知的	1	1	0	1	0	1	1	0	3
	自閉・情緒	1	1	0	0	0	0	0	3	3
向山小	知的	1	1	0	0	0	0	2	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1	1	0	3
生野小	知的	1	1	1	1	1	2	1	1	7
	自閉・情緒	2	2	1	2	2	4	1	3	13
本村小	知的	1	1	0	1	0	0	0	1	2
	自閉・情緒	1	1	0	0	0	1	1	1	3
西山小	知的	1	1	1	0	1	2	0	0	4
	自閉・情緒	1	1	0	2	1	0	1	0	4
江浦小	知的	1	1	0	1	0	0	1	0	2
	病弱・虚弱	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	自閉・情緒	2	2	0	1	0	3	2	3	9
角倉小	知的	1	1	0	0	0	2	2	0	4
	自閉・情緒	1	1	2	2	0	0	0	1	5
	肢体不自由	1	1	0	0	0	1	0	0	1
向井小	知的	1	1	0	0	1	1	0	1	3
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	1	0	1	3
小月小	知的	1	1	0	1	1	0	0	2	4
	自閉・情緒	1	1	2	0	1	0	1	2	6
清末小	知的	1	1	1	0	1	1	0	0	3
	病弱・虚弱	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	2	2	2	3	0	1	0	8
王司小	知的	1	1	0	0	2	0	1	1	4
	病弱・虚弱	1	1	0	0	0	1	0	0	1
	自閉・情緒	2	2	2	3	3	0	2	1	11
豊浦小	知的	2	2	0	0	2	2	2	4	10
	自閉・情緒	3	4	4	3	2	4	2	5	20
	難聴	1	1	0	0	0	2	0	0	2
勝山小	知的	2	2	1	0	1	5	2	2	11
	自閉・情緒	3	4	1	4	6	5	3	1	20
川中小	知的	2	2	1	2	1	3	2	4	13
	病弱・虚弱	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	難聴	1	1	1	0	0	1	0	0	2
	自閉・情緒	3	4	5	3	3	2	5	3	21
安岡小	知的	1	1	1	1	0	0	1	3	6
	自閉・情緒	2	3	0	1	3	3	4	3	14
吉見小	自閉・情緒	1	1	1	1	1	0	0	0	3
吉田小	知的	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	2	0	0	1	0	3

区分	障害別	学級	担当者数	児 童						合計
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	
王喜小	知的	1	1	1	0	3	2	1	1	8
	難聴	1	1	0	0	1	0	1	0	2
	自閉・情緒	2	3	2	3	3	3	2	1	14
山の田小	知的	1	1	0	0	0	1	0	2	3
	自閉・情緒	2	2	1	0	4	1	4	2	12
	肢体不自由	1	1	0	0	0	0	1	0	1
川中西小	知的	1	1	0	1	1	1	3	1	7
	自閉・情緒	2	3	1	4	2	2	4	0	13
	難聴	1	1	0	1	0	0	0	0	1
垢田小	知的	2	2	0	1	2	1	2	5	11
	自閉・情緒	2	2	2	0	5	3	1	0	11
	肢体不自由	1	1	0	1	0	0	0	0	1
長府小	知的	2	2	1	1	2	2	0	4	10
	病弱・虚弱	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	自閉・情緒	2	2	1	1	2	3	0	2	9
一の宮小	知的	1	1	1	2	0	2	0	1	6
	肢体不自由	1	1	0	0	0	0	0	1	1
	自閉・情緒	2	2	4	4	0	0	0	1	9
	難聴	1	1	0	0	0	1	0	0	1
熊野小	知的	1	1	0	0	1	1	1	2	5
	自閉・情緒	2	3	4	2	3	3	2	2	16
豊東小	知的	1	1	2	0	0	1	0	1	4
	自閉・情緒	1	1	1	0	1	0	3	1	6
岡枝小	知的	1	1	0	1	0	1	1	0	3
	自閉・情緒	1	1	0	1	1	1	1	0	4
檜崎小	知的	1	1	0	0	0	0	1	0	1
西市小	知的	1	1	1	0	1	0	1	0	3
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	1	1	0	3
豊田下小	知的	1	1	0	0	0	0	1	1	2
	自閉・情緒	1	1	1	0	0	0	1	0	2
誠意小	知的	1	1	0	0	1	0	0	2	3
	自閉・情緒	1	1	1	0	0	2	0	0	3
川棚小	知的	1	1	1	0	0	1	1	2	5
	自閉・情緒	1	1	0	1	1	1	0	0	3
小串小	知的	1	1	0	0	0	1	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	0	0	0	1
宇賀小	自閉・情緒	1	1	0	0	1	0	0	0	1
豊北小	知的	1	1	0	1	0	1	0	1	3
	自閉・情緒	1	2	0	1	2	1	0	2	6

(イ) 中学校

区 分	障害別	学級	担当者数	生 徒			合計
				1年	2年	3年	
令和元年度	—	48	55	66	57	47	170
令和2年度	—	51	53	66	75	58	199
日新中	知的	1	1	0	2	2	4
	自閉・情緒	1	1	0	4	2	6
向洋中	自閉・情緒	1	1	3	1	0	4
文洋中	知的	1	1	1	1	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1
名陵中	知的	1	1	1	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	2	1	0	3
東部中	知的	1	1	3	1	3	7
	自閉・情緒	2	2	5	4	1	10
長府中	知的	2	2	4	4	1	9
	自閉・情緒	2	3	4	4	6	14
勝山中	知的	1	1	4	1	1	6
	自閉・情緒	2	2	1	6	4	11
	難聴	1	1	1	0	0	1
川中中	知的	1	1	2	2	3	7
	自閉・情緒	2	2	4	2	3	9

区 分	障害別	学級	担当者数	生 徒			
				1年	2年	3年	合計
安岡中	知的	1	1	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	2	4	3	1	8
	病弱・虚弱	1	1	0	1	0	1
吉見中	自閉・情緒	1	1	0	0	2	2
彦島中	知的	1	1	2	2	1	5
	自閉・情緒	2	2	3	1	8	12
玄洋中	知的	1	1	1	1	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	4	0	4
木屋川中	知的	1	1	1	1	1	3
	自閉・情緒	2	2	2	4	3	9
山の田中	知的	1	1	1	4	0	5
	自閉・情緒	2	2	1	6	2	9
	肢体不自由	1	1	1	0	0	1
垢田中	知的	1	1	1	2	3	6
	自閉・情緒	1	1	1	0	1	2
長成中	知的	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	1	1	2	4
菊川中	知的	1	1	1	1	1	3
	自閉・情緒	1	1	3	1	1	5
豊田中	知的	1	1	1	2	0	3
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	1
豊洋中	知的	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	1	0	0	1
夢が丘中	知的	1	1	1	1	0	2
	自閉・情緒	1	1	2	5	0	7
豊北中	知的	1	1	1	0	1	2
	自閉・情緒	1	1	2	0	2	4

(2) 通級指導教室 活動実態 (名池小・江浦小・豊浦小・誠意小・小月小・山の田小・日新中・彦島中)

(ア) 幼児

(単位：人)

	総数/年齢	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
令和元年度	234	1	18	66	149

(イ) 児童・生徒

(単位：人)

	小学校							中学校			
	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総数	1年	2年	3年
令和元年度	384	84	89	77	50	44	40	40	5	20	15

(3) 令和2年度就学支援状況

(令和2年4月に転・入学等した者)

教育支援委員会に提出された事例数		教育支援委員会の意見		教育支援委員会の就学支援結果		
知的障害	106	通常の学級対象と判定された者	55	通常の学級へ転・入学		60
自閉症・情緒障害	162			特別支援学級	知的障害特別支援学級へ転・入学	58
聴覚障害	2	病弱・身体虚弱特別支援学級へ転・入学	0			
視覚障害	1	肢体不自由特別支援学級へ転・入学	1			
言語障害	0	難聴特別支援学級へ転・入学	2			
病弱・虚弱	5	弱視特別支援学級へ転・入学	0			
肢体不自由	1	言語障害特別支援学級へ転・入学	0			
重複障害	0	自閉症・情緒障害特別支援学級へ転・入学	110			
その他	0	総合支援学校へ転・入学した者	44			
合計	277	総合支援学校対象と判定された者	47	その他(市外へ転居、私立学校へ進学)	2	
		合計	277	合計	277	

(4) 特別支援学級生徒の進路状況

(単位：人)

区 分	総数	高等学校			総合支援 学 校	各種学校	就職	自宅
		公立	定時制・通信制	私立				
平成30年度	41	7	3	11	15	4	0	1
令和元年度	47	4	3	13	20	2	0	5

(5) 下関市特別支援教育支援員配置状況

令和2年度 129名配置（令和2年5月1日現在）

(6) 令和2年度に新設された特別支援学級

小学校 3学級（自閉症・情緒障害 3）

中学校 2学級（難聴 1、肢体不自由 1）

8 就学援助

(1) 就学援助費

(単位：人、円)

区 分	小 学 校		中 学 校		
	受給児童	援助額	受給生徒	援助額	
平成30年度	2,910	66,364,808	1,640	87,073,451	
令和元年度	2,651	62,509,345	1,567	86,837,463	
再 掲	学用品・通学用品・校外活動費(日帰り)	2,630	33,318,564	1,551	33,144,350
	修学旅行費	498	10,009,137	497	23,063,907
	校外活動費(宿泊)	463	1,309,204	41	37,556
	通学費	21	787,040	7	623,250
	新入学児童生徒学用品費等	351	17,085,400	529	29,968,400

(2) 特別支援教育就学奨励費

(単位：人、円)

区 分	小 学 校		中 学 校		
	受給児童	援助額	受給生徒	援助額	
平成30年度	570	8,360,138	123	3,468,799	
令和元年度	597	9,425,253	139	3,242,268	
再 掲	学校給食費	269	5,208,166	74	1,497,325
	通学費	318	1,397,526	32	161,402
	職場実習交通費	0	0	7	7,820
	交流学習交通費	181	76,143	92	167,020
	修学旅行費	33	312,840	20	478,585
	校外活動費(日帰り)	229	167,596	18	13,217
	校外活動費(宿泊)	107	189,905	0	0
	学用品・通学用品購入費	230	1,142,975	57	538,288
	新入学児童生徒学用品・通学用品購入費	42	930,102	18	378,611
付添保護者交通費	0	0	0	0	

9 下関市奨学金制度

月額奨学金	貸付金額 (月額)	①大学生	40,000 円
		②高校生	18,000 円
	貸付期間	在学する学校の正規の修業期間	
入学一時金	貸付金額	①大学生	40,000 円, 80,000 円, 120,000 円, 160,000 円, 200,000 円, 240,000 円のいずれかの額
		②高校生	18,000 円, 36,000 円, 54,000 円, 72,000 円, 90,000 円, 108,000 円のいずれかの額
据置期間	在学する学校の正規の修業期間経過後 1 年間		
返還方法	月賦により返還、毎月の返還額は月額奨学金の 2 分の 1 の額		

※1 無利子

※2 入学一時金は大学又は高校に入学した年度に 1 回のみ貸付

【令和元年度までの運用状況】

(単位：人、円)

年 度	合 計		大 学		高 校	
	人 員	貸付金総額	人 員	貸付金総額	人 員	貸付金総額
平成 28 年度	5	2,400,000	5	2,400,000	0	0
平成 29 年度	6	2,724,000	5	2,400,000	1	324,000
平成 30 年度	10	4,468,000	8	4,000,000	2	468,000
令和元年度	14	5,508,000	9	4,320,000	5	1,188,000

10 園・学校訪問

研修支援訪問 (小・中学校)	各学校が抱えている学習指導、生徒指導、特別支援教育、情報教育等の課題の解決を図るために、年 1 回の定期訪問及び各学校や研究団体からの要請に応じて指導主事等を派遣し、研修の充実を図る。
研修支援訪問 (幼稚園・認定 こども園)	各園の自主的な研修活動を促進させるために、年 1 回の定期訪問及び各園からの要請に応じて指導主事等や教育・保育専門監を派遣し、研究主題の解明や保育活動の充実を図る。
担当校訪問	各園、小・中学校に教育・保育専門監・担当指導主事等を配置することで、学校と教育委員会との連携を密にするとともに、各園・学校が抱えている課題の把握と解決、さらには人材育成への支援を図る。
生徒指導訪問	各学校の問題行動や、学校事件・事故等に素早く対応したり、未然に防止したりするために、指導主事、ガイダンスアドバイザー、カウンセリングアドバイザー、スクールソーシャルワーカー等を派遣する。

11 学校保健

(1) 令和元年度 健康診断における疾患・異常

(単位：人、%)

区 分 項 目		小 学 校				中 学 校				
		男 子		女 子		男 子		女 子		
		人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	
栄養状態	栄養不良	4	0.06	5	0.08	8	0.27	5	0.18	
	肥満傾向	126	2.02	76	1.26	73	2.43	64	2.30	
	貧 血	7	0.11	8	0.13	2	0.07	8	0.29	
脊 柱		88	1.41	93	1.54	64	2.13	73	2.63	
胸 郭		3	0.05	2	0.03	2	0.07	1	0.04	
骨・関節、四肢の状態		49	0.79	24	0.40	21	0.70	13	0.47	
裸眼視力	1.0未満0.7以上 B	504	8.15	557	9.29	296	9.86	286	10.29	
	0.7未満0.3以上 C	740	11.97	828	13.80	409	13.62	402	14.47	
	0.3未満 D	540	8.74	676	11.27	560	18.65	639	22.99	
聴 力		41	0.66	43	0.71	30	1.00	12	0.43	
眼	感染性眼疾患	9	0.14	8	0.13	0	0.00	0	0.00	
	その他の眼疾患異常	406	6.52	341	5.63	203	6.76	196	7.05	
耳鼻咽喉頭	耳 疾 患	475	7.62	469	7.75	189	6.30	126	4.53	
	鼻・副鼻腔疾患	701	11.25	295	4.87	292	9.73	180	6.48	
	口腔・咽頭疾患異常	25	0.40	22	0.36	8	0.27	2	0.07	
皮膚疾患	アトピー性皮膚炎	158	2.54	114	1.88	37	1.23	43	1.55	
	その他の皮膚疾患	10	0.16	7	0.12	5	0.17	1	0.04	
結核精密検査者		0	0.00	1	0.02	1	0.03	1	0.04	
心 臓 疾 患 異 常		81	1.30	81	1.34	41	1.37	27	0.97	
心電図二次検診受検者 ※		33	3.28	13	1.33	18	0.60	8	0.29	
尿	蛋 白	7	0.11	12	0.20	15	0.50	11	0.40	
	糖	2	0.03	2	0.03	1	0.03	0	0.00	
	潜 血	9	0.14	17	0.28	3	0.10	8	0.29	
その他の疾患異常		58	0.93	68	1.12	33	1.10	18	0.65	
歯 口 腔	う 歯	処置完了者	1,789	29.00	1,612	26.83	559	19.24	640	23.93
		未処置歯のある者	1,595	25.86	1,456	24.23	607	20.89	463	17.31
	その他の歯疾患異常		757	12.27	722	12.02	394	13.56	301	11.26
	口腔の疾患異常		35	0.57	38	0.63	1	0.03	0	0.00

(単位：人)

在 籍 者 総 数	6,239	6,057	3,002	2,779
受 検 者 数	6,231	6,053	2,963	2,750
歯・口腔の受検者数	6,168	6,008	2,906	2,674

※の受検対象者は、小学校1年生及び中学校1年生

(2) 令和元年度 負傷・疾病の種類別災害発生状況

(単位：件)

負傷・疾病		学校種別					合計
		小学校	中学校	高等学校	幼稚園		
負傷	骨折	191	200	14	0	405	
	捻挫	204	173	15	0	392	
	脱臼	50	21	0	1	72	
	挫傷・打撲	322	240	15	3	580	
	靭帯損傷・断裂	13	32	3	0	48	
	挫創	80	15	0	0	95	
	切創	10	6	1	0	17	
	刺創	6	6	0	0	12	
	割創	0	0	0	0	0	
	裂創	15	2	0	0	17	
	擦過傷	22	3	0	0	25	
	熱傷・火傷	6	2	0	0	8	
	歯牙破折	8	5	1	0	14	
	その他	3	3	0	0	6	
	負傷合計	930	708	49	4	1,691	
疾病	食中毒	0	0	0	0	0	
	食中毒以外の中毒	1	0	0	0	1	
	熱中症	6	19	0	0	25	
	溺水	0	0	0	0	0	
	異物の嚥下・迷入	16	2	0	0	18	
	接触性の皮膚炎	2	2	0	0	4	
	外部衝撃、相当の運動量、心身に対する負担の累積に起因する疾病	脳・脊髄系の疾患	3	1	0	0	4
		心臓系の疾患	0	0	0	0	0
		肺その他の内臓疾患	2	1	0	0	3
		骨疾患	1	9	6	0	16
		関節疾患	4	13	2	0	19
		筋腱疾患	4	22	1	0	27
		皮膚疾患	1	0	0	0	1
		精神疾患	0	1	0	0	1
		その他	4	4	0	0	8
	計	19	51	9	0	79	
	負傷に起因する疾病	脳・脊髄系の疾患	2	1	0	0	3
		心臓系の疾患	0	0	0	0	0
		肺その他の内臓疾患	0	0	0	0	0
		骨疾患	0	3	1	0	4
関節疾患		2	1	0	0	3	
筋腱疾患		1	4	0	0	5	
皮膚疾患		2	2	0	0	4	
精神疾患		0	0	0	0	0	
その他		5	1	0	0	6	
計	12	12	1	0	25		
疾病合計	56	86	10	0	152		
負傷・疾病の合計	986	794	59	4	1,843		

(3) 令和元年度 児童・生徒の体位比較

年齢 (歳)	身長 (単位:cm)				体重 (単位:kg)				
	男		女		男		女		
	下関市	山口県	下関市	山口県	下関市	山口県	下関市	山口県	
小学校	6	115.7	115.6	114.8	114.9	21.3	21.0	20.7	20.9
	7	121.6	121.6	121.0	120.9	23.9	23.8	23.2	23.1
	8	127.5	127.6	126.8	126.9	26.9	26.7	26.4	26.5
	9	132.8	132.7	133.0	132.6	30.5	30.3	29.7	29.7
	10	138.2	138.4	139.2	138.7	34.0	33.7	33.4	32.9
	11	143.9	143.8	146.0	146.1	37.7	37.1	38.4	39.3
中学校	12	152.1	151.6	150.6	151.0	43.6	42.9	42.5	43.3
	13	158.8	158.9	154.5	154.0	47.9	48.7	46.8	47.0
	14	164.5	164.9	156.2	156.0	53.0	53.6	49.9	49.7

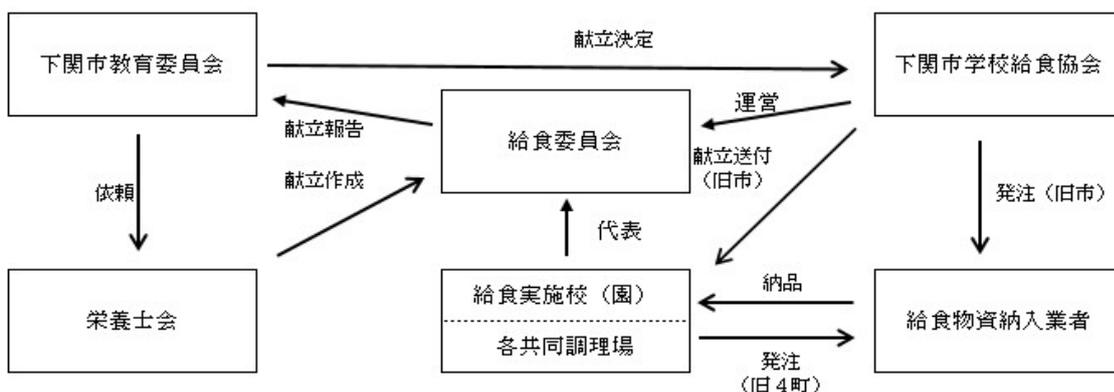
12 学校給食

(1) 学校給食実施状況

(令和2年5月1日現在)

区分	完全給食			実施方式					
	校(園)数	実施人員	実施率	単独調理校		親子受配		調理場受配	
	校(園)	人	%	校(園)	人	校(園)	人	校(園)	人
小学校	44	12,066	100	28	9,684	1	8	15	2,374
中学校	22	5,817	100	7	2,347	1	13	14	3,457
幼稚園	6	270	100	0	0	6	270	0	0
計	72	18,153	100	35	12,031	8	291	29	5,831

(2) 献立の作成から実施まで



(3) 令和元年度就学援助費(給食費)

区分	実施人員(人)	援助額(円)
小学校	2,595	91,759,946
中学校	1,428	55,011,537
計	4,023	146,771,483

(4) 学校給食共同調理場

(令和2年度)

共同調理場名 (所在地)	構造・延面積 (開設年月日)	運営方式	対象学校数 (児童生徒園児数)			対象 学校名
			学校 種別	学校(園)数	児童生徒 園児数	
南部学校給食共同調理場 (彦島江の浦町三丁目4-10) (TEL 267-2044)	軽量鉄骨 平屋建 延 989.48 m ² (昭 47.3.31)	民間 (平 21.8~)	小	6	1,224	桜山、本村 西山、江浦 角倉、向井 文洋、彦島 玄洋
			中	3	673	
			計	9	1,897	
中部学校給食共同調理場 (一の宮住吉二丁目9-8) (TEL 257-1578)	鉄骨 平屋建 延 866.66 m ² (平 2.4.1)	民間 (平 30.4~)	小	1	120	養治 日新、向洋 名陵、垢田 川中、長成 山の田
			中	7	2,186	
			計	8	2,306	
豊田町学校給食共同調理場 (豊田町大字矢田 320-1) (TEL 766-0076)	鉄骨 平屋建 延 486.51 m ² (昭 38.4) (平 4.3.24 改 築)	民間 (平 24.4~)	小	3	171	西市 豊田中 豊田下
			中	1	94	
			計	4	265	
豊浦町学校給食共同調理場 (豊浦町大字川棚 3630-1) (TEL 774-3390)	鉄骨 平屋建 延 620 m ² (平 5.4.1)	民間 (平 20.4~)	小	2	431	川棚、小串 豊洋 夢が丘
			中	2	387	
			計	4	818	
黒井学校給食共同調理場 (豊浦町大字黒井 2200) (TEL 772-0290)	鉄骨 平屋建 延 176 m ² (昭 55.9) (平 9.1.1 開 設)	民間 (平 23.4~)	小	2	225	誠意、室津
			計	2	225	
滝部学校給食共同調理場 (豊北町大字滝部 1244-36) (TEL 782-0066)	鉄筋 コンクリート 平屋建 延 413.25 m ² (平 18.4.1)	民間 (平 18.4~)	小	1	203	豊北 豊北
			中	1	117	
			計	2	320	

13 生徒指導

成長促進事業一覧

●下関市教育支援教室「かんせい」	
目的	学校に行かない、行きたくても行けない子供たちのために、個別や小集団での相談や指導を行いながら、一人ひとりの社会的自立をめざす。
内容	体験学習やスポーツ活動等とおした「集団適応指導」と、個別や小集団での相談・指導とおし基本的生活習慣の改善と精神的・社会的自立をめざした「生活指導」、または、一人ひとりの学力に応じた学習を進める「学習指導」を指導の柱としている。専門指導員による個別面談やグループ面談とおして、集団生活に参加する意欲を高める。
●「教育相談室」相談員及び「かんせい」専門指導員の訪問支援	
目的	引きこもりの傾向にある児童生徒の社会的自立に向けた不登校の問題に対応するため、下関市教育支援教室「かんせい」と関係学校とが連携を図りながら、不登校児童生徒の個別の訪問支援を行う。
内容	不登校で家庭に引きこもりがちな状態にある児童生徒を対象とし、「教育相談室」相談員及び「かんせい」専門指導員が学校及び家庭訪問による教育相談等を行う。
●カウンセリングアドバイザー（CA）派遣事業	
目的	犯罪被害及び学校事件・事故等の重大事案が発生した際、臨床心理士等をカウンセリングアドバイザーとして下関市立幼稚園、小・中学校及び下関商業高等学校（以下「学校」という。）に緊急に派遣し、助言・援助を行うことで、幼児児童生徒及び保護者等の心のケアに対応する。また、不登校の問題において、各学校に派遣しているスクールカウンセラーの業務以外で、カウンセリングアドバイザーによる助言・援助を校長・園長から求められた際、各学校・園に派遣し、その相談業務等の対応にあたる。
対象	校長からの要請に基づき、不登校や犯罪被害、学校事件・事故等により助言や援助が必要な幼児児童生徒及びその保護者等を対象として、カウンセリングアドバイザーを派遣する。
●下関市スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業	
目的	いじめ、暴力行為、児童虐待や不登校等の生徒指導上の課題の内、学校だけでは解決が困難な事案に対し、社会福祉士・精神保健福祉士等の専門家をスクールソーシャルワーカー等として学校等に派遣し、専門的な知識・技能を用いて、幼児・児童・生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うことにより、生徒指導上の課題等の未然防止、早期対応を図る。
内容	学校・園からの支援要請に基づき、スクールソーシャルワーカー等を派遣し、幼児・児童・生徒の置かれた生活環境に働きかけ、又は児童相談所、福祉事務所その他の関係機関と連携して、幼児・児童・生徒、保護者、教職員その他の関係者に対する支援を行う。
●ガイダンスアドバイザー（GA）派遣事業	
目的	複雑・多様化してきている生徒指導上の課題に対応するため、管理職や教職員、警察等との連携のもと、児童生徒の見守り活動による問題行動の未然防止に努めるとともに実態把握による連携調整を行う。
内容	校内外の巡視等を行い、学校の実態を把握するとともに、教職員との情報交換をして、個別の支援が必要な生徒の状況を把握し、諸問題への早期対応、早期解決に役立てる。また、学校からの生徒指導に関する協力依頼に対して、積極的に支援する。
●スクールカウンセラー（SC）活用事業（山口県教育委員会実施事業）	
目的	教員とスクールカウンセラーが互いの立場を理解しつつ、相互に協力、補完して児童生徒の健全な育成を図る。
配置校	下関市立全小・中学校
●いじめ・不登校支援等総合推進事業	
目的	下関市教育支援教室「かんせい」に通うことが難しい不登校の児童及び生徒について、学校外での多様な学びの場の提供・支援を行う。
内容	訪問支援コーディネーターを配置することにより、民間フリースクール等との連携強化、不登校児童生徒に関する情報共有、下関市教育支援教室と協働の取組をコーディネートする等、児童生徒の「心の居場所」と「絆づくりの場」を確保する。

14 教育相談

(1) 相談体制

●下関市教育委員会『教育相談室』	
目的	不登校、いじめ、非行問題等で悩む児童生徒や保護者への相談活動をとおして、児童生徒の主体的な自立を支援するとともに、学校や関係機関との連携を図りながら児童生徒を取り巻く心理的環境の改善を図る。
方法	来室（面接）相談、訪問相談、電話相談
時間	月～金 9時00分～16時30分
場所	下関市幡生新町1番1号 下関市教育委員会内（電話）231-6995（直通）
●いじめ相談専用電話『いじめテレホン相談』	
目的	いじめ問題に関わる悩みの相談を受け、早期解決を図る。
時間	月～金 9時00分～16時30分
場所	下関市教育委員会「教育相談室」内
電話	223-7830（な・や・み・ゼロ）

(2) 令和元年度教育相談受理状況

問題行動別・相談者別			幼・小学生		中学生		高校生・他		男女別計		合計
			男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
1	非行問題	非行									
2		家出									
3		家庭内暴力			1				1		1
4		自殺									
5		犯罪・被害									
6		その他									
7	学業・職業問題	学業・成績			2	1			2	1	3
8		不登校	10	5	6	13	4	3	20	21	41
9		進路									
10	家庭問題	仕事									
11		その他									
12	交友問題	家庭内不和									
13		しつけ									
14		その他									
15	健康問題	異性交際									
16		友人									
17		いじめ	16	15	9	9	9	3	34	27	61
18	その他	その他									
19		性									
20		健康									
21		性格									
22	その他			1				1		1	
23	その他	33	4	21	2	7	8	61	14	75	
令和元年度			59	24	40	25	20	14	119	63	182
平成30年度			65	29	26	33	29	10	120	72	192
平成29年度			40	37	42	16	20	12	102	65	167

Ⅱ 生涯学習関連資料

1 社会教育委員

委員定数 20名

任期 2年

職務 社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。(社会教育法第17条)

- (1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。
- (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
- (3) 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

社会教育委員名簿 (任期 令和元年6月1日～令和3年5月31日) (令和2年5月1日現在)

役職名	氏名	団体名等
委員長	吉井克也	学識経験者
副委員長	徳吉眞次	菊川町青少年育成町民会議 会長
委員	田上文雄	山口県教育会下関支部 支部長
〃	清永直志	下関市小学校長会
〃	今坂雅志	下関市中学校長会
〃	松永英治	下関市PTA連合会 会長
〃	和崎法子	下関市連合婦人会 会長
〃	富永洋一	一般財団法人下関21世紀協会 常任理事
〃	杉山靖彦	下関市子ども会連合会 副会長
〃	勝野光枝	下関市連合婦人会菊川地区婦人会 副会長
〃	船瀬保美	菊川放課後子供教室 会長
〃	水野捷子	豊田地区民生児童委員
〃	三戸恵子	前下関市連合婦人会豊田地区婦人会 会長
〃	相原英嗣	豊田町青少年健全育成町民連絡協議会 会長 豊田地区子ども会連合会 会長
〃	伊藤忠晴	豊浦地区子ども会連合会 会長
〃	村岡亜由子	下関市放課後子どもプランコーディネーター
〃	中野千枝美	下関市地域活動(母親クラブ)連絡協議会 会長
〃	田中義道	下関市保育連盟 顧問
〃	鍋田和博	学識経験者
〃	板垣宏徳	豊北地区社会福祉協議会連合会 事務局長

2 図書館

(1) 中央図書館

沿革: 昭和15年7月名池小学校校庭に創設されたものを源とする。昭和44年10月明治維新100年記念事業として上田中町に新築移転。平成21年11月下関市立中央図書館開館準備のため閉館。現施設は社会教育複合施設として建設され、平成22年3月に開館した。

位置：下関市細江町三丁目1番1号

創設：昭和15年7月（移転新築 平成22年3月）

施設概要：下関市生涯学習プラザ4,5階、一部1,6階（延面積5039.79㎡）

蔵書数：中央図書館 図書約400,000冊、視聴覚約3,500点 移動図書館 図書約19,000冊

休館日：館内整理日、12月29日～1月3日

利用時間：4階は、午前9時～午後8時

5階は、午前9時～午後9時



4階 児童図書コーナー



5階 一般図書コーナー

(2) 彦島図書館

沿革：昭和27年に彦島公民館が開設されると、ここに下関図書館彦島分館が併設され、彦島公民館が江の浦町一丁目に改築されると、同所2階に移設された。現施設は、平成2年3月に新築移転されたもので、同年7月から下関市立彦島図書館として開館した。

位置：下関市彦島江の浦町一丁目4番28号

創設：昭和27年（新築移転 平成2年3月）

構造等：鉄筋コンクリート一部鉄骨2階建 延面積1001.77㎡

蔵書数：図書約67,000冊

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12月29日～1月3日

利用時間：午前9時30分～午後7時（但し、土・日曜日は午後6時まで）



(3) 長府図書館

沿革：明治42年8月に豊浦郡教育会によって豊浦郡教育会附設豊浦図書館として創設され、大正13年に長府町へ移管された。昭和12年に豊浦郡長府町が下関市と合併すると、下関市立長府図書館として運営され、昭和42年9月に明治100年記念事業の一環として改築された。

位置：下関市長府宮の内町1番30号

創設：明治42年8月（改築 昭和42年9月）

構造等：本館 鉄筋コンクリート2階建 延面積882.7㎡

蔵書数：図書約112,000冊

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12月29日～1月3日

利用時間：午前9時30分～午後7時

（但し、土・日曜日は午後6時まで）

児童室、2階の閲覧席の利用は午前9時30分～午後5時



(4) 菊川図書館

沿革：菊川図書館の前身である県立山口図書館豊浦分館は、昭和 26 年 12 月に岡枝公民館内に開館した。昭和 32 年 4 月に分館が閉館し、菊川町に移管され、菊川町立菊川図書館が誕生した。その後、昭和 48 年 4 月に現在の場所に移転改築した。

位置：下関市菊川町大字下岡枝 193 番地 8

創設：昭和 32 年 4 月（移転改築 昭和 48 年 4 月）

構造等：鉄筋コンクリート建 延面積 527.93 m²

蔵書数：図書 約 31,000 冊

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時～午後 6 時



(5) 豊田図書館

沿革：平成 7 年 7 月に豊田町文化教育センターとして、現在地に創設された。平成 17 年 2 月の下関市豊浦郡 4 町の合併により、下関市立豊田図書館に改称。館内には、文化財資料室が併設されており、文書をはじめとする貴重な豊田の文化財を展示している。平成 27 年 4 月より、2 階部分が西市公民館となり複合施設となった。

位置：下関市豊田町大字矢田 153 番地 1

創設：平成 7 年 7 月

施設概要：鉄筋コンクリート 2 階建のうち 1 階部分（延面積 980.415 m²）

蔵書数：図書 約 46,000 冊、視聴覚 約 2,000 点

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時～午後 6 時



(6) 豊浦図書館

沿革：昭和 52 年 12 月、川棚地区に公民館が開館し、館内に 60 m²の図書室が設置されたのを源とする。平成 2 年 4 月、公民館内図書室より図書館としての機能が独立する。平成 12 年 10 月、豊浦町商工会の事務所移転に伴い、旧商工会事務所に移転する。その後、豊浦総合支所の改築に合わせ、総合支所 2 階の旧議場を中心に図書館に改装され、平成 26 年 12 月に移転開館した。

位置：下関市豊浦町大字川棚 6895 番地 1

創設：平成 2 年 4 月（移設 平成 26 年 12 月）

施設概要：豊浦総合支所 2 階（延面積 471.06 m²）

蔵書数：図書 約 53,000 冊、視聴覚 約 600 点

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時 30 分～午後 7 時（但し、土・日曜日は午後 6 時まで）



(7) 豊北図書室

沿革：昭和 58 年に豊北町神田特牛に新設された豊北町町民センター（現在の豊北生涯学習センター）に図書室が設置され、20 年にわたって多くの人に利用されてきた。平成 18 年 4 月、豊北町滝部に開校した豊北中学校内に「豊北図書室」が開設された。

位置：下関市豊北町大字滝部 1244 番地 36（豊北中学校内）

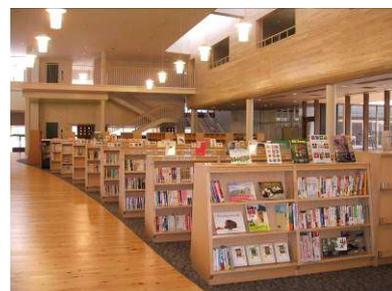
創設：昭和 58 年 4 月（移設 平成 18 年 4 月）

施設概要：豊北中学校 1 階（延面積 350.5 m²）

蔵書数：図書 約 21,000 冊

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時～午後 6 時（但し、日曜日は午後 5 時まで）



3 公民館活動

(1) 公民館運営審議会

委員定数：1 公民館 20 人以内

委員数：男性 120 人 女性 60 人 合計 180 人

任期：2 年（補欠委員は前任者の残任期間）

任務：館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施について、調査審議する。

委嘱状況：令和元年 6 月 1 日～令和 3 年 5 月 31 日（本庁管内）

令和元年 8 月 1 日～令和 3 年 7 月 31 日（教育支所管内）

(2) 公民館設置状況

公民館名 (所在地)	構造・延面積 (建設年月)	公民館名 (所在地)	構造・延面積 (建設年月)
北部公民館 TEL083-253-3371 (山の田東町 4-13)	鉄筋・1,267.55 m ² 4階建 (昭 49.6 / 増 平 4.3)	檜崎公民館 TELなし (菊川町大字檜崎 790-1)	S造・227.84 m ² 平屋建 (平 2.4)
西部公民館 TEL083-231-6587 (伊崎町一丁目 4-30)	鉄筋・1,747.00 m ² 4階建 (昭 54.4 / 増 平 3.3)	殿居公民館 TEL083-768-0556 (豊田町大字殿居 1039-2)	鉄筋・196.30 m ² 2階建の2階部分 (昭 58.2)
玄洋公民館 TEL083-266-5455 (彦島西山町四丁目 1-28)	鉄筋・1,886.49 m ² 3階建の1階部分 (昭 58.6)	豊田中公民館 TEL083-766-2361 (豊田町大字八道 2544-1)	鉄筋・347.89 m ² 平屋建 (平 3.3)
長府東公民館 TEL083-246-1266 (長府松小田本町 4-15)	鉄筋・2,104.44 m ² 3階建 (平 9.3)	三豊公民館 TEL083-766-3551 (豊田町大字地吉 122)	鉄筋・235.08 m ² 平屋建 (平 6.1)
吉母公民館 TEL083-286-6226 (大字吉母 401-24)	鉄筋・481.56 m ² 2階建 (昭 53.4)	西市公民館 TEL083-766-3511 (豊田町大字矢田 153-1)	鉄筋・373.50 m ² 2階建の2階部分 (平 6.10)
川中公民館 TEL083-255-3501 (伊倉町二丁目 1-1)	鉄筋・2,903.22 m ² 4階建 (平 4.6)	豊田下公民館 TEL083-766-2556 (豊田町大字手洗 285-1)	鉄筋・281.92 m ² 平屋建 (昭 59.3)
川中公民館分館 TEL083-253-6169 (綾羅木本町三丁目 1-20)	鉄筋・1,014.89 m ² 2階建 (昭 40.7)	小串公民館 TEL083-772-2001 (豊浦町大字小串 2207-1)	鉄筋・986.67 m ² 2階建 (平 6.3)
彦島公民館 TEL083-267-1344 (彦島江の浦町一丁目 3-1)	鉄骨鉄筋・3,690.04 m ² 6階建 (平 21.5)	川棚公民館 TEL083-772-2120 (豊浦町大字川棚 6167-2)	鉄筋・1,873.22 m ² 2階建 (昭 52.12 / 増 平 12.1)
長府公民館 TEL083-246-3413 (長府土居の内町 1-6)	鉄筋・2,043.88 m ² 4階建 (昭 38.12)	黒井公民館 TEL083-775-4182 (豊浦町大字黒井 2345-1)	鉄筋・759.81 m ² 2階建 (賃貸借)
王司公民館 TEL083-248-3176 (王司神田一丁目 9-1)	鉄筋・2,018.81 m ² 3階建 (昭 45.4 / 増 平 3.2)	室津公民館 TEL083-772-0055 (豊浦町大字室津下 681-3)	鉄筋鉄骨・448.74 m ² 平屋建 (昭 63.3)
清末公民館 TEL083-282-1056 (清末陣屋 5-20)	鉄筋・1,144.63 m ² 3階建 (昭 47.5)	神玉公民館 TEL083-788-1043 (豊北町大字神田上 2709)	鉄筋・408.00 m ² 2階建 (昭 60.3)
小月公民館 TEL083-282-0661 (小月本町一丁目 7-7)	鉄筋・2,166.39 m ² 3階建 (平 12.4)	角島公民館 TEL083-786-0734 (豊北町大字角島 1413-1)	鉄筋・526.00 m ² 2階建 (昭 63.3)
王喜公民館 TEL083-282-0219 (王喜本町二丁目 15-10)	鉄筋・1,190.04 m ² 3階建 (昭 48.4)	阿川公民館 TEL083-786-1010 (豊北町大字阿川 3752)	鉄筋等・452.00 m ² 平屋建 (平 2.3)

吉田公民館 TEL083-284-0205 (大字吉田地方 2499)	鉄筋・1,121.20 m ² 3階建 (昭 51.10)	栗野公民館 TEL083-785-0001 (豊北町大字栗野 3333-2)	鉄筋・435.00 m ² 平屋建 (平元.2)
内日公民館 TEL083-289-2036 (大字内日下 1146-5)	鉄筋・1,091.28 m ² 3階建 (昭 47.3)	滝部公民館 TEL083-782-1296 (豊北町大字滝部 3397-12)	木造・549.00 m ² 2階建 (平 12.8)
勝山公民館 TEL083-256-2779 (秋根南町二丁目 4-33)	鉄筋・3,692.60 m ² 4階建 (平 26.2)	田耕公民館 TEL083-783-0722 (豊北町大字田耕 4332)	木造・62.00 m ² 平屋建 (平 10.2)
安岡公民館 TEL083-258-4792 (安岡駅前二丁目 7-1)	鉄筋・2,145.00 m ² 4階建 (昭 40.10 / 増 平 2.3)		
吉見公民館 TEL083-286-2121 (大字吉見下 1533)	鉄筋・1,675.88 m ² 3階建 (昭 52.4)		

(3) 公民館利用状況（令和元年度）

（単位：件、人）

公民館名	公用 (生涯・公民館・官公庁等)		公益 (教育・社会福祉等)		登録団体・自主学習グループ (公用・公益以外の減免団体等)		一般 (有料団体など)		総数	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
1 北部公民館	63	1,188	432	5,280	1,386	14,330	579	6,565	2,460	27,363
2 西部公民館	25	476	430	5,186	1,530	20,889	529	4,359	2,514	30,910
3 玄洋公民館	12	420	186	2,541	992	8,586	188	2,211	1,378	13,758
4 長府東公民館	80	1,904	228	4,693	1,977	21,299	549	5,030	2,834	32,926
5 吉母公民館	15	280	25	326	49	227	6	10	95	843
6 川中公民館	321	7,500	542	12,648	2,643	31,978	893	10,472	4,399	62,598
7 川中公民館分館	1	80	14	169	364	5,537	42	617	421	6,403
8 彦島公民館	188	2,632	407	8,829	1,667	24,587	625	7,715	2,887	43,763
9 長府公民館	123	2,711	392	8,469	1,127	13,950	488	5,587	2,130	30,717
10 王司公民館	58	2,176	301	6,103	1,015	7,721	266	4,407	1,640	20,407
11 清末公民館	61	1,237	267	4,738	636	7,486	236	3,920	1,200	17,381
12 小月公民館	77	1,184	288	6,891	1,196	14,644	535	6,269	2,096	28,988
13 王喜公民館	31	1,420	151	3,181	440	5,299	48	727	670	10,627
14 吉田公民館	24	500	139	2,395	99	1,024	22	312	284	4,231
15 内日公民館	23	348	188	2,967	106	893	106	899	423	5,107
16 勝山公民館	279	7,290	262	6,466	2,677	32,385	1,241	16,968	4,459	63,109
17 安岡公民館	131	1,217	334	6,662	1,700	17,770	550	4,238	2,715	29,887
18 吉見公民館	27	908	166	2,573	691	8,698	69	1,042	953	13,221
19 檜崎公民館	11	110	37	670	0	0	15	108	63	888
20 殿居公民館	72	646	6	86	28	228	14	74	120	1,034
21 豊田中公民館	50	868	33	413	139	1,038	17	108	239	2,427
22 三豊公民館	25	216	24	306	19	121	0	0	68	643
23 西市公民館	26	467	6	237	0	0	6	211	38	915
24 豊田下公民館	34	585	35	670	146	939	47	462	262	2,656
25 小串公民館	42	880	148	2,885	636	7,038	80	1,065	906	11,868
26 川棚公民館	152	3,704	296	6,114	1,472	13,832	448	4,731	2,368	28,381
27 黒井公民館	20	417	94	1,740	361	3,540	166	2,116	641	7,813

28	室津公民館	47	1,109	108	1,295	294	2,214	116	1,000	565	5,618
29	神玉公民館	8	126	27	530	72	517	76	563	183	1,736
30	阿川公民館	36	532	129	1,734	166	868	27	212	358	3,346
31	栗野公民館	14	271	46	590	18	100	9	131	87	1,092
32	田耕公民館	8	95	73	1,382	150	2,446	16	236	247	4,159
33	角島公民館	71	703	115	1,369	52	718	54	501	292	3,291
34	滝部公民館	7	143	83	1,453	442	3,894	348	3,079	880	8,569
	合計	2,162	44,343	6,012	111,591	24,290	274,796	8,411	95,945	40,875	526,675

4 下関市生涯学習プラザ

沿革：中央公民館、婦人会館、文化会館の跡地に市民の生涯学習拠点施設として平成22年3月に開館した、図書館と生涯学習施設の機能を備えた社会教育複合施設。

音響性能に優れ、コンサート・演劇・舞踊など幅広いジャンルに対応可能な大ホール・小ホール、式典・講演会などに適した多目的ホールのほか、料理教室、工作・工芸室、パソコンルーム、視聴覚室、音楽室、和室、茶室、会議室など目的性の高い諸室を備えている。(4階、5階は中央図書館)



位置：下関市細江町三丁目1番1号

建設年月：平成22年2月

構造：地下1階、地上6階

SRC造(一部RC造/一部S造)

敷地面積：4,852 m²

建築面積：4,251 m²

延床面積：18,408 m²

駐車台数：80台/身障5台含む



大ホール（海のホール）

利用状況（令和元年度）

（単位：件、人）

室名	大ホール (海のホール)	小ホール (風のホール)	多目的ホール (宙のホール)	料理教室	工作工芸室	和室1	和室2	茶室
件数	156	175	363	105	66	72	73	73
人数	53,315	18,162	19,529	2,579	1,313	551	786	628

学習室1	学習室2	学習室3	学習室4	学習室5	レク室1	レク室2	PC室	視聴覚室
219	146	152	322	183	496	627	22	158
5,757	5,269	2,647	2,346	2,328	4,676	3,518	177	2,137

会議室1	会議室2	大練習室	小練習室	音楽室1	音楽室2	その他	合計
238	183	426	547	299	450	-	5,551
4,229	1,954	6,410	1,612	987	836	-	141,746

5 生涯学習センター

(1) 豊田生涯学習センター

沿革：生涯学習の拠点施設として、昭和54年に豊田町制施行25周年記念事業の一環として建設され、今日まで豊田地区の教育・文化・体育振興の中心的役割を果たしてきた。平成13年度に2階ホールに電動式移動観覧席を設置するなど、大規模な改造工事を行い、施設面での整備充実も図っている。

位置：下関市豊田町矢田149番地1

建設年月：昭和54年8月

構造等：鉄筋コンクリート造3階建

延面積 2,510.65㎡

駐車場：129台収容



利用状況（令和元年度）

（単位：件、人）

室名	講堂	ステージ	トレーニング室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	視聴覚室	第1和室	第2和室	計
件数	89	21	126	172	118	106	128	131	117	1,008
人数	4,207	1,282	140	2,587	2,479	476	1,372	1,463	1,421	15,427

(2) 豊北生涯学習センター

沿革：社会教育活動の拠点として、昭和58年に豊北町町民センターとして設置し、平成17年2月13日、合併を期に下関市豊北生涯学習センターと名称を変え、地域の生涯学習に積極的に取り組んでいる。

位置：下関市豊北町大字神田1199-1

建設年月：昭和58年4月

構造等：鉄筋コンクリート造2階建

延面積 3,292.70㎡

駐車場：200台収容



利用状況（令和元年度）

（単位：件、人）

室名	大ホール	中会議室1	和室(I)	和室(II)	調理室	小会議室	展示スペース	作業室	大会議室	中会議室2	視聴覚室	計
件数	84	59	22	8	17	94	6	64	82	13	1	450
人数	4,188	600	275	64	160	745	2,210	563	1,679	150	5	10,639

6 菊川ふれあい会館

(1) 施設概要

沿革：21世紀に向けて「町づくりは人づくり」をテーマに生涯学習の一層の充実を図るとともに、幾世代にわたる交流と賑わいのある中核施設として、平成10年9月に開館した。

位置：下関市菊川町大字下岡枝117番地

建築面積：3,380.89㎡

延床面積：4,093.81㎡

構造：鉄筋コンクリート造 屋根 鉄骨トラス

駐車場：189台収容



(2) 令和元年度の利用状況

利用日数：306日 利用回数：3,954回 利用人数：35,648人

(単位：回、日)

区分	午前		午後		夜間		合計		利用日数	
	回数	利用率	回数	利用率	回数	利用率	回数	利用率	日数	利用率
多目的ホール	62	20.3%	73	23.9%	49	16.0%	184	20.0%	79	25.8%
舞台	52	17.0%	60	19.6%	44	14.4%	156	17.0%	68	22.2%
楽屋 1	41	13.4%	47	15.4%	31	10.1%	119	13.0%	48	15.7%
楽屋 2	35	11.4%	42	13.7%	31	10.1%	108	11.8%	45	14.7%
楽屋 3	83	27.1%	48	15.7%	33	10.8%	164	17.9%	94	30.7%
リハーサル室	74	24.2%	48	15.7%	97	31.7%	219	23.9%	151	49.3%
ミュージックルーム	41	13.4%	76	24.8%	56	18.3%	173	18.8%	92	30.1%
レクチャールーム1	88	28.8%	105	34.3%	75	24.5%	268	29.2%	159	52.0%
展示室	64	20.9%	68	22.2%	55	18.0%	187	20.4%	71	23.2%
調理室	69	22.5%	60	19.6%	37	12.1%	166	18.1%	75	24.5%
研修室	70	22.9%	74	24.2%	52	17.0%	196	21.4%	104	34.0%
小ホール	97	31.7%	116	37.9%	58	19.0%	271	29.5%	141	46.1%
中ホール	94	30.7%	113	36.9%	49	16.0%	256	27.9%	134	43.8%
女性室	124	40.5%	106	34.6%	43	14.1%	273	29.7%	171	55.9%
和室 1	100	32.7%	86	28.1%	85	27.8%	271	29.5%	179	58.5%
和室 2	101	33.0%	78	25.5%	70	22.9%	249	27.1%	164	53.6%
和室 3	51	16.7%	69	22.5%	29	9.5%	149	16.2%	92	30.1%
創作室	104	34.0%	70	22.9%	22	7.2%	196	21.4%	108	35.3%
レクチャールーム2	133	43.5%	132	43.1%	84	27.5%	349	38.0%	224	73.2%
合計	1,483	25.5%	1,471	25.3%	1,000	17.2%	3,954	22.7%	2,199	37.8%

7 その他社会教育施設

(1) 豊浦ふれあいセンター

沿革：地域の生涯学習を推進するため、昭和63年に建設した施設で、交流室、管理室等を一体的に設けた施設。

位置：下関市豊浦町大字字賀 7925 番地 1

建設年月：昭和63年3月

構造：鉄骨造平屋建

床面積：202.54 m²

利用状況（令和元年度）（単位：件、人）

件数	100
人数	1,367



(2) 宇賀ふれあいセンター

沿革：旧宇賀中学校舎等を利用し、地域の生涯学習を推進するため平成18年4月に使用を開始した社会教育施設で、屋内運動場、講座室、グラウンドを持つ施設。

位置：下関市豊浦町大字字賀 4940 番地 1

建設年月：昭和55年3月

構造：鉄筋コンクリート3階建（1階は倉庫のため使用不可）

床面積：1,571 m²

利用状況（令和元年度）

（単位：件、人）

室名	体育館	市民教室					総数
		第1講座室	第2講座室	第5講座室	第6講座室	第11講座室	
件数	108	70	18	49	1	70	316
人数	1,018	1,014	102	577	10	582	3,303



(3) 小野ふれあいセンター

沿革：旧小野小学校跡地に地域の生涯学習を推進するため、平成17年度に新築した施設で、情報発信室、調理実習室、多目的コミュニティ室を設けている。西側には旧小学校体育館があり、屋内スポーツ競技もできる。

位置：下関市豊浦町大字川棚 1486 番地 1

建設年月：平成18年3月

構造：木造スレート葺平屋建

床面積：281.55 m²（本館）

利用状況（令和元年度）

（単位：件、人）

室名	情報発信室	多目的 コミュニティ室	和室	調理実習室	特産加工室	体育館	総数
件数	30	58	89	11	28	33	249
人数	168	726	1,104	106	187	407	2,698



8 成人教育

(1) 生涯学習まちづくり出前講座

元年度メニュー 72 課所室 253 講座

出前講座実施状況(令和元年度)			(単位:回、人)	
部局・課		講座名	回数	受講者数
総合政策部				
企画課	101	下関市総合計画、下関市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	2	133
国際課	502	韓国語講座	1	12
	503	韓国文化講座	1	13
	504	中国語講座	2	29
総務部				
防災危機管理課	104	災害に備えて	20	775
	105	災害図上ゲーム(DIG)	2	101
市民部				
生活安全課	108	幼児・小学生等の交通教室	7	308
生活安全課(消費生活センター)	303	消費者講座	10	902
人権・男女共同参画課	305	人権学習講座	19	1,121
福祉部				
福祉政策課	601	災害時要援護者登録制度について	1	9
介護保険課	605	介護保険制度について	1	9
こども未来部				
こども家庭支援課	606	虐待かな?・・・と思ったら	4	50
保健部				
地域医療課	607	地域医療について	2	71
健康推進課	608	ふくふく健康講座～むし歯予防ハミガキ大作戦!～	3	179
	609	ふくふく健康講座～8020をめざそう!～	1	24
	610	ふくふく健康講座～けんこう寿命を延ばそう!～	1	23
	611	ふくふく健康講座	2	66
	612	ふくふく健康講座(こども編)～生活リズムを整えよう～	5	197
	614	こころん体操	6	213
	615	“ロコモティブシンドローム”ってな～に?	1	19
	617	“がん”について正しく知ろう	1	27
	618	たばこと健康	1	35
	619	“認知症”ってな～に?	2	46
	620	こころの健康講座①	2	76
621	こころの健康講座②	1	18	
保健医療政策課	626	感染症の予防について	5	318
生活衛生課	627	食中毒予防について	1	7

環境部				
環境政策課	201	環境教室(地球温暖化対策について)	2	206
	202	環境教室(水質検査)	1	52
クリーン推進課	205	ごみダイエットとリサイクル	14	683
しものせき環境みらい館	206	リサイクル体験講座	7	253
観光スポーツ文化部				
観光政策課	109	下関の観光について楽しく学ぼう!	3	145
観光施設課 (園芸センター)	401	タネ!	15	600
	402	クサ!	2	79
スポーツ振興課	630	セキレック教室	5	135
	633	各種レクリエーション スポーツ教室	14	878
	634	関門 JAPAN フィットネス ボクシング教室	2	60
農林水産振興部				
農林整備課 有害鳥獣対策室	110	人と野生鳥獣が共存するために	1	19
建設部				
住宅政策課	119	我が家の終活を考える	2	40
港湾局				
振興課	417	クルーズ客船教室!	2	221
上下水道局				
企画総務課	207	出張!水道教室	6	100
	208	水道あれこれ豆知識	3	69
教育委員会				
文化財保護課	507	下関歴史探検	1	77
	508	下関文化遺産	3	322
考古博物館	509	古代の技術体験講座	9	381
歴史博物館	510	下関の歴史	7	364
美術館	511	郷土ゆかりの画家① 狩野芳崖	1	9
図書館	521	下関市立図書館活用講座	1	18
	522	図書オリジナル帯作り	2	81
	523	本のお医者さんになろう	2	41
生涯学習課	635	百聞は一体験に如かず 友達づくり1・2・3!	11	382
その他団体				
下関地方气象台	121	大雨防災ワークショップ	3	164
下関地域温暖化防止推進員 グループ	209	省エネの話	2	45
山口県廃棄物協会	210	環境出前授業	5	178
山口合同ガス	215	天然ガスおもしろ実験	7	304
中国財務局山口財務事務所 下関出張所	307	日本財政の現状と課題について	1	7
	309	身近で起こる金融トラブル	2	85
日本銀行下関支店	312	日本銀行下関支店の見学会	1	18
マルチメディア振興センター	313	e-ネットキャラバン(e-ネット安心講座)	2	79

山口県弁護士会 下関地区	320	子どもが事件・事故の当事者になったとき	1	20
しものせき水族館 海響館	406	海響館いきもの探検隊Ⅰ 飼育員の仕事	4	230
	408	海響館いきもの探検隊Ⅲ 水の中の生き物(紙芝居)	3	138
	409	海響館いきもの探検隊Ⅳ 生き物クイズ	6	450
下関海洋科学アカデミー 鯨類研究室	410	こちら下関鯨類研究室Ⅰ 鯨ってどんな生物	3	84
	411	こちら下関鯨類研究室Ⅱ スナメリの話	4	200
	413	こちら下関鯨類研究室Ⅳ 現代鯨事情	2	63
	415	こちら下関鯨類研究室Ⅵ 食としての鯨	1	40
国土交通省 九州地方整備局 下関港湾空港技術 調査事務所	420	「みなと」の役割ってなに？	2	102
独立行政法人 水産大学校	430	関門海峡の今と昔	1	43
	431	北太平洋における海ゴミの移動	4	304
	432	船を動かす～ポンポン船～	6	346
	434	これからの魚のと리카た	1	116
	435	ドローンから見える海と船	6	390
	436	宇宙空間から見える海と船	2	129
	440	魚油と健康	1	22
	442	食べられた物の旅	5	284
	444	フグの毒はどこから来るのか？	1	36
	449	水難事故時の対処法を学ぼう	1	26
	454	川の生き物と水辺環境	1	31
公立大学法人 下関市立大学	526	ワーク・モチベーション	2	30
	527	経営情報システム	1	29
	537	感性工学による商品開発	1	33
学校法人 下関文化産業専門学校	542	子どもの手芸	1	39
長州科楽維新プロジェクト	543	おもしろ科学教室	28	1,410
社会福祉協議会 生活支援コーディネーター	637	ふれあい福祉講座	2	49
	638	安心して暮らすための地域づくり講座	3	68
障害者スポーツセンター	640	障害者スポーツ出前・体験教室	1	37
下関市薬剤師会	641	薬剤師がお話する「健康のためにできること」	3	72
	642	薬剤師がお話する「病気と医療」	2	48
	643	薬の正しい使い方	7	155
山口県自閉症協会	649	自閉症の疑似体験	2	48
下関市立市民病院	657	(誤嚥性)肺炎を予防しよう	1	13
	661	転倒予防教室	1	20
	663	腰痛予防塾	1	119
済生会 下関総合病院	664	知って得する生活習慣病の基礎知識	1	19
	665	あなたにもできる救急蘇生	1	26

関門医療センター	685	健康応援講座 3 出前で行う救急蘇生講習	5	115
	687	健康応援講座 5 健康応援看護講座	1	79
	688	健康応援講座 6 認知症って？看護・介護で生き生きと！	1	9
計			363	16,348

(2) 市民文化セミナー

・実施状況(令和元年度)

テーマ	講師	期間	受講者数	実施地区
「赤間関街道沿の歴史再考」 全3回	萩市立萩博物館 主任学芸員 道迫 真吾 外	6月～10月	175人	下関地区
ふれあいコンサート	トロンボーン奏者 小野隆洋 外	12月22日	160人	菊川地区
悠友大学 「薬の正しい使い方」外5回	下関市薬剤師会 中川 明人 外	6月～12月	105人	豊北地区

(3) 関門海峡・温故知新塾

・実施状況(令和元年度)

テーマ	講師	期間	受講者数
「未来へつなぐ関門の宝物」 全4回	下関市立歴史博物館 学芸員 松田 和也 外	7月～11月	139人

(4) 市民学級

・実施状況(令和元年度)

(単位：人)

公民館名	学習課題	講師	期間	参加者数
彦 島	料理教室生活習慣病予防(野菜たっぷりのレシピ)、クラフトバッグ作り、ゆる楽体操、楽しく脳トレ☆認知症ケア	下関市食生活改善推進 協議会 会長 家根内 清美 外	6月～11月	69
長 府	介護予防体操(ヨガ)、ミニトランポリン、源氏物語講座、はじめてのオカリナ、行政書士によるお話、なつかしの歌声、パン教室	健康運動指導士 嶋田 晴美 外	5月～12月	112
王 司	骨盤体操、天然石プレスレット作り、落語を楽しむ講座、シフォンケーキ作り、しめ縄かざり作り、薬の正しい使い方	安岡公民館登録団体講師 西川 登志美 外	6月～2月	141
清 末	心と身体の健康体操(全5回)、大人のミニトランポリン教室、押し花教室、お魚料理教室、節分 のり巻き作り	王司山田園支援員 伊藤 保幸 外	5月～2月	191
小 月	オカリナにチャレンジ、整理収納術、ウクレレに触れてみよう、童謡 みんなで大合唱、萩焼、郷土町歩きツアー、シフォンケーキ作り、終活ノウハウ・エンディング	登録団体講師 宮崎 聡美 外	5月～1月	157
王 喜	琴の音を楽しもう、防災教室、健康体操(2回)、ケーキを作ろう、新年を迎える干支飾りづくり	大正琴講師 小西 千鶴 外	4月～12月	524
吉 田	健康体操(太極拳教室)、エンディングノートと遺言、健康体操、ノルディック・ウォーキング、介護予防と認知症予防(講義と体操)、料理教室	太極拳教室講師 磯村 安子 外	5月～12月	77
内 日	平家太鼓に合わせて踊りましょう、思い出の昔なつかし歌の散歩道、おやじの料理教室	内日夏祭り平家太鼓保存 会 代表 清水 公彦 外	7月～1月	61

勝山	ウクレレで童謡を歌いながら演奏しよう、ヤッホー！楽々体操①②、整体体操・足操術でリラックス、唄の好きな人 みんなで歌いましょう	浜田 謙 外	6月～12月	325
川中	相続法改正について、さわやか健康体操、楽しい陶芸教室、おもしろ科学教室、多肉植物の寄せ植え、子育てママの将来設計、親子ケーキ作り教室	行政書士 西谷 佳記 外	5月～2月	197
安岡	骨盤体操、健康体操、カラオケ教室、料理教室	体操インストラクター 西川 登志美 外	5月～11月	108
吉見	刃物研ぎ教室、陶芸教室、衣る？衣らない？衣類のお片付け講座、料理教室、正月フラワー講座、はまぐりのおひなさまづくり	刃物研ぎ教室講師 河野 勝宣 外	7月～1月	74
吉母	もしもに備えるエンディングノートの活用、太極拳教室、歌はともだち、かんたん健康体操、干支飾り教室	行政書士 西谷 佳記 外	6月～10月	97
北部	男の料理教室、ガラスアート教室～ミニティッシュケース作り～、健康ボクササイズ、知っておきたい相続・遺言、古布で作る簡単おひな様	下関市食生活改善推進協議会 会長 家根内 清美 外	6月～1月	75
西部	健康体操、童謡を歌おう、新年を迎える干支飾りづくり、エンディングノートと遺言	健康運動指導士 白石 厚子 外	10月～1月	109
玄洋	笑いヨガ教室、ミニランボリン教室、刃物研ぎ教室、肩凝り腰痛ラクラク体操	笑いヨガ教室講師 歌島 小百合 外	9月～10月	90
長府東	みんなで歌いましょう、刃物研ぎ、みんなの健康サロン、おやじ料理教室、セカンドステージに向けた予防運動、初歩の陶芸教室、かわいいちぎりパンを作ろう！、足操術、簡単おひなさま作り	ドルチェおんがくひろば 代表 松本 美佐緒 外	5月～1月	508
殿居	歴史探訪講座・リクエスト講座	田中 和夫 外	4月～2月	830
豊田中	編み物教室、料理教室、園芸教室、手芸教室、史跡発見ウォーキング、いきいきふれあい教室、成人学級、教わってボランティア教室、健康教室	熊井 えり子 外	4月～2月	425
三豊	料理教室、寄せ植え教室、着付教室、健康教室、チャレンジ教室、ものづくり教室、生け花教室	小川 ふさ子 外	4月～2月	254
西市	暮らしに役立つ教室、手作り教室	中村 千鶴子 外	4月～2月	103
豊田下	ふるさと歴史発見教室、チャレンジ教室、高齢者学級	下手 知子 外	4月～2月	136
小串	初夏の寄せ植え教室、ウクレレ体験教室、親父の料理教室、おはぎを作ろう、健康体操、からくりカレンダー作り、つまみ細工、親父の料理教室	中川 真紀 外	5月～2月	149
川棚	革細工教室、男の料理教室 魚料理、普段の食生活にすぐ使える薬膳料理教室、男の料理教室、防災講習会、春に向けての寄せ植え教室	土橋 彰次 外	6月～2月	64
黒井	手作りパン教室、勾玉作り、藍染め教室、和菓子作り教室、男性料理教室、しめ縄作り教室、陶芸ひな人形作り教室	川前 裕美 外	7月～2月	156
室津	体のゆがみを改善するセルフコンディショニング教室、整理収納術「基礎編」、歴史教室「室津の歴史を歩く」、携帯スマートフォンの便利な使い方教室、救急法訓練（AEDと心臓マッサージ）、出前講座「災害図上ゲーム（DIG）」、パステル画教室、「アロマワックスサシェ作り」体験教室、しめ縄作り教室、男性料理教室	稲田 喜代美 外	5月～2月	277
角島	シナプソロジーと笑いヨガ体験	山村 敏史	2月	8
阿川	九重連山へミヤマキリシマを見に行こう！	中塚 芳希	6月	22
栗野	観葉植物寄せ植え教室、エコクラフトバック教室 デコ巻き寿司を作ろう、そば打ち体験教室	加賀山 泰子 外	7月～2月	64
滝部	名画を愉しむ	波多野 宏之	8月	25
田耕	陶芸教室、スロウウォーキング	藤田 武文 外	7月、2月	21

社会教育 関係施設	学 習 課 題	講 師	期 間	参加者数
菊川 ふれあい 会 館	初夏の寄せ植え体験教室、アブニール・スマートフォン教室、世界に1つだけの革小物を作ろう、菊川の歴史講座、新そばの香り楽しむ十割そば打ち講座、ソイミートでヘルシークッキング、お正月の生け花教室、パソコンで年賀状を作ってみよう、ブリザードフラワー教室、しめ縄づくり教室、クラフトバックづくり教室、薬膳料理教室、楽しく！歌いましょう！！、日本銀行下関支店見学と巖流島探訪、太極拳体験教室	吉田 玲子 外	5月～3月	400

豊田生涯学習センター	健康教室、絵あそび文字遊び講座、ものづくり教室	奥 啓子 外	5月～1月	146
宇賀ふれあいセンター	光と色彩のローズウィンドウ教室、おやじ料理教室、アロマ教室、「新元号」「消費税UP」「キャッシュレス」の基礎知識と消費税トラブル予防講座、みそ作り教室、救命教室～AEDの操作訓練、絵手紙教室、歴史教室「宇賀出身の偉人」、おやじ料理教室	大倉 真由美 外	6月～2月	119
豊北生涯学習センター	ワイヤーアート教室、筆ペン講座Ⅱ、スローヨガピクス講座、包丁の研ぎ方教室、陶芸で福招き・干支招きをしよう、お正月料理教室、スイーツデコ教室、スマホ・ケータイ安全教室、押し絵のひな飾りに挑戦!	角野 由姫 外	4月～2月	146

(5) 社会教育関係団体（令和2年度）

（単位：人、円）

団体名	代表者	団体の目的	会員数	補助金支出予定額
下関ユネスコ協会	山 本 徹	ユネスコ精神の普及徹底と国際理解・交流・支援を深めるための活動を行う。（生涯学習課に事務局）	55 (R2.4.1現在)	—
下関市幼稚園PTA連合会	板 井 佑 介	健全なPTA活動を推進するため単位団体相互の連絡・資料交換・研修等を行う。	(6団体) 305	—
下関市小学校PTA連合会	三 木 修 治	同 上	(44団体) 12,867	—
下関市中学校PTA連合会	植 田 和 公	同 上	(23団体) 6,593	—
下関市PTA連合会	松 永 英 治	幼・小・中PTA連合会活動の統合・調整・情報交換・合同研修会を行う。	(73団体) 19,765	718,000
下関市連合婦人会	和 崎 法 子	婦人の資質向上と、社会参加をめざし、自主的活動を行う。	525	760,000
下関市子ども会連合会	関 谷 博	各小学校区子ども会連合会相互の連絡調整を行う。子ども会の団体活動を通じて、青少年の健全育成に寄与する。	2,120	800,000
下関スカウト育成協議会	前 田 晋太郎	スカウト加盟団体相互の連絡調整を図り、スカウト活動の健全なる育成発展に寄与する。	(3団体) 105	300,000
下関海洋少年団	西 島 朋 宏	海や船に関する知識や技術を学ぶ機会を提供し、心身ともに健康でたくましい青少年の育成をめざす。	24	—
菊川町青年団	長 元 宏 樹	交流会等事業実施や菊川地区イベント参加による青年団活動の推進及び積極的な社会参加の促進を図る。 令和2年3月31日解団	4	—

(6) PTA地域活動（令和2年度）

PTA連合組織と会員数

（単位：団体、人）

団体名	会 長	事務局所在地	単位 団体数	会 員	内 訳	
					児童数	教職員
令和元年度			78	20,273	18,656	1,617
令和2年度			73	19,765	18,462	1,303
下関市幼稚園PTA連合会	板 井 佑 介	唐戸町4番1号 カラトピア内5階	6	305	270	35
下関市小学校PTA連合会	三 木 修 治		44	12,867	12,067	800
下関市中学校PTA連合会	植 田 和 公		23	6,593	6,125	468

9 家庭教育

(1) 令和元年度地域ふれあい活動（学校外活動）

（単位：人、回）

公民館名	参加者数	開設回数	主 な 学 習 内 容
彦島公民館	105	4	工作教室(取手付き小物入れ)、クラフトテープでペンギンのペン立てを作ろう!、パン教室(クマのちぎりパン)、クリスマスケーキ作り教室
長府公民館	100	5	パン教室、料理教室、夏休みの工作はしご下り、タネ!タネの不思議のお話、おもしろ科学教室
王司公民館	102	6	まが玉作り(出前講座)、タネの不思議(出前講座)、ハロウィンお花教室、グラウンドゴルフ、バナナロールケーキ作り、料理教室
清末公民館	160	5	小学生のミニトランポリン教室、おもしろ科学教室、お話し会と水鉄砲作りとソーメン流し、水墨画教室、お話し会とお餅つきとクリスマスグッズ作り
小月公民館	259	14	習字(9回)、カップケーキづくり、パン教室、夏休みの工作、科学実験、体育教室
王喜公民館	346	9	親子でフラダンス、サイエンス教室、かごバックを作って夏祭りに行こう、うどん作り、カレンダー・デザート作り、敬老の日の花、親子体操教室、たこづくり、どんど焼きとたこあげ大会
吉田公民館	322	7	灯籠づくり、子ども料理教室、おもしろ科学教室、キッズ・ミニトランポリン、遊びながらの体育教室、昔あそび、どんど焼き
内日公民館	31	2	手づくり陶芸教室、伝統工芸 輪飾り作り
勝山公民館	340	5	子ども料理教室、子ども囲碁入門教室、子ども陶芸教室、楽しい読書とクリスマス会、子どもしめなわ飾り教室
川中公民館	532	5	花あそび教室、囲碁教室、料理教室、グラウンドゴルフ教室、生け花教室
安岡公民館	143	4	こども陶芸教室、楽しいお話の会及び手作り遊び(①②)、デコレーションケーキ作り
吉見公民館	75	4	絵本の読み聞かせ、ふるさとの川の生き物観察教室、スライド本立てをつくってみよう!、似顔絵パン
吉母公民館	64	3	読み聞かせと料理教室、陶芸教室、デコレーションケーキ作り
北部公民館	89	6	子供絵画教室(全3回)、工作教室(金づちを使って木製ペン立を作ろう)、ガラスアート教室ミニティッシュケース作り、夏休み科学教室
西部公民館	100	3	空手を体験してみよう!、ふれあいエアロビクス、絵本の読み聞かせ
玄洋公民館	113	4	親子陶芸教室、親子書道教室、スイーツデコ 食品サンプル、親子でクリスマスケーキデコレーション
長府東公民館	161	5	似顔絵パン教室、陶芸教室、勾玉づくり、出張 水道教室、クリスマス会
殿居公民館	202	26	ちびっこ教室(オカリナ、物づくり塾、開作川遊び、海辺の体験教室等)、ふるさと伝承教室(浦安の舞、しめ縄作り)
豊田中公民館	324	20	子ども教室(料理、科学、工作等)、化石教室、子どもとお出かけ学習教室、アロマバスソルト作り教室、香りの実験教室(香りの水玉作り)、フラワーアレンジメント教室
三豊公民館	6	1	夏休み地域ふれあい教室
西市公民館	129	15	夏休み子ども講座(お花、茶道、書道)、お菓子・料理教室
豊田下公民館	532	30	小学生の文化教室(ガラススタイルのコースター作り、焼きそば作り等)地域ふれあい講座(寺子屋、養蜂体験等)、豊田下文化教室(茶道)
小串公民館	108	5	旬を味わおう、たけのこ掘り体験、楽しくリトミック、陶芸で福招き、干支招きをしよう!、しめ縄づくり教室、ミニ門松づくり
川棚公民館	178	9	ウォーキング教室、転倒予防・毒虫講座、夏休み手作り木工教室、うどんづくり教室、陶芸教室、手作りパン教室、しめ縄作り教室、郷土料理教室、フラワーアレンジメント教室
黒井公民館	133	6	父の日のフラワーアレンジメント教室、親子料理教室、カラーセラピー教室、竹馬作り教室、リトミック教室、太極拳教室
室津公民館	261	4	生の落語を聞き伝統芸能に親しむ「里帰り落語会」、「香育とアロマキャンドル作り」教室、地元の魚を知り海に親しむ釣り教室、英語であそぼう!クリスマスパーティー
神玉公民館	35	1	しめ縄づくり&冬休みお楽しみ交流会
合計	4,950	208	

(単位：人、回)

社会教育関係施設名	参加者数	回数	主な学習内容
菊川ふれあい会館	253	12	わんぱくいけばな教室、わんぱく料理教室、イングリッシュクリスマスパーティー
豊田生涯学習センター	64	4	わくわく工作教室
宇賀ふれあいセンター	73	3	ふれあいお茶会、お金の歴史と役割について学んで調べて考える、なかよしダンス教室
豊北生涯学習センター	33	1	工房の森(小学生体験工房)

(2) 家庭教育学級【幼稚園・こども園】(令和元年度)

・実施状況

(単位：人、回)

実施園・校	参加者数	開設回数	主な学習内容
第一幼稚園	90	2	朝ご飯を親子で作ろう
豊浦幼稚園	90	2	深坂の森の幼稚園、からだを使った体育遊び
小月幼稚園	109	2	遊びを通しての学び、からだを使った体育遊び
江浦幼稚園	90	2	親子で絵本作り、絵本の読み聞かせ
清末幼稚園	134	2	深坂の森の幼稚園 からだを使った体育遊び
川中西幼稚園	58	2	百聞は一見に如かず友達作り 1・2・3 いっしょに遊ぼう
川中幼稚園	167	2	小学校入学までに身につけさせたい力 いっしょに遊ぼう
王喜こども園	197	1	絵本の読み聞かせ
西市こども園	90	1	いっしょに遊ぼう
豊田下こども園	80	1	体を使った体育遊び
黒井こども園	122	2	お茶席体験
川棚こども園	110	1	こどもへの上手なかかわり方
豊北こども園	24	1	いっしょに遊ぼう
中央こども園	165	2	親子リズム体操・親子ヨガ
垢田こども園	177	2	絵本の読み聞かせ、心の栄養の大切さについて
合計	1,703	25	

(3) 家庭教育学級【小学校】(令和元年度 ※旧名称：「大人の学び塾」)

「家庭教育学級【小学校】」は、平成28年度より実施している「保護者、地域の大人」を対象とし、「気づき、考え、学ぶ」ことを体験してもらうことで、家庭教育力の向上を目的とする。家庭をめぐる問題が困難化する中で、より効果的な家庭教育支援を実施するために、学校等を会場とし、就学時検診・参観日・学校保健委員会・PTA研修会など多くの保護者が集まる機会を活用し、家庭でのさまざまな課題の解決につながる講演会を実施した。

・実施状況

(単位：人)

実施場所	内 容	講 師	日 時	参加者数
市内小学校 17校	「どの命にも価値があり、生まれてきて、いき続けることは奇跡の連続である」ということを、大人とこどものそれぞれの視点で実体験をもとに、講演会を行った。	家庭教育支援チーム	10月10日 10月17日 10月24日 10月30日	351
	「子どもたちに伝えたい！親として、大人として、地域として」熊丸氏を招き、笑いあり涙ありの子育て講演会を行った。	子育てアドバイザー 幼児教育・家庭教育専門家 熊丸 みつ子	10月7日 10月8日 10月23日 1月14日 1月23日 2月6日	986
	自らの体験をもとに、学習障がいなどの発達障がいへの正しい理解について講演を行い偏見や差別などさまざまな人権問題を考える機会となった。	映画コメンテーター 和田山企画 代表 大橋 広宣	10月7日 10月18日	199
	がん闘病中の妻と幼い娘はなちゃんとのくらしから、親として子供に何を伝えていくことができるのか。また、自分で食事を作る経験が食育に大切であると学んだ講演会となった。	西日本新聞社 安武 信吾	10月4日	210
	子どもを取り巻くゲーム、ネット、スマホ環境の現実やその危険性について学び、子どもたちにこれから気を付けるとよいこと、親としてしなければならないことを学ぶ講演会となった。	NPO 法人 子どもとメディア 古野 陽一	10月29日 1月15日	789

(4) 女性団体の育成

○下関市連合婦人会

会 長 和崎 法子

会 員 数 625人（令和2年5月現在）

重 点 目 標

- ・安心安全のまちづくり活動を推進し地域の絆を深めよう
- ・青少年健全育成を進め明るい社会につなげよう
- ・日常生活を見直し防災・環境意識を高めよう
- ・生涯学習をすすめ健康ではつらつと生きよう
- ・ルールとマナーを守り交通事故のない社会をつくろう

10 下関みらい塾事業

「下関みらい塾事業」は、平成 16 年度から始まった事業で、下関の子供達に夢や希望を与え、未来に羽ばたく人物を育成することを目的として、各分野の第一線で活躍している人材に、自身の人生や専門の世界についての講演で、子供達に熱いメッセージを送ってもらう機会をつくる。

平成 23 年度からは、間近で講演が聴くことができ、より多くの子供達に深く感動してもらえるよう、講師が各学校に出向く「出前型」での講演会を実施している。

・下関みらい塾実施状況（令和元年度）

（単位：人）

実施場所	内 容	講 師	日 時	参加者数
市内中学校 4 校	奇跡的に命をとりとめ、多くの人達に支えられて生きていることに気づいた腰塚氏が、命の大切さ、生きていることの素晴らしさ・両親・家族・仲間大切さなど、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけている大切な幸せや、人は皆誰かを照らす存在であるというメッセージを送ってもらう講演会を行った。	株式会社命の授業 代表取締役 腰塚 勇人	4 月 11 日 4 月 12 日	817

11 豊田ホテルの里ミュージアム

(1) 施設概要

沿 革：昭和 32 年に豊田町を貫流する木屋川がゲンジボタルの発生地として天然記念物の指定を受けたが、河川改修工事等による影響でゲンジボタルが減少した。そこで、町内の有志や小学校等によりさかんに保護活動が行われた。豊田ホテルの里ミュージアムは、これらホテルの保護活動の拠点として、また、ホテルとそれを取り巻く豊田町の自然の情報を全国に発信する場所として平成 16 年 6 月 5 日開館した。

位 置：下関市豊田町大字中村 50-3

敷地面積：10,480 m²

構 造：鉄骨造平屋建

建設面積：1,455 m²

延床面積：1,377 m²

常設展示室 349 m² シアター室 43 m²

ネイチャーラボ 24 m² 多目的ホール 138 m²

エントランスホール 169 m² その他 654 m²

開館時間：午前 9 時～午後 5 時

（但し最終入館は午後 4 時 30 分）

※6 月の開館時間は変更になることがある。

休 館 日：月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12/28～1/4）

観 覧 料：一 般 200 円（160 円）

大学生等 100 円（80 円）

（ ）内は 20 人以上の団体料金

※ 18 歳以下・障害者の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※ 下関市及び北九州市内に在住の 65 歳以上の方は 100 円（証明書必要）。



令和元年度月別利用状況表

(単位：日、人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開館日数	26	27	28	26	27	25	27	26	23	23	25	21	304
総入館者数	1,470	2,258	5,411	2,803	4,668	2,107	1,044	1,227	568	747	1,340	10	23,653

12 青少年教育

(1) 青少年健全育成事業

① 青少年問題協議会

ア 委員数 15名（会長は委員の互選による、委員は関係行政機関の職員及び学識経験者のうち市長が委嘱又は任命）

イ 専門委員 必要に応じ任命する。

② 青少年健全育成市民会議

○ 下関市青少年健全育成市民会議 昭和60年11月15日発足

ア 委員等：87名

（会長は市長、副会長7名、顧問3名、参与5名、企画・運営委員18名、委員53名）

- ・ 総 会 開催日 令和元年7月16日（火）
会 場 下関市教育センター大研修室
参加者 94名
- ・ 青少年健全育成推進大会 開催日 令和元年11月5日（火）
会 場 下関市教育センター大研修室
参加者 159名
- ・ 習字募集 最優秀 5点 優秀 10点 佳作 15点
- ・ 功労者表彰 個人2名

イ 各地区（校区）育成協議会の活動助成 2団体 講演会の講師謝礼の一部を助成する。

○ 菊川町青少年育成町民会議（菊川教育支所管内） 平成2年1月20日発足

ア 運営委員：13名（会長、副会長2名、常任委員8名、監事2名）代議員42名

イ 主な事業

- ・ 常任委員会及び代議員会議 開催日 令和元年7月17日（水）
会 場 菊川ふれあい会館（アブニール）
参加者 24名

(1) ふれあいコンサート共催

(2) 国体出場等祝い懸垂幕作成 他

○ 豊田町青少年健全育成町民連絡協議会（豊田教育支所管内）

5月 県青少年育成県民会議総会参加 1名

7月 市青少年健全育成市民会議総会参加 1名

11月 市青少年健全育成推進大会参加 1名

○豊浦町青少年育成町民会議（豊浦教育支所管内）昭和 57 年 9 月 6 日発足

ア 役員 31 名（会長、副会長 4 名、顧問 1 名、理事 20 名、監事 2 名、事務局 3 名）

イ 地域活動の拡充と推進体制の整備

- ・総会
開催日 令和元年 6 月 1 日（土）
会場 下関市立川棚公民館
参加者 65 名
- ・青少年育成関係団体連携セミナー
開催日 令和元年 12 月 7 日（土）
会場 下関市立川棚公民館
参加者 80 名

ウ 青少年の社会活動参加への啓発促進

- (1) 「私の主張」発表大会
開催日 令和 2 年 2 月 8 日（土）
会場 下関市立川棚公民館
発表者 21 名 聴衆 140 人

(2) 青少年の自主性や社会性を育むスポーツ・団体活動への参加奨励及び支援
放課後子供教室及び各地区民会議への支援

○豊北町青少年健全育成連絡協議会（豊北教育支所管内）昭和 57 年発足

協議会委員 26 名（会長、副会長 1 名、監事 2 名、委員 20 名、事務局 2 名）

ア 主な活動

- (1) 「少年非行防止と社会を明るくする運動」及び「青少年健全育成」啓発活動
- (2) 薬物乱用防止ヤングキャンペーン
- (3) 社会を明るくする運動豊北町推進大会
- (4) こども 110 番の家のぼり設置更新
- (5) 啓発看板設置（2 箇所）

③成人の日記念行事

対象者：平成 11 年 4 月 2 日～平成 12 年 4 月 1 日生まれの人

○本庁管内

- ア 開催日 令和 2 年 1 月 12 日（日）午前 11 時～午後 0 時 30 分
- イ 会場 下関市民会館
- ウ 参加者 1,366 名
- エ 行事内容 (1) 式典 市長式辞、議長祝辞、はたちのメッセージ
(2) 実行委員会主催「はたちの交流会」

○菊川・豊田総合支所管内

- ア 開催日 令和 2 年 1 月 12 日（日）午後 1 時～午後 3 時 30 分
- イ 会場 菊川ふれあい会館
- ウ 参加者 89 名
- エ 行事内容 (1) 式典 市長式辞、来賓祝辞、はたちの誓い
(2) 記念写真撮影
(3) 実行委員会主催アトラクション

○豊浦・豊北総合支所管内

- ア 開催日 令和 2 年 1 月 12 日（日）午後 2 時～午後 4 時
- イ 会場 豊浦夢が丘スポーツセンター

- ウ 参加者 165名
 エ 行事内容 (1) 式典 市長式辞、議長祝辞、はたちの提言
 (2) 記念写真撮影
 (3) アトラクション

④学校・家庭・地域の連携協力推進事業

- ア ふるさと下関協育ネット事業の実施
 (1) 本庁管内 17 小学校 10 中学校
 (2) 菊川教育支所管内 3 小学校 1 中学校
 (3) 豊田教育支所管内 3 小学校 1 中学校
 (4) 豊浦教育支所管内 5 小学校 2 中学校
 (5) 豊北教育支所管内 1 小学校
- イ 放課後子供教室の実施（土曜日の教育支援体制等構築事業で実施の2教室を含む）
 (1) 本庁管内 11 教室（土曜日の教育支援体制等構築事業で実施の2教室を含む）
 (2) 菊川教育支所管内 3 教室
 (3) 豊田教育支所管内 3 教室
 (4) 豊浦教育支所管内 5 教室
 (5) 豊北教育支所管内 1 教室
- ウ 令和元年度子供指導者研修会
 開催日 令和2年2月5日(水)
 会場 下関市教育センター
 参加者 35名
 内容 「かかわり上手になるために」

(2) 青少年非行防止対策業務

①青少年補導センター

- ア 所 在 地：下関市幡生新町1番1号 下関市教育委員会教育部生涯学習課内
 イ 設 置 年 月 日：昭和39年4月1日
 ウ 活動地域の青少年人口：13,321人（14才～20才未満） 令和2年3月31日現在
 エ 活動地域の関係機関：家庭裁判所1、警察署3、児童相談所1、小学校44、中学校23、
 高等学校14、中等教育学校1、特別支援学校4、短期大学・大学等5
 オ 職員配置：所長1名、青少年健全化推進員2名、青少年相談員1名

②青少年補導センター運営協議会

- ア 委 員：13名（教育委員会委嘱、任期2年、会長は教育長）
 イ 委員の構成：警察署生活安全課長(3署)、児童相談所長、中学校長代表、
 高等学校代表、PTA連合会代表、保護司会代表、民生児童委員代表、婦人会代表、
 防犯対策協議会代表、青少年補導委員代表 市教育委員会教育長 計13名
 ウ 任 期：平成31年4月1日～令和3年3月31日
 エ 会 議：年1～2回開催

③青少年補導委員

ア 青少年補導委員状況(令和2年6月1日現在) (単位：人)

区 分	委 員 数	内 容
一 般	141	16 育成協単位 (17 校区)
小 学 校	31	各校教員 1 名
中 学 校	17	〃
高 等 学 校	12	〃
職 域	4	デパート、スーパーマーケット等各 1 名
合 計	205	

イ 任 期：2年(現在の任期 令和元年6月1日～令和3年5月31日)

ウ 青少年補導委員幹事：各所属区分毎に1名 計20名

毎月1回幹事会を開催して情報の交換を行うほか、校区活動等に関し自主計画の策定、委員会間の連絡にあたる。

(3) 青少年教育施設

①下関市立青年の家

研修活動や団体宿泊を通じて、多様な活動や体験学習を行い、規律・友愛・協同の精神を養い健全な青少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設。

位 置：下関市棕野町一丁目17-1(一里山公園内)

TEL 083-223-0521

開 所：昭和48年3月21日

宿 泊 定 員：112人

施設・設備：本 館 鉄筋コンクリート3階建、延1,913.35㎡

1 階 事務室、ロビー、食堂談話室(120名)、保健室、浴室、当直室、従業員室

2 階 第1研修室(112名)、第2研修室(40名)、第3研修室(24名)、音楽研修室(60名)、講師控室、展示ホール

3 階 宿泊室(112名)、講師室(6畳)、和室(20畳)

体育館 鉄骨平屋建772.79㎡

バレーコート2面、バスケットコート1面、バドミントンコート2面、卓球台3台

運動場 5,000㎡ 200mトラック、ソフトボール、サッカー等

ア 生活目標 規律正しい生活をしよう。明るい交歓をしよう。積極的に実践しよう。

イ 研修内容 研修内容については、青年の家と協議して、各団体が自主的に計画立案する。

(1) 学 習 活 動…研修討議、視聴覚教材を利用した討議、茶道、華道

(2) 体 育・レクリエーション…歌唱、ゲーム、フォークダンス、球技(バレー、バスケット、卓球、サッカー、ソフト、ドッジボール)等

ウ 要請により青年の家が協力する事項

(1) 講話(講師のあっせん)

(2) 研修プログラム立案の相談

(3) 団体活動の相談

(4) 生活、体育、レクリエーション等指導

(5) 研究討議の指導助言

エ 年度別利用状況

(単位：団体、人)

区分		年度				
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
宿泊	団体数	132	104	120	98	104
	利用者数	4,400	3,167	4,319	4,400	3,635
日帰り	団体数	270	302	399	367	294
	利用者数	5,689	5,521	6,605	5,552	4,513
合計(団体数)		402	406	519	465	398
合計(利用者数)		10,089	8,688	10,924	9,952	8,148

②下関市菊川青年交流館

青年が交流を通じて、自主的活動の振興促進を図ることを目的とする社会教育施設。

位 置：下関市菊川町大字下岡枝 9 番地 2

建設年月：平成 12 年 3 月

建築面積：187.7 m²

延床面積：173.9 m²

会議室 63.76 m² 調理室 19.87 m² 倉庫ほか 90.27 m²

構 造：木造平屋建

開館時間：午前 9 時から午後 10 時まで

休 館 日：12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

Ⅲ 学術文化関係資料

1 美術館

(1) 沿革

昭和 56 年 4 月美術館等開館準備室を教育委員会に設置
昭和 57 年 4 月美術館建設工事に着手
昭和 58 年 2 月美術館建設工事が完成
昭和 58 年 4 月美術館の設置等に関する条例を制定
昭和 58 年 11 月開館
昭和 63 年 10 月駐車場を増設
平成 5 年 10 月駐車場及び修景を整備
平成 22 年 3 月リニューアル工事、屋外エレベーター設置
平成 31 年 3 月屋上防水工事



(2) 位置

下関市長府黒門東町 1 - 1 (〒752-0986)
TEL (245) 4131 FAX (245) 6768

(3) 建築概要等

敷地面積 15,787.04 m²
建築面積 2,300.76 m²
延床面積 4,876.52 m² (展示部門 906.01 m²、収蔵部門 1,060.13 m²、学術研究部門 445.15 m²、共用部門他 2,373.65 m²、屋外施設 91.58 m²)
構造 鉄筋コンクリート造 2 階建、塔屋 1 階、地下 1 階 (一部光庭ドーム、鉄骨造)

(4) 開館時間等

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)
休館日 祝日以外の月曜日、年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)、その他展示替え等のための臨時休館

観覧料

(所蔵品展) 一般 210 円 (160 円)
大学生等 100 円 (80 円)
()内は 20 人以上の団体料金。

※18 歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料

※下関市と北九州市に在住の 65 歳以上の方は半額免除

※公的証明書の提示が必要 (生徒手帳、運転免許証、保険証など)

(企画展) 観覧料は別に定める。

※18 歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料

※下関市に在住の 65 歳以上の方は半額免除

※公的証明書の提示が必要 (生徒手帳、運転免許証、保険証など)

施設使用料

(単位：円)

区 分	第4展示室	講 堂	光庭			造形室
			壁面・床面	壁面	床面	
午前9時30分～正午	2,460	1,840	2,000	1,000	1,000	750
午後1時～午後5時	5,070	3,710	3,200	1,600	1,600	1,200
午前9時30分～午後5時	7,550	5,690	5,200	2,600	2,600	1,950

※窯場 1回(8日以内) 4,500円(造形室で作成した作品の焼成を目的とした使用に限る)

(5) 収蔵品

収蔵品種別集計表

(令和2年5月1日現在)

種 別	点 数
日 本 画	401
洋 画	382
水彩・素描	177
版 画	772
彫 塑	156
工 芸	309
写 真	23
書	3
資 料	155
合 計	2,378



藤田隆治《浜の風景》第二次世界大戦以前
絹本着色・額 令和元年度保管転換

(6) 企画展開催と観覧者の状況

(単位：日、人)

名 称	会 期	観覧者数			
		開館 日数	有料	無料	計
横山眞佐子と3人のゆかいな仲間たち	1年7月12日～9月1日	47	1,642	2,472	4,114
書 家 ・ 金 澤 翔 子	1年10月2日～10月20日	18	5,542	3,728	9,270
やなせたかしのきせき アンパンマンを生んだひと	1年11月29日～2年1月19日	43	4,685	4,998	9,683

2 歴史博物館

(1) 沿革

平成 28 年 11 月 18 日、旧下関市立長府博物館（旧館）の活動を継承発展するために開館した博物館。博物館活動の基本となる展示については、「海峡に育まれた下関の歴史と文化-海峡の歴史に未来が見える」をメインテーマとし、下関の古代から近代までの歴史について紹介している。また、市域の歴史についての調査研究、本市ゆかりの資料の収集などを積極的に行うとともに、本市の文化財観光の拠点として交流人口の拡大に取り組んでいる。



(2) 位置

下関市長府川端二丁目 2 番 27 号（〒752-0979） TEL (241) 1080 FAX (245) 3310

(3) 構造等

敷地面積 10,155 m²（新館部 5,484 m², 旧館部 4,671 m²）

構 造 新館 鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺

旧館（旧長府博物館） 鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺ほか

※旧館本館は昭和 8 年建築、戦前の博物館建築の典型として国登録有形文化財。

延床面積 2,105 m²（新館部 1,500 m²、旧館部 605 m²）

(4) 開館時間等

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時（ただし、入館は午後 4 時 30 分）

休 館 日 月曜日（休日の場合は翌日以降最初の休日でない日）、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

観 覧 料 常設展示 一般 210 円（160 円）、大学生等 100 円（80 円）、下関市在住 65 歳以上 100 円
北九州市在住 65 歳以上 100 円

企画展示 一般 210 円（160 円）、大学生等 100 円（80 円）、下関市在住 65 歳以上 100 円

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

※18 歳以下、障害者の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※特別展示観覧料は別に定める。

駐 車 場 有料 26 台 身障者用 2 台（開場時間は、午前 9 時から午後 5 時 30 分まで）

駐車料金 最初の 2 時間は 1 時間ごとに 100 円、2 時間を超えた後は 30 分ごとに 100 円。

※減免あり。

(5) 展示と観覧者の状況

開館日数 282 日

観覧者数 31,155 人（有料 20,465 人、無料 10,690 人）

展示別観覧者数

名 称	会 期	開催日数	観覧者数(人)		
			有料	無料	計
常設展示	H31. 4. 1～R2. 3. 31	282 日	10,940	5,572	16,512
企画展示		145 日	5,030	2,426	7,456
長門国府から長府へ	H31. 4. 1～4. 7	6 日	181	131	312
晋作と龍馬	H31. 4. 13～R1. 6. 2	45 日	2,486	1,479	3,965
源平合戦と下関	R1. 6. 8～7. 15	33 日	811	513	1,324
幕末長州藩の戦いと戦術	R1. 12. 7～R2. 2. 2	41 日	1,178	199	1,377
下関の文化財	R2. 2. 8～R2. 3. 31	20 日	374	104	478
特別展示		111 日	4,495	2,692	7,187
下関の鉄道物語	R1. 7. 20～9. 23	57 日	1,610	1,781	3,391
関ヶ原	R1. 10. 1～12. 1	54 日	2,885	911	3,796

(6) 普及活動

①ミニ講座 (7回 458人)

- (1) 高杉晋作と薩摩藩 (62人)
- (2) 徹底比較?! 晋作と龍馬 (52人)
- (3) 源平合戦と下関 (60人)
- (4) 下関に鉄道がやってきた (55人)
- (5) 下関駅・山陽ホテルの喧騒 (69人)
- (6) 関ヶ原の毛利勢 (74人)
- (7) 戦後処理と防長両国 (86人)

②歴史講座・展示解説 (5回 309人)

- (1) 坂本龍馬の手紙―東奔西走の記録を読む (46人)
- (2) 紀行文にみる下関―旅人の目に映った下関 (36人)
- (3) 毛利家の手紙―長文に込められた思い (60人)
- (4) 串崎城のヒミツ―壊された城の物語 (94人)
- (5) キリスト教宣教師がみた下関―黒田官兵衛の布教のススメ (73人)

③特別展示関連イベント

- こども鉄道模型運転会、ミニ SL 展示会、こども制服試着体験、京都鉄道博物館のミニ SL 展示、日本遺産関門“ノスタルジック”海峡巡回パネル展 (895人)
- 表千家只楽会呈茶席 (60人)
- 城下町散策イベント (40人)

④展示解説 (10回 241人)

⑤出前講座 (6回 296人)

⑥研究紀要の製作

⑦講師派遣

カモンエフエム、旧下関英国領事館、山口銀行、山口県高等学校教育研究会社会部会、下関西高等

学校、岩国市教育委員会、防府ボランティア連絡会、北九州市立大学、長府庭園、北部公民館、生涯学習課、ロータリークラブなど

(7) 分館 日清講和記念館

平成 28 年 4 月 1 日、文化財保護課から所管替えるとともに、歴史博物館の分館とし、「公の施設」に位置づけた。

沿革 明治 28 年春、下関市の春帆楼を会議場として開催された日清講和会議、および下関条約と称される講和条約の歴史的意義を後世に伝えるため、昭和 12 年 6 月に開館。館内は会議に使用された調度品や筆記用具などにより、当時の会議場を再現、また、両国の全権を務めた伊藤博文や李鴻章の遺墨なども展示している。
なお、建物は国登録有形文化財。

所在地 下関市阿弥陀寺町 4 番 3 号
構造等 鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺（一部地下）
敷地面積 458 m² 延床面積 191 m²

入館者 68,020 人

観覧料 無料

開館時間 午前 9 時～午後 5 時（年中無休）



3 東行記念館

(1) 沿革

平成 22 年 6 月 1 日に開設した下関市立東行記念館は、高杉晋作・奇兵隊を中心に、その活動した時代と周辺の歴史を基本テーマとし、資料の収集・調査研究および展示活動を行っている。また、博物館活動を通じ、郷土の歴史に対する市民の知識及び理解を深め、市民の教育と文化の向上に資することを目的とする。なお、この記念館は、高杉晋作 100 年祭記念事業として、全国有志の寄付により、昭和 41 年 4 月 14 日に開館した宗教法人東行庵設置の東行記念館を前身とする。

(2) 位置

下関市大字吉田 1184 番地（〒750-1101）
TEL (284) 0212 FAX (284) 0219

(3) 構造等

構造 鉄筋コンクリート造 2 階建
延床面積 2 階：展示室 110.5 m²、収蔵庫 27.6 m²
学芸員室 27.6 m²、
ホール 55.3 m²（1 階：310.2 m²）



(4) 開館時間等

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時（ただし、入館は午後 4 時 30 分）

休館日 月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）、展示替え等のための臨時休館

観覧料 一般 300 円（240 円）

大学生等 200 円（160 円） ※（ ）内は 20 名以上の団体料金

下関市及び北九州市在住 65 歳以上 150 円

※18 歳以下、障害者の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※特別展示観覧料は別に定める。

(5) 観覧者の状況

名 称	会 期	開催日数	観覧者数 (人)		
			有料	無料	計
常設展示	H31. 4. 1～R2. 3. 31	282 日	3,903	2,497	6,400

(6) 展示会開催 (令和元年度)

常設企画展として高杉晋作生誕 180 年記念企画展「赤間関之鎮主高杉晋作」、夏休み子ども向け企画展「ファミリーヒストリー高杉家のひみつ」、「猛烈奇兵一晋作が描いた奇兵隊」、「晋作に魅せられた者たち」を開催した。

(7) 教育・普及活動

ミニ講座 (11 人)、展示解説 (9 人)、出前講座 (80 人)、展示解説及び境内見学 (8 人)、企画展関連講座及び展示解説 (2 回 47 人)、こども向け展示解説 (55 人)、しんさくクイズ (520 人) を実施した。

4 考古博物館

(1) 沿革

平成 2 年 10 月	遺跡公園等建設推進調査委員会設置
平成 5 年 3 月	下関市考古資料館 (仮称) 建設開始
平成 6 年 6 月	名称を下関市立考古博物館と決定
平成 6 年 6 月	考古博物館本館工事が完成
平成 6 年 12 月	考古博物館の設置等に関する条例を制定
平成 7 年 3 月	考古博物館完成
平成 7 年 5 月	開館



(2) 位置

下関市大字綾羅木字岡 4 5 4 番地

(3) 構造等

敷地面積	12,942 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階 (地上 1 階、地下 1 階)
建築面積	1,875 m ²
延床面積	2,664 m ² (展示部門 794 m ² 、収蔵部門 390 m ² 、教育普及部門 237 m ² 、調査研究部門 360 m ² 、その他 883 m ²)
屋外施設	竪穴式住居 (2 棟)、岩谷古墳、屋外便所
駐 車 場	87 台 (うちバス 5 台)
付属施設	休憩所「弥生の里」(平成 28 年 4 月より、子育て支援施設として使用)

(4) 利用案内

開館時間	午前 9 時 30 分～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)
休 館 日	月曜日、年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)
観 覧 料	無料

(5) 常設展示

綾羅木郷遺跡を中心に、市内の弥生・古墳時代遺跡から出土した代表的な考古資料を展示し、当時の人々のくらしと文化を紹介する。また、展示品や当時の社会についての理解や興味を深めるため、模型や視聴覚機器等を設置している。

(6) 収蔵品の主なもの

綾羅木郷遺跡の出土品及び市内出土の考古資料の一部

弥生時代・・連弧文銘帯鏡、埴形土製品、多鈕細文鏡、細形銅剣、弥生土器・壺（織物付着）

古墳時代・・六鈴鏡、勾玉、鈴付釧、小環付釧、三輪玉形金具

(7) 入館者の状況

年度	開館日数	入館者数
平成29年度	311	25,227
平成30年度	314	24,685
令和元年度	281	17,516

(8) 展示会開催と観覧者の状況

名称	会期	開館日数	観覧者数
企画展Ⅰ 「郷台地奇譚 EpisodeⅡ— 綾羅木式土器の世界—」	平成31年03月16日(土)～ 令和元年06月09日(日)	60日	4,128人
巡回展 「発掘された山口—山口県埋 蔵文化財センター巡回展—」	令和元年06月29日(土)～ 令和元年08月25日(日)	50日	3,161人
特別展 「至宝しものせき—梶栗浜遺 跡と弥生の墓制—」	令和元年09月14日(土)～ 令和元年11月17日(日)	56日	5,053人
発掘速報展 「掘ったほ！下関2019」	令和元年12月07日(土)～ 令和2年02月23日(日)	61日	3,535人
企画展Ⅱ 「郷台地奇譚 EpisodeⅢ— 郷台地の弥生石器とその石材 —」	令和2年03月21日(土)～ 令和2年03月31日(火) 現在	0日	0人
合 計		227日	15,877人

(9) 教育・普及活動

ア 一般教養講座(外部講師)……年間テーマ「下関出身の考古学者」

① 令和元年 5月26日(日) 田畑直彦(山口大学埋蔵文化財資料館 助教)

「綾羅木式土器とは何か—その世界と特質に迫る—」

聴講者 67人

② 令和元年 9月28日(土) 吉田 広(愛媛大学ミュージアム 准教授)

「日本列島の初期青銅器文化—梶栗浜遺跡出土の朝鮮半島系青銅器を読み解く—」

聴講者 51人

③ 令和元年 11月2日(土) 山田康弘(国立歴史民俗博物館 教授)

「墓制からみた本州最西端の弥生社会—墓から読み解く社会構造—」

聴講者 66人

イ 文化財講座(下関市職員担当)

① 令和元年 6月16日(日) 阿南翔悟(文化財保護課 学芸員)

「丸小山墳墓群発掘調査成果報告」

聴講者 57人

② 令和元年 9月8日(土) 安田 豊(考古博物館 非常勤学芸員)			
「海を渡る神一賀茂島御神幸祭」			聴講者 60人
③ 令和元年 10月20日(日) 大藪由美子(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム 係長)			
「古病理学からみた土井ヶ浜弥生人」			聴講者 52人
④ 令和元年 12月15日(日) 吉留 徹(豊北歴史民俗資料館 館長)			
「蓋井島・山ノ神神事の伝承と祭事」			聴講者 54人
⑤ 令和2年 1月19日(日) 藤原彰久(文化財保護課 主任)			
「長門国府跡—最近の調査成果から—」			聴講者 56人
⑥ 令和2年 2月23日(日) 中原周一(文化財保護課 主任)			
「勝山御殿跡を語る—史跡指定1周年を記念して—」			聴講者 77人

ウ ミュージアム・セミナー(当館学芸員担当)

……年間テーマ「きいて、みて、つくる—綾羅木式土器の世界—」

平成31年2月9日(土)・16日(土)・25日(土) 全3回 聴講者 延32人

エ 体験学習教室(当館学芸員担当)

①土器づくり教室	1回	参加者	66人
②土笛・土鈴づくり教室	1回	参加者	66人
③勾玉づくり教室	1回	参加者	62人
④土器文様アクセサリをつくろう!	2回	参加者	15人
⑤令和木簡づくり	62日間	参加者	延622人
⑥竪穴住居模型づくり教室	2回	参加者	39人
⑦弥生の銅鏡づくりにチャレンジ!	1回	参加者	17人
⑧拓本づくりに挑戦しよう!	1回	参加者	20人
⑨地層標本づくりを体験しよう!	1回	参加者	14人

オ その他

①考古体験学習・出前講座	12回	参加者	延502人
②子育て支援施設「こどもはらっぱ」との協同活動			
赤米を植えよう	1回	参加者	28人
手形プレートを作ろう	3日間	参加者	延81人
考古博物館を探検しよう	1回	参加者	14人
古墳の森ウォークラリー	1回	参加者	44人
赤米を収穫しよう	1回	参加者	10人

5 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

(1) 沿革

昭和53年	「史跡土井ヶ浜遺跡保存管理計画」策定
平成2年	遺構覆屋(土井ヶ浜ドーム)完成、公開
平成5年3月	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム完成
平成5年5月	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム開館

(2) 位置

下関市豊北町大字神田上 891-8

(3) 構造等



敷地面積	18,748.26 m ²
構造	鉄筋コンクリート造 3 階建陸屋根
延床面積	1,977.65 m ²
1 階	(倉庫・収蔵庫、機械室など) : 740.52 m ²
2 階	(玄関・エントランスホール・展示室・事務室・倉庫・会議室・トイレ) : 1,057.36 m ²
3 階	(展望所) : 146.02 m ²
PH	: 33.75 m ²
屋外施設	湿生花園、研修田 駐車場 100 台
付属施設	遺構覆屋 (土井ヶ浜ドーム)、休息所「ほねやすめ」

(4) 利用案内

開館時間	午前 9 時～午後 5 時
休館日	月曜日 (祝日又は振替休日の場合は翌平日)、年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)
観覧料	大人 200 円 (160 円)、大学生等 100 円 (80 円)、下関市と北九州市居住の 65 歳以上の方 100 円 () 内は 20 名以上の団体料金、高校生以下は無料、療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳 (項症) の交付を受けている方 (身体障害の程度が 1～4 級、戦傷病者の特別項症から第 4 項症までの方は付添人 1 人を含む) は無料

(5) 常設展示

① 弥生シアター

弥生シアターでは 3D 映像「よみがえる弥生人」を上映。土井ヶ浜弥生人の特徴とルーツについて映像で紹介。

② 展示室

- ・土井ヶ浜遺跡のジオラマ
- ・土井ヶ浜遺跡の土層はぎ取り展示
- ・埋葬のようす (土井ヶ浜遺跡でみられた埋葬の種類)
- ・日本人の起源
- ・日本人の身長の変遷 (縄文時代から現代までの身長の変化)
- ・弥生人形質の地域差 (弥生人には顔かたち地域差があったことを人骨のレプリカで紹介)
- ・副葬品 (南海産貝製腕輪、玉状貝製品などのアクセサリ類を展示)
- ・副葬されていた土器
- ・殺されたシャーマン (124 号人骨の謎)
- ・土器に文様を付けてみよう

(6) 収蔵品

土井ヶ浜遺跡出土遺物、角島沖田遺跡出土遺物、圃場整備事業にかかる発掘調査で出土した遺物
土井ヶ浜人骨および弥生人骨、古墳人骨、古代人骨、中世人骨、近世人骨、河村コレクション (貝)

(7) 観覧者の状況

	開館日数	観覧者数
平成 29 年度	307	9,464
平成 30 年度	310	9,869
令和元年度	284	8,528

(8) 企画展示・講演・教育・普及活動

ア 企画展

- ① 「土井ヶ浜遺跡をめぐる謎」 令和元年6月11日(火)～9月23日(月・祝)
- ② 「人と病 ～暮らしの中の薬と治療～」 令和元年10月1日(火)～令和2年1月13日(月・祝)
- ③ 「食の人類学Ⅰ 防長菓子ものがたり Part1」 令和2年1月21日(火)～令和2年4月19日(日)

イ 展示解説

- ① 企画展「土井ヶ浜遺跡をめぐる謎」8月18日(日)

ウ 講座

① 体験講座

自然人類学体験講座「ホネホネウォッチング」令和元年6月23日(日)、7月14日(日)、7月28日(日)、8月11日(日)、8月25日(日)

体験講座「貝輪づくり体験」令和元年5月3日(金・祝)、8月4日(日)

② 学芸員講座

令和元年6月29日(土)、菊川ふれあい会館(アブニール)

高椋 浩史「企画展土井ヶ浜遺跡をめぐる謎」の紹介、吉留 徹「民具資料と地域－「犁」と「田植定規」－」

令和元年7月15日(月・祝)、豊田ホテルの里ミュージアム

藤原 彰久(文化財保護課職員)「豊田町長正寺遺跡について」、沖田 絵麻「長正寺遺跡の紹介－出土した動物の骨について－」

令和元年10月5日(土)、豊田生涯学習センター

小田川 志穂「企画展人と病－暮らしの中の薬と治療－」の紹介、吉留 徹「民具資料と地域－「犁」と「唐箕」－」

エ 博学連携

- ① 市立滝部小学校とのふるさと学習「赤米の田植え・稲刈り」
田植え：令和元年6月11日(火)、稲刈り：令和元年10月27日(日)
- ② 出張体験講座
「ホネホネウォッチング」出前授業 計 5回
- ③ 九州大学アジア埋蔵文化財研究センターとの研究連携
土井ヶ浜遺跡出土の弥生時代人骨について共同研究を実施。
- ④ 国内大学および研究機関との研究連携
慶応義塾大学ほか国内大学研究者等との沖縄県石垣市白保竿根田原洞穴遺跡出土の更新世人骨の調査。熊本大学との鹿児島県南種子町広田遺跡の共同研究。新潟大学災害・復興科学研究所及び文化財保護課と響灘沿岸地域の地質ボーリング調査。

(9) 調査・研究

- ア 中国上海市広富林遺跡、江蘇省蔣庄遺跡出土の新石器時代人骨の国際共同研究。
- イ バハレーン国マカバ古墳群出土人骨の発掘調査。
- ウ 九州大学アジア埋蔵文化財研究センターとの研究連携。
- エ 慶応義塾大学ほかとの沖縄県石垣市白保竿根田原洞穴遺跡出土の更新世人骨の調査。
- オ 熊本大学との鹿児島県南種子町広田遺跡の共同研究。
- カ 新潟大学災害・復興科学研究所及び文化財保護課と響灘沿岸地域の地質ボーリング調査の共同研究。
- キ 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第15号の刊行。

(10) 付属施設 (遺構覆屋＝土井ヶ浜ドーム)

約80体の人骨(レプリカ)を発掘当時の状態で復元し、土井ヶ浜弥生人たちの埋葬の特徴が一目で理

解できるような展示をおこなっている。

6 烏山民俗資料館

下関市烏山民俗資料館は、平成 8 年に地域の歴史・民俗等の地域文化に関する資料及びアジア地域及び日本各地の手仕事文化に関する資料について、収集・調査研究及び展示活動を行う資料館として開館した。

平成 22 年 1 月 17 日より地域住民および観光客の交流を目的として設置された下関市川棚温泉交流センター内に移転し、新たに開館することとなった。移転後は、烏山民俗資料館の幅広い収蔵品の魅力を伝えるために、さまざまなテーマに沿った企画展・所蔵品展を開催している。



(1) 沿革

- 平成 8 年 4 月 旧烏山工芸館の民芸コレクションの寄贈を受ける。
- 平成 8 年 6 月 豊浦町烏山民俗資料館として開館する。
- 平成 17 年 2 月 下関市との合併により下関市烏山民俗資料館となる。
- 平成 20 年 8 月 下関市川棚温泉交流センター内への移転準備のため 8 月 31 日より休館。
- 平成 22 年 1 月 下関市川棚温泉交流センター内に移転。

(2) 位置

(〒759-6301) 下関市豊浦町大字川棚 5180 番地
川棚温泉交流センター内
(TEL) 083-774-3855 (FAX) 083-774-3856



(3) 構造等 (施設全体)

- 敷地面積 4,498 m²
- 構造 鉄骨構造 2 階建
- 延床面積 1,242.85 m²
うち烏山民俗資料館展示室 251.63 m²

(4) 利用案内

- 開館時間 午前 10 時～午後 8 時 (入館は午後 7 時 30 分)
- 休館日 年末年始 (12 月 31 日～1 月 3 日)
※展示替え等のための臨時休館あり
- 観覧料 無料 (ただし、特別展開催時には別に定める)

(5) 観覧者の状況

	開館日数	観覧者数
平成 29 年度	361	41,728
平成 30 年度	361	44,302
令和元年度	334	33,163

(6) 展覧会等

ア 企画展等

- ① 「カラスヤマの端午の節句」(所蔵品展) 会期 平成 31 年 4 月 20 日 (土)～令和元年 6 月 18 日 (火)

- ② 「三恵寺遊山 近代湯治旅」(企画展) 会期 令和元年6月22日(土)～令和元年11月10日(日)
- ③ 「近代的徒歩旅行」(企画展) 令和元年11月16日(土)～令和2年2月18日(火)
- ④ 「電気を使わない暮らし」(企画展) 会期 令和元年7月13日(土)～令和元年10月8日(火)
- ⑤ 「生誕145年記念 湯浅倉平」(企画展) 会期 令和元年10月12日(土)～令和2年1月19日(日)
- ⑥ 「カラスヤマのひなまつり 2020」(所蔵品展) 会期 令和2年1月25日(土)～令和2年3月3日(火)
- ⑦ 「アルフレッド・コルトーと夢の島」(所蔵品展) 会期 令和2年2月22日(土)～令和2年3月3日(火)

イ イベント・共催事業等

- ① 「川棚温泉ひなまつり」会期 令和2年2月28日(金)～3月3日(火)
 会場：川棚の杜 烏山民俗資料館
 主催：川棚温泉まちづくり株式会社 川棚コスモス倶楽部 烏山民俗資料館

7 豊北歴史民俗資料館

(1) 沿革

(県指定文化財旧滝部小学校の歴史)

- 明治8年(1875)8月 滝部八幡宮境内に開誘(かいゆう)小学校を創設する。
- 明治17年(1884)2月 学区改正により、大庭小学校の開誘分校として、現在地に校舎を改築する。
- 明治20年(1888)4月 独立し、開誘尋常小学校となる。
- 明治28年(1895)8月 高等科を併設し、滝部尋常高等小学校となる。
- 大正13年(1924)3月 中山太一・豊三・喜助三兄弟の寄附により、本館・東側校舎が完成。
- 昭和22年(1947)5月 新学制により、滝部小学校と改称する。
- 昭和54年(1979)3月 山口県有形文化財(建造物)に指定される。
- 昭和55年(1980)11月 豊北町歴史民俗資料館として、開館する。
- 平成17年(2005)2月 合併に伴い、下関市立豊北歴史民俗資料館となる。
- 平成19年(2007)5月 改修工事(保存修理工事)のため休館する。
- 平成23年(2011)3月 改修工事(保存修理工事)が完了する。
- 平成23年(2011)4月 西教室棟が、山口県有形文化財(建造物)に追加指定される。
- 平成23年(2011)11月 リニューアル開館する。

(2) 位置

下関市豊北町大字滝部 3153-1

(3) 構造等

構造 木造2階建、寄棟及び切妻造棧瓦葺
 敷地面積 1,970.14 m²
 延床面積 1,268.05 m²



- 1階 812.97 m²
 E V棟(トイレなど) : 49.85 m²、収蔵庫棟 : 73.09 m²、ポンプ室(別棟) : 8.40 m²
 既設建物(和室・倉庫・閲覧室・事務室・展示室・教室など) 681.63 m²
- 2階 455.08 m²
 E V棟(倉庫など) : 44.90 m²

既存建物（講堂など）：410.18㎡

(4) 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分）

休館日 月曜日（祝日又は振替休日の場合は翌平日）年末年始（12月29日～1月3日）

入館料 無料（ただし、特別展開催時には別に定める）

貸室 貸室使用料一覧

室名（収容人員）	使用料	
	AM9:00～PM5:00 1時間あたり	特別使用料
2階 講堂（120）	530円	9,160円
1階 和室（20）	100円	
1階 教室（20）	100円	
1階 展示室	320円	

（備考）※特別使用料とは、全施設同時使用及び、午後5時から午後10時までの使用の場合の金額。

※営利、営業、宣伝等を目的とし、又は入場料その他これに類する料金を徴収する場合は、この表の金額の倍額となる。

※冷暖房を使用した場合は、使用状況に応じて実費を徴収する。

(5) 常設展示

1階・エントランス

- ・豊北ガイドマップ、滝部小学校の沿革、郷土の偉人中山太一氏などを紹介。また、豊北町の歴史民俗文化についての映像案内を実施。

(6) 収蔵品

国登録有形民俗文化財「豊北の漁撈用具」をはじめとする民俗文化関係資料。郷土資料としての古文書、行政文書など歴史文化関係資料（なお、民俗文化関係資料については資料収蔵室（旧豊北第二中学校）にて保管）

(7) 入館者の状況

	開館日数	入館者数
平成29年度	308	2,979
平成30年度	308	2,885
令和元年度	285	3,665

(8) 企画展示・講演・教育・普及活動

ア 企画展

- ① 連続企画展「躍動する民具—土地とともに生きる人々—」
 - 第1回 「犁」と「馬鋤」 平成31年4月26日（金）～令和元年5月26日（日）
 - 第2回 「田植定規」と「苗籠」 令和元年6月7日（金）～7月21日（日）
 - 第3回 「草刈り機」と「鎌」 令和元年9月13日（金）～10月18日（金）
 - 第4回 「箕」と「唐箕」 令和元年11月12日（火）～12月28日（土）
- ② ポスター・チラシ展「平成のあしあと—大翔館の展示ポスター・チラシからみる平成—」
令和元年5月1日（水）～5月31日（金）
- ③ 「夏のすごしかた—くらしとおもちゃ—」 令和元年7月23日（火）～9月23日（月・祝）
- ④ 「豊北・下関の伝説—戦と怨霊信仰—」 令和元年10月22日（火・祝）～12月28日（土）
- ⑤ 収蔵品展「変わるくらしと道具—社会の教科書の道具たち—」

令和2年1月28日(火)～6月23日(火)

イ 講座・共催事業

- ① 「竹のおもちゃをつくろう」 令和元年7月27日(土)・令和元年8月24日(土)
- ② 「新春の遊びをしよう」 令和2年1月4日(土)～1月31日(金)
- ③ 「昔の道具を使ってみよう」 令和2年2月23日(日)
- ④ 「歴史文学講座」(2回/年度)(豊北郷土文化友の会主催:資料館共催事業)
- ⑤ 「菊舎を知る談話会—文書からみる菊舎の素顔—」(5回/年)(菊舎顕彰会主催:資料館共催事業)

ウ イベント

- ① 夜間ライトアップ
 令和元年 7月25日(木)～7月28日(日) 19時～23時
 令和元年 12月22日(日)～12月24日(火) 18時～23時

8 文化財保護

(1) 下関市文化財保護審議会

下関市文化財保護審議会委員名簿 (任期:令和元年6月1日～令和3年5月31日)

担当分野	氏名	現職等
建造物	三浦正幸	広島大学名誉教授
絵画	菊屋吉生	山口大学名誉教授
彫刻	井形進	九州歴史資料館技術主査
古文書・歴史資料	小山良昌	財団法人毛利博物館顧問
考古資料・史跡	渡辺一雄	元梅光学院大学副学長
民俗文化財	清水満幸	元萩博物館館長
記念物(動物)	山岡郁雄	山口大学名誉教授
記念物(植物・名勝)	田邊護	山口植物学会顧問
記念物(地質鉱物)	西村祐二郎	山口大学名誉教授

(2) 施設

ア 旧下関英国領事館

所在地 下関市唐戸町4-11
 構造等 本館 煉瓦造二階建・棧瓦葺
 (建築面積 161.35 m²)
 附属屋 煉瓦造平屋建・棧瓦葺
 (建築面積 80.93 m²)
 敷地面積 597.93 m²

令和元年度入館者数 60,310人



この建物は、領事館として建てられたわが国現存最古の建物で、明治39年8月に上棟した。平成11年5月13日、重要文化財に指定。平成20年度から25年度に実施した構造補強及び建築当初への復原を目的とした保存修理工事竣工後、平成26年7月18日より、指定管理者による公開活用を図っている。年間入館者数は前年度より若干減少したが、附属屋ギャラリーの利用件数は増加した。平成26年7月からの通算入館者数は394,476人となった。また、下記の事業を実施した。

- ・英国王立写真協会日本支部写真展

会期 令和元年9月21日(土)～令和元年9月30日(月)

会期中来館者数 1,534人

イ 豊田文化財資料室

所在地 下関市豊田町大字矢田 153-1

構造等 鉄筋コンクリート造 (床面積 255.60 m²)

豊田地域の貴重な文化財を展示保存するとともに、地域の歴史と民俗に関する調査研究施設として平成7年に豊田図書館内に設置し、市民に無料公開している。

※休館日 下関市立豊田図書館に準ずる。

(3) 調査・保存修理

ア 国指定天然記念物「川棚のクスの森」枯損対策作業に伴う調査指導

国指定天然記念物「川棚のクスの森」について、昨年度に引き続き、文化庁が推薦する樹木医3名および文化庁調査官を招聘して、現地調査および枯損対策についての検討を行い、水圧穿孔作業による枯損対策を講じた。

イ 無形民俗文化財の調査

「綾羅木地神祭」、「住吉神社御田植祭」など未指定の無形民俗文化財について現況把握などを行い、今後の保護措置を講ずるための基礎資料の作成を行った。

(4) 市内の文化財 (令和2年5月1日現在)

ア 国指定文化財

① 国宝 (2件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
功山寺仏殿 1棟 桁行三間、梁間三間、一重裳階附、 入母屋造、檜皮葺	建造物	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 28. 11. 14
住吉神社本殿 1棟 九間社流造、正面五ヶ所千鳥破風附、 檜皮葺、附 玉殿5基・棟札4枚	建造物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 28. 11. 14

② 重要文化財 (17件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
住吉神社拝殿 1棟 桁行三間、梁間一間、一重切妻造、 妻入、檜皮葺	建造物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 29. 9. 17
旧下関英国領事館 2棟 本館・附属屋 附 煉瓦塀1基・幣串1本	建造物	唐戸町〔下関市〕	平成 11. 5. 13
絹本著色十二天曼荼羅図 1幅 (寺伝 安鎮曼荼羅)	絵画	南部町〔国分寺〕	昭和 25. 8. 29
木造不動明王立像 1軀	彫刻	南部町〔国分寺〕	昭和 25. 8. 29
木造薬師如来立像 1軀	彫刻	南部町〔専念寺〕	昭和 25. 8. 29
刀 無銘 (伝則宗) 1口	工芸品	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25. 8. 29
太刀 銘 備州長船盛光 1口	工芸品	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25. 8. 29
銅鐘 1口	工芸品	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 25. 8. 29
金銅牡丹唐草透唐鞍 1具 鞍一背、銀面二面、轡二口、雲珠二箇、 杏葉一箇、鞍二箇、障泥一双、鞆一双、	工芸品	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 31. 6. 28

鞍褥残片一枚、革鞆残片二条			
紙本墨書平家物語（長門本）自一至廿 20冊	書跡	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 25. 8. 29
紙本墨書豊浦宮法楽和歌 1巻 尊氏外三人筆	書跡	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25. 8. 29
住吉社法楽百首和歌短冊 （明応四年十二月） 1帖 附 三条西実隆筆序文並相良正任・杉 武明連署添状 1冊、新撰菟玖波集作 者附 1冊、宗祇署名短冊箱 1合、毛 利秀元奉納蒔絵短冊箱 1合	書跡	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 28. 11. 14
赤間神宮文書 10巻1冊	古文書	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 51. 6. 5
忌宮神社文書 28巻3冊（372通） 附 忌宮神社記録 忌宮神社境内絵図	古文書	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 53. 6. 15
長門国鑄銭遺物 和同開珎銭范残欠 12個・坩堝残欠 3 個・鞆口残欠 4個・和同開珎 1枚	考古資料	長府川端二丁目（歴史博物館） 〔下関市〕	昭和 39. 1. 28
絹本著色仁王経曼荼羅図	絵画	山口市春日町（山口県立山口博 物館寄託）〔神上寺〕	昭和 53. 6. 15
木造阿弥陀如来坐像	彫刻	豊浦町大字厚母郷〔安養寺〕	昭和 4. 4. 6

③ 重要有形民俗文化財（1件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
蓋井島「山ノ神」の森 4か所	有形民俗文化財	大字蓋井島〔藤永家他〕	昭和 35. 10. 11

④ 史跡・名勝・天然記念物（20件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
長門鑄銭所跡	史跡	長府安養寺三丁目〔覚苑寺他〕	昭和 4. 12. 17
高杉晋作墓	史跡	大字吉田〔東行庵〕	昭和 9. 5. 1
中山忠光墓	史跡	綾羅木本町七丁目〔中山神社〕	昭和 16. 8. 1
綾羅木郷遺跡	史跡	大字綾羅木字若宮他〔下関市〕	昭和 44. 3. 11 (昭和 56. 12. 23 追加)
梶栗浜遺跡	史跡	梶栗町四丁目他〔下関市〕	昭和 55. 3. 14
仁馬山古墳	史跡	大字延行字神間他〔下関市〕	平成 3. 5. 15
長州藩下関前田台場跡	史跡	前田一丁目〔下関市〕	平成 22. 8. 5
勝山御殿跡	史跡	大字田倉〔下関市〕	平成 31. 2. 26
満珠樹林	天然記念物	大字豊浦村字干珠〔忌宮神社〕	大正 15. 10. 20
干珠樹林	天然記念物	大字豊浦村字満珠〔忌宮神社〕	大正 15. 10. 20
六連島の雲母玄武岩	天然記念物	大字六連島字辻〔総務省他〕	昭和 9. 1. 22
石柱溪	名勝及 天然記念物	豊田町大字今出〔下関市他〕	大正 15. 10. 20
狗留孫山	名勝	豊田町大字杳路子〔修禪寺〕	昭和 15. 8. 30
木屋川・音信川ゲンジボ タル発生地	天然記念物	音信川、木屋川流域 〔国土交通省、山口県〕	昭和 32. 10. 16
川棚のクスの森	天然記念物	豊浦町大字川棚〔下関市〕	大正 11. 10. 12

大吼谷蝙蝠洞	天然記念物	豊浦町大字小串〔山口県漁業協同組合〕	昭和 3. 3. 24
小串エヒメアヤメ自生南限地帯	天然記念物	豊浦町大字小串〔下関市〕	昭和 5. 11. 19
壁島ウ渡来地	天然記念物	豊北町大字神田（壁島）〔文部科学省〕	昭和 9. 5. 1
恩徳寺の結びイブキ	天然記念物	豊北町大字神田関領 〔山口県漁業協同組合〕	昭和 30. 10. 26
土井ヶ浜遺跡	史跡	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 37. 6. 21

イ 山口県指定文化財（43 件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
山口銀行旧本店 付 棟札	有形文化財 (建造物)	観音崎町〔山口銀行〕	平成 17. 10. 4
観察院五輪塔 付 自然石板碑	有形文化財 (建造物)	富任町八丁目〔観察院〕	平成 23. 11. 24
紙本金地着色安徳天皇絵	有形文化財 (絵画)	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 41. 6. 10
板絵着色繫馬図	有形文化財 (絵画)	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	平成 2. 11. 6
狩野芳崖筆板絵着色絵馬	有形文化財 (絵画)	長府宮の内町〔忌宮神社〕 一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕 一の宮住吉一丁目（住吉神社寄託） 〔菅原神社〕 長府黒門町（美術館寄託）〔東西山瀬〕	平成 6. 5. 2
絹本着色楊柳観音坐像	有形文化財 (彫刻)	長府川端二丁目（歴史博物館寄託） 〔功山寺〕	平成 7. 12. 19
木造地藏菩薩半跏像	有形文化財 (彫刻)	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 41. 6. 10
木造聖観音菩薩立像	有形文化財 (彫刻)	大字有富〔竹生寺〕	昭和 41. 6. 10
手鑑「筆陳」	有形文化財 (書跡)	長府川端二丁目（歴史博物館） 〔下関市〕	平成 23. 2. 8
住吉神社文書	有形文化財 (古文書)	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 52. 11. 11
武久家文書 付 紙本着色武久季依像	有形文化財 (古文書)	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔武久家〕	昭和 55. 12. 5
安尾家文書	有形文化財 (古文書)	長府川端二丁目（歴史博物館） 〔下関市〕	昭和 62. 3. 27
綾羅木郷遺跡出土品	有形文化財 (考古資料)	大字綾羅木字岡（考古博物館） 〔下関市〕	昭和 51. 3. 16
心光寺古墳出土品	有形文化財 (考古資料)	大字綾羅木字岡（考古博物館） 〔下関市〕	昭和 55. 4. 11
大内家壁書 下関市立長府博物館所蔵本	有形文化財 (歴史資料)	長府川端二丁目（歴史博物館） 〔下関市〕	平成 8. 12. 13
法林寺のソテツ	天然記念物	大字吉母〔法林寺〕	昭和 41. 6. 10
長門国一の宮住吉神社社叢	天然記念物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 41. 6. 10
長府正円寺の大イチョウ	天然記念物	長府中之町〔正円寺〕	昭和 44. 2. 4

蓋井島のヒゼンマユミ群落	天然記念物	大字蓋井島〔松本家〕	昭和 57. 11. 5
忌宮神社の数方庭行事	無形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 59. 11. 2
赤間硯	無形文化財 (工芸技術)	保持者 堀尾信夫	平成 14. 3. 26
長府藩主毛利家墓所	史跡	長府川端一丁目〔功山寺〕 長府安養寺三丁目〔覚苑寺〕 長府川端二丁目〔笑山寺〕	平成 26. 12. 2
法輪寺本堂	有形文化財 (建造物)	菊川町大字七見〔七見部落〕	昭和 42. 7. 4
木造虚空蔵菩薩坐像	有形文化財 (彫刻)	菊川町大字七見〔七見部落〕	昭和 41. 6. 10
鰐口 天文元年壬辰十一月二十八日	有形文化財 (工芸品)	長府川端二丁目(歴史博物館寄託) 〔美栄神社〕	平成元. 10. 24
明版一切経 付 八角輪蔵	有形文化財 (典籍)	菊川町大字吉賀〔快友寺〕	平成 5. 1. 12
旧殿居郵便局局舎 付 棟札	有形文化財 (建造物)	豊田町大字殿居〔河田家〕	昭和 52. 3. 29 (平成 5. 1. 12 追加)
絹本極彩色理界曼荼羅 絹本極彩色智界曼荼羅	有形文化財 (絵画)	長府川端二丁目(歴史博物館寄託) 〔神上寺〕	昭和 41. 6. 10
木造薬師如来坐像	有形文化財 (彫刻)	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 55. 12. 5
線刻菩薩形坐像懸仏	有形文化財 (工芸品)	豊田町大字矢田(豊田文化財資料室寄託) 〔八鷹八幡宮〕	昭和 55. 12. 5
神上寺銅矛	有形文化財 (考古資料)	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 53. 3. 31
紙本墨画白衣観音図	有形文化財 (絵画)	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	平成 5. 5. 14
木造千手観音菩薩立像	有形文化財 (彫刻)	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 54. 12. 4
金銅薬師如来坐像懸仏	有形文化財 (工芸品)	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	昭和 54. 12. 4
中ノ浜遺跡	史跡	豊浦町大字川棚〔下関市〕	昭和 50. 3. 22
黒井一ノ瀬一里塚	史跡	豊浦町大字黒井〔山本家〕	平成 15. 4. 4
川棚三恵寺のモッコク	天然記念物	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 44. 4. 25
旧滝部小学校本館	有形文化財 (建造物)	豊北町大字滝部〔下関市〕	昭和 54. 3. 31 (平成 23. 4. 8 追加)
土井ヶ浜遺跡出土品	有形文化財 (考古資料)	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 57. 4. 16
滝部のシダレザクラ	天然記念物	豊北町大字滝部〔中山家〕	昭和 52. 11. 11
滝部八幡宮のイチイガシ	天然記念物	豊北町大字滝部〔滝部八幡宮〕	昭和 52. 11. 11
阿川八幡宮のイヌマキ巨樹群	天然記念物	豊北町大字阿川〔阿川八幡宮〕	昭和 53. 3. 31
浜出祭	無形民俗文化財	豊北町〔浜出祭文化財保存会〕	昭和 51. 11. 24

ウ 下関市指定文化財 (149 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
----	----	-------------	-------

功山寺山門	有形文化財（建造物）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 45. 3. 4
高林寺山門	有形文化財（建造物）	赤池町〔高林寺〕	昭和 49. 3. 25
笑山寺十三重塔	有形文化財（建造物）	長府川端二丁目〔笑山寺〕	昭和 50. 2. 27
長府藩侍屋敷長屋	有形文化財（建造物）	長府侍町一丁目〔下関市〕	昭和 51. 3. 16
菅家長屋門 付練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔菅家〕	昭和 51. 3. 16
吉岡家長屋	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔吉岡家〕	昭和 52. 2. 16
功山寺輪蔵	有形文化財（建造物）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 54. 3. 1
旧野々村家表門	有形文化財（建造物）	長府侍町一丁目〔下関市〕	昭和 54. 12. 7
妙音寺無縫塔	有形文化財（建造物）	大字永田郷〔妙音寺〕	昭和 55. 2. 5
清末内藤家表門 付練堀及び門前石段	有形文化財（建造物）	清末西町一丁目〔内藤家〕	昭和 56. 2. 18
岩元家・岡村家練堀	有形文化財（建造物）	長府惣社町〔岩元家・岡村家〕	昭和 56. 3. 9
河村家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔河村家〕	昭和 56. 3. 9
乃木神社練堀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔乃木神社〕	昭和 56. 3. 9
旧梶山家練堀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔下関市〕	昭和 56. 11. 27
旧今藤家練堀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔乃木神社〕	昭和 56. 11. 27
益本家練堀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔益本家〕	昭和 56. 11. 27
長府藩の場跡練堀	有形文化財（建造物）	長府松原町〔アースコーポレーション(株)〕	昭和 57. 4. 15
大村家練堀	有形文化財（建造物）	長府侍町二丁目〔大村家〕	昭和 57. 4. 15
磯谷家表門及び練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔磯谷家〕	昭和 58. 3. 30
引接寺三門	有形文化財（建造物）	中之町〔引接寺〕	昭和 58. 5. 26
佐藤家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔佐藤家〕	昭和 59. 3. 30
西尾家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔西尾家〕	昭和 59. 3. 30
阿山家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔阿山家〕	昭和 59. 3. 30
沖田家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔沖田家〕	昭和 59. 3. 30
広江家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔広江家〕	昭和 59. 3. 30
覚苑寺本堂	有形文化財（建造物）	長府安養寺三丁目〔覚苑寺〕	昭和 61. 5. 10
王司山田自然石板碑	有形文化財（建造物）	大字山田〔片山家〕	平成 3. 5. 9
六連島灯台	有形文化財（建造物）	大字六連島〔海上保安庁〕	平成 7. 6. 27
旧通信省下関郵便局電話課 庁舎（下関市役所第一別館）	有形文化財（建造物）	田中町（近代先人顕彰館/田中 絹代ぶんか館）〔下関市〕	平成 14. 2. 15
旧金ノ弦岬灯台	有形文化財（建造物）	大字彦島金ノ弦岬 （公有水面上）〔下関市〕	平成 16. 4. 13
旧内務省下関土木出張所 下関機械工場乾船渠	有形文化財（建造物）	阿弥陀寺町〔下関市〕	平成 27. 10. 27
旧秋田商会ビル	有形文化財（建造物）	南部町〔下関市〕	平成 27. 10. 27
絹本著色仏涅槃図	有形文化財（絵画）	長府川端二丁目（歴史博物館寄 託）〔功山寺〕	平成 9. 10. 15
絹本著色虚庵玄寂像	有形文化財（絵画）	長府川端二丁目（歴史博物館寄 託）〔日頼寺〕	令和 2. 2. 25
板絵著色潮音院住持等像	有形文化財（絵画）	長府川端二丁目（歴史博物館寄 託）〔日頼寺〕	令和 2. 2. 25
木造十一面観音座像	有形文化財（彫刻）	大字吉田地方〔蓮台寺〕	昭和 44. 6. 13
西楽寺木造阿弥陀如来坐像	有形文化財（彫刻）	彦島本村町五丁目	昭和 60. 12. 20

		〔西樂寺〕	
竹生寺木造十一面千手観音立像	有形文化財（彫刻）	大字有富〔竹生寺〕	昭和 60. 12. 20
功山寺千手観音菩薩坐像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 61. 11. 10
功山寺韋駄天立像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 61. 11. 10
功山寺二十八部衆立像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目・長府川端二丁目（2 軀：歴史博物館寄託）〔功山寺〕	昭和 61. 11. 10
海蔵寺木造聖観音菩薩立像	有形文化財（彫刻）	垢田町三丁目〔海蔵寺〕	昭和 63. 6. 15
法専寺銅造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	大字吉田地方〔法専寺〕	平成元. 11. 1
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字吉田地方〔蓮台寺〕	昭和 44. 6. 13
太刀 銘 備州住正廣	有形文化財（工芸品）	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 45. 10. 26
萌葱絲威肩白胴丸 付筋兜、大袖、頬当、喉輪、 籠手、脛当	有形文化財（工芸品）	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 46. 7. 24
銅鐘	有形文化財（工芸品）	大字吉母〔若宮神社〕	昭和 46. 11. 16
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字吉母〔若宮神社〕	昭和 46. 11. 16
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字阿内〔専念寺〕	昭和 47. 11. 9
打刀銘 長州住頭国 応永四年二月吉日	有形文化財（工芸品）	長府川端二丁目（歴史博物館）〔下関市〕	昭和 48. 3. 27
金山長福禅寺開山虚菴和尚行録 景泰五年孟春 南浦如幻書	有形文化財（書跡）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔功山寺〕	平成 12. 11. 17
白石家文書	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔白石家〕	昭和 44. 10. 1
亀屋伊藤家文書	有形文化財（古文書）	唐戸町〔伊藤家〕	平成 8. 3. 21
日頼寺文書 附毛利元就遺品	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔日頼寺〕	平成 26. 3. 26
彦島杉田岩刻画	有形文化財（考古資料）	彦島江の浦町五丁目〔三菱重工業〕	平成 3. 5. 9
旧長府毛利家遺品	有形文化財（歴史資料）	長府川端二丁目（歴史博物館）〔毛利家・歴史博物館〕	昭和 52. 2. 16
赤間関朝鮮通信使関係資料 朝鮮通信使壇ノ浦懐古詩 波田嵩山朝鮮通信使唱酬詩 並筆語	有形文化財（歴史資料）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔赤間神宮・波田家〕	平成 27. 4. 21
亀山八幡宮「亀山能」 付能面三面・能面筥一合	無形文化財	中之町〔亀山能楽会〕	昭和 44. 10. 1
蓋井島「山ノ神」神事記録	有形民俗文化財	大字蓋井島〔藤永家他〕	昭和 47. 3. 25
能面・狂言面 付忌宮神社神事能規則書 旧長府藩能舞台敷割図	有形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕 長府川端二丁目（歴史博物館）〔下関市〕	昭和 47. 5. 11
安養寺宝篋印塔	有形民俗文化財	大字吉見上〔安養寺〕	昭和 50. 2. 27
「内日五年神」の森	有形民俗文化財	大字内日上〔上田家〕	昭和 56. 2. 18
能面 付面箱	有形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 58. 12. 10

先帝祭	無形民俗文化財	阿弥陀寺町〔赤間神宮奉賛会〕	昭和 45. 3. 4
蓋井島「山ノ神」神事	無形民俗文化財	大字蓋井島	昭和 45. 10. 26
彦島八幡宮「サイ上り」神事	無形民俗文化財	彦島迫町五丁目〔彦島八幡宮〕	昭和 53. 10. 19
「内日五年神」神事	無形民俗文化財	大字内日上	昭和 56. 2. 18
小野一里塚	史跡	大字小野〔西川家（管理）〕	昭和 48. 3. 27
功山寺旧境内地付 伝大内義長の墓	史跡	長府川端一丁目〔功山寺・下関市〕	昭和 49. 3. 25
功山寺書院	史跡	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 54. 3. 1
宮山古墳	史跡	幡生宮の下町〔生野神社〕	昭和 54. 8. 7
有富古墳	史跡	大字有富〔専徳寺〕	昭和 54. 8. 7
秋根 1 号墳	史跡	秋根西町一丁目〔秋根八幡宮〕	昭和 54. 8. 7
櫻山招魂場	史跡	上新地二丁目〔櫻山神社〕	平成 27. 4. 21
吉母海岸植物群落	天然記念物	大字吉母 〔西光寺・山口県漁業協同組合〕	昭和 44. 10. 1
彦島西山の化石層	天然記念物	大字彦島〔山口県〕	昭和 46. 7. 24
紙本着色八幡大菩薩縁起 付納箱	有形文化財（絵画）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔吉賀八幡宮〕	平成 12. 6. 12
操り人形面一対 付納箱	有形文化財（彫刻）	菊川町大字田部〔小河家〕	平成 15. 3. 14
厳島・浅間神社の梵鐘	有形文化財（工芸品）	菊川町大字響井〔響井自治会〕	平成 11. 3. 18
西光寺文書	有形文化財（古文書）	菊川町大字下保木〔西光寺〕	平成 12. 6. 12
上原遺跡出土品	有形文化財（考古資料）	菊川町大字下岡枝〔下関市〕	平成 13. 4. 25
ガラス製勾玉鎔范	有形文化財（考古資料）	菊川町大字下岡枝（菊川ふれあい会館）〔下関市〕	平成 13. 12. 20
植松古墳群	史跡	菊川町大字吉賀 〔下関市・笹尾家〕	平成 16. 3. 12
河内神社の夫婦杉	天然記念物	菊川町大字道市 〔道市自治会〕	平成 13. 4. 25
快友寺のイヌマキ巨樹群	天然記念物	菊川町大字吉賀〔快友寺〕	平成 13. 4. 25
若宮石造宝塔	有形文化財（建造物）	豊田町大字中村〔下関市〕	昭和 51. 3. 31
吉敷毛利氏の祖 毛利秀包 夫人引地の墓	有形文化財（建造物）	豊田町大字江良〔松田家〕	昭和 51. 3. 31
石造豊田種長供養板碑	有形文化財（建造物）	豊田町大字殿敷 〔一の瀬部落〕	昭和 51. 3. 31
紙本着色涅槃像及八相図	有形文化財（絵画）	豊田町大字日野 〔日野自治会〕	昭和 54. 5. 1
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 52. 10. 5
木造阿弥陀如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字鷹子 〔鷹子自治会〕	昭和 54. 5. 1
木造薬師如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字宇内〔宇内薬師堂〕	昭和 55. 5. 10
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字浮石〔光明寺〕	昭和 55. 5. 10
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字浮石〔舜青寺〕	昭和 56. 5. 11
木造不動明王立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字壱路子〔修禅寺〕	昭和 57. 4. 8
木造聖観音立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字壱路子〔修禅寺〕	昭和 57. 4. 8

木造愛染明王坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 59. 4. 10
木造神像及び本地仏像 8 軀 （木造男神坐像 2 軀、 木造男女神坐像 2 軀、 木造十一面観音坐像 1 軀、 木造阿弥陀如来坐像 1 軀、 木造阿弥陀如来坐像 1 軀、 木造虚空蔵菩薩坐像 1 軀）	有形文化財（彫刻）	豊田町大字殿居〔巖島神社〕	昭和 61. 7. 10
懸仏残欠 2 軀 （銅造阿弥陀如来坐像 1 軀 銅造如意輪観音半跏像 1 軀）	有形文化財（工芸品）	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	昭和 56. 5. 11
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊田町大字字内〔字内薬師堂〕	昭和 60. 4. 22
日幡神社棟札	有形文化財（歴史資料）	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	昭和 60. 4. 22
巖島神社棟札	有形文化財（歴史資料）	豊田町大字殿居〔巖島神社〕	昭和 62. 9. 25
浮石の赤崎神社楽踊	無形民俗文化財	豊田町大字浮石〔亀尾山神社〕	昭和 55. 5. 10
佐野の岩戸神楽舞	無形民俗文化財	豊田町大字佐野〔日幡神社〕	昭和 55. 5. 10
栄長院墓所	史跡	豊田町大字高山〔高山自治会〕	昭和 59. 4. 10
台の変花崗岩	天然記念物	豊田町大字今出〔渡辺家〕	昭和 58. 4. 18
殿敷、トロニエム岩	天然記念物	豊田町大字殿敷〔福本・藤本家〕	昭和 58. 4. 18
狗留孫山修禅寺の一本スギ	天然記念物	豊田町大字柵路子〔修禅寺〕	平成元. 1. 12
館ヶ浴のツバキ	天然記念物	豊田町大字殿敷〔柳瀬家〕	平成 3. 11. 1
日幡神社のナギノキ	天然記念物	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	平成 5. 2. 26
西八幡宮のイチイガシ	天然記念物	豊田町大字矢田〔西八幡宮〕	平成 5. 3. 2
華山のアセビ群生林	天然記念物	豊田町大字庭田〔下関市〕	平成 13. 12. 26
吉永八幡宮本殿	有形文化財（建造物）	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	平成 13. 3. 30
木造大日如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊浦町大字室津上〔観音院〕	昭和 54. 12. 1
木造隨身倚像	有形文化財（彫刻）	豊浦町大字黒井〔杜屋神社〕	昭和 62. 3. 26
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 54. 12. 1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字室津上〔観音院〕	昭和 54. 12. 1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	昭和 54. 12. 1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字川棚〔妙青寺〕	昭和 54. 12. 1
杜屋神社文書	有形文化財（古文書）	豊浦町大字黒井〔杜屋神社〕	昭和 54. 12. 1
永富家文書	有形文化財（古文書）	豊浦町大字川棚〔永富家〕	平成 4. 2. 17
古谷道庵日乗	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目（歴史博物館） 〔下関市〕	平成 4. 2. 17
青井古墳群及び大迫古墳群 出土遺物	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚〔下関市〕	昭和 62. 3. 26
磯上遺跡出土の水晶石器	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚〔下関市〕	平成 4. 2. 17
鑄鉄製鋤先	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚〔下関市〕	平成 4. 2. 17
大門古墳	史跡	豊浦町大字黒井 〔窪田・三井田家〕	昭和 51. 7. 9
涌田青井の台場	史跡	豊浦町大字涌田後地〔(株) ダイナムビジネスサポート〕	昭和 51. 7. 9
泊ヶ鼻の台場	史跡	豊浦町大字室津下	昭和 51. 10. 1

		〔山口県漁業協同組合〕	
泊ヶ鼻祭祀場跡	史跡	豊浦町大字室津下 〔山口県漁業協同組合〕	昭和 51. 10. 1
青井古墳群	史跡	豊浦町大字涌田後地〔(株) ダイナムビジネスサポート〕	昭和 62. 3. 26
妙青寺庭園	名勝	豊浦町大字川棚〔妙青寺〕	平成 13. 3. 30
川棚神社のチシャノキ	天然記念物	豊浦町大字川棚〔川棚神社〕	昭和 62. 3. 26
角島灯台 付 水銀槽式回転装置巻上機	有形文化財（建造物）	豊北町大字角島〔海上保安庁〕	平成 17. 1. 18
梵鐘	有形文化財（工芸品）	豊北町大字神田〔住吉神社〕	昭和 55. 2. 20
梵鐘	有形文化財（工芸品）	豊北町大字阿川上市〔海翁寺〕	昭和 56. 4. 22
江田家文書	有形文化財（古文書）	豊北町大字阿川〔阿川八幡宮〕	昭和 55. 2. 20
徳蓮寺文書	有形文化財（古文書）	豊北町大字神田上〔下関市〕	平成 17. 1. 26
滝部八幡宮の腰輪踊	無形民俗文化財	豊北町大字滝部	昭和 53. 6. 16
附野薬師の流灌頂	無形民俗文化財	豊北町大字神田〔東山寺〕	昭和 55. 2. 20
阿川河内のカンコ踊り	無形民俗文化財	豊北町大字阿川河内	昭和 56. 4. 22
神田大川のみかがみ祭り	無形民俗文化財	豊北町大字神田〔大川自治会〕	昭和 57. 4. 21
和久古墳	史跡	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 56. 4. 22
肥中台場跡	史跡	豊北町大字神田〔保井家〕	昭和 60. 2. 18
七神社の社叢	天然記念物	豊北町大字神田〔七神社〕	昭和 53. 12. 1
客神社の社叢	天然記念物	豊北町大字神田〔大川自治会〕	昭和 53. 12. 1
角島のハマオモト	天然記念物	豊北町大字角島夢崎〔下関市〕	昭和 53. 12. 1
寺畑のコジイ	天然記念物	豊北町大字北宇賀寺畑〔西島家〕	昭和 56. 4. 22
観涛園の俵石	天然記念物	豊北町大字神田〔来見田家〕	昭和 60. 2. 18
平畑のスタジイ	天然記念物	豊北町大字阿川平畑〔井原家〕	昭和 61. 4. 24

エ 登録有形文化財（建造物）・登録有形民俗文化財（建造物 35 件、民俗 1 件）

名称	種別	所在の場所等	指定年月日
下関市水道局内日第一貯水池取水塔	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局内日貯水池事務所	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場着水井	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場 4 号円形濾過池	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場 4 号円形濾過池付設調節井	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場配水池	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局内日第二貯水池取水塔	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局内日第二貯水池 溢水隧道入口	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局水道資料室 (旧日和山浄水場事務所)	建造物(生活関連)	長崎中央町	平成 10. 1. 16
下関市立長府博物館本館(旧長門尊攘堂)	建造物(文化福祉)	長府川端一丁目	平成 11. 6. 7
下関南部町郵便局庁舎(旧赤間関郵便電信局)	建造物(官公庁舎)	南部町	平成 13. 8. 28
護國寺本堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 15. 3. 18
護國寺清正公堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25. 12. 24
護國寺納骨堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25. 12. 24

護國寺門柱	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25. 12. 24
日本基督教団下関丸山教会 (旧日本メソヂスト下関教会) 会堂	建造物(宗教)	丸山町四丁目	平成 16. 2. 17
功山寺総門	建造物(宗教)	長府川端一丁目	平成 16. 7. 23
歌野清流庵	建造物(住宅)	菊川町上岡枝 郷ヶ原	平成 17. 7. 12
藤原義江記念館 (旧リンガー邸)	建造物(住宅)	阿弥陀寺町	平成 18. 11. 9
中野家住宅主屋	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅納屋	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅土蔵	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅塀	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅石垣	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
めぐみ幼稚園第一園舎 (旧下関バプテスト教会)	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 19. 5. 15
めぐみ幼稚園第二園舎 (旧宣教師住宅)	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 19. 5. 15
大乘寺山門	建造物(宗教)	長府金屋町	平成 20. 4. 18
大乘寺鐘楼	建造物(宗教)	長府金屋町	平成 20. 4. 18
日清講和記念館	建造物(文化福祉)	阿弥陀寺町	平成 23. 1. 26
蜂谷ビル (旧東洋捕鯨株式会社下関支店)	建造物(産業 3 次)	岬之町	平成 25. 3. 29
玉椿旅館	建造物(産業 3 次)	豊浦町大字川棚	平成 25. 3. 29
旧宮崎商館	建造物(産業 3 次)	田中町	平成 25. 12. 24
住吉神社楼門	建造物(宗教)	一の宮住吉一丁目	平成 29. 10. 27
住吉神社唐門及び透塀	建造物(宗教)	一の宮住吉一丁目	平成 29. 10. 27
赤間神宮水天門及び回廊	建造物(宗教)	阿弥陀寺町	平成 30. 11. 2
豊北の漁撈用具	有形民俗文化財 (生産・生業)	豊北町大字神田上	平成 24. 3. 8

オ 重要美術品 (3 件)

名称	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
紙本墨書後陽成天皇宸翰御懷紙	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 10. 12. 23
紙本墨書靈元天皇宸翰御懷紙	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 10. 12. 23
手鑑「筆陳」	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 18. 10. 1

カ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として選択されたもの (1 件)

名称	所在の場所等	指定年月日
蓋井島「山ノ神」神事	大字蓋井島	昭和 34. 3. 28

キ 下関市に所在する指定文化財等一覧（管内別）

文化財	有形文化財													無形文化財			民俗文化財			記念物					計				
	重要文化財													重要無形文化財			重要民俗文化財			記念物									
	国宝				重要文化財									県/市無形文化財			県/市民俗文化財			記念物									
	種別	建造物	絵画	工芸品	書跡	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料	計	芸能	工芸	計	有形	無形	計	特別天然記念物	史跡	名勝		天然記念物	名勝及天然記念物	計	
国	下関	2				2	1	2	4	3		2	1		17			0	1		1			8		3		11	29
	豊浦							1						1			0			0					3		3	4	
	豊田					1								1			0			0				1	1	1	3	4	
	豊北													0			0			0			1		2		3	3	
	菊川													0			0			0							0	0	
	計	2	0	0	0	2	2	3	4	3	0	2	1	0	19	0	0	0	1	0	1	0	9	1	9	1	20	40	
県	下関	-	-	-	-	2	3	3		1		3	2	1	15		1	1		1	1	-	1		4		5	22	
	豊浦	-	-	-	-		1	1	1					3			0			0	-	2			1		3	6	
	豊田	-	-	-	-	1	1	1	1				1	5			0			0	-						0	5	
	豊北	-	-	-	-	1							1	2			0		1	1	-				3		3	6	
	菊川	-	-	-	-	1		1	1		1			4			0			0	-						0	4	
	計	-	-	-	-	5	5	6	3	1	1	3	4	1	29	0	1	1	0	2	2	-	3	0	8	0	11	43	
市	下関	-	-	-	-	32	3	8	7	1		3	1	2	57	1		1	5	4	9	-	7		2		9	76	
	豊浦	-	-	-	-	1		2	4			3	3	13			0			0	-	5	1	1			7	20	
	豊田	-	-	-	-	3	1	9	2					2	17			0		2	2	-	1		7		8	27	
	豊北	-	-	-	-	1			2			2		5			0		4	4	-	2		6		8	17		
	菊川	-	-	-	-		1	1	1			1	2	6			0			0	-	1		2		3	9		
	計	-	-	-	-	37	5	20	16	1	0	9	6	4	98	1	0	1	5	10	15	-	16	1	18	0	35	149	
合計	2	0	0	0	44	12	29	23	5	1	14	11	5	146	1	1	2	6	12	18	0	28	2	35	1	66	232		

9 埋蔵文化財調査

(1) 令和元年度実施の埋蔵文化財調査実績

事業区分	本庁管内		菊川総合支所管内		豊田総合支所管内		豊浦総合支所管内		豊北総合支所管内		総合計		
	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	総件数
分布調査	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
試掘調査	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
確認調査	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
本発掘調査	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
工事立会	34	5	0	0	1	0	1	1	0	0	36	6	42
立会調査	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
資料整理	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
報告書作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
総件数	45	8	0	0	1	0	1	1	0	0	47	9	56

凡例（調査の区分）

分布調査：遺跡の分布を予察するための地表面観察を含む踏査。**試掘調査**：遺跡の有無を確認するための部分的な試し掘り。

確認調査：遺跡の詳細を確認するための部分的な試し掘り。**本発掘調査**：記録・保存を目的とした発掘調査。

工事立会：土木工事中の立会による遺跡の保存を目的とした記録作業。

立会調査：土木工事の施工に合わせて実施する遺跡の有無を確認するための記録作業。

資料整理：出土遺物の洗浄、復元等の室内整理作業。

報告書作成：本発掘調査に伴う成果とりまとめ作業。

その他：上記以外の調査、作業。（自然科学調査、地質調査、構造物調査等）

(2) 周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）件数

令和2年5月1日現在

地域区分	合計	本庁管内	菊川総合支所管内	豊田総合支所管内	豊浦総合支所管内	豊北総合支所管内
周知の埋蔵文化財包蔵地件数	647	331	45	33	123	115

令和元年度は新たに本庁管内で「有富中尾遺跡」「侍町遺跡」「展視山城跡」、菊川総合支所管内で「金蔵山城跡」「上保木城跡」が新発見の遺跡として登録された。

(3) 令和元年度実施の愛護・普及活動

活動名	日時	参加者	内 容
発掘速報展 「掘ったほ！下関 2019」	令和元年12月07日 令和2年2月23日	3,535人	平成30年度に実施した下関市内遺跡の発掘調査成果などについて、下関市立考古博物館特別企画展示室にて出土した遺物を展示し、併せてパネルなどで遺跡の説明を行なった。また、展示解説会を12月14日、1月25日、2月15日の計3日間、各日2回実施した。また記念物100年参加事業として文化庁が企画する『記念物100年』パネル展示も同時開催した。

(4) 令和元年度実施の主な埋蔵文化財発掘調査成果概要

遺跡名	調査対象地	調査期間 (現地調査期間)	調査原因	調査の概要
金子遺跡 確認調査	下関市 大字勝谷字金子	令和元年5月13日～ 令和元年5月31日	宅地造成	宅地造成工事に伴い、確認調査を実施した結果、中世墓1基や柱穴等の遺構分布を確認した。調査前に把握されていた金子遺跡の分布範囲より北東側に位置する台地上においても、新たに中世から近世にかけての遺構分布を確認したため、調査成果をもとに金子遺跡の分布範囲が拡大された。
長門国分寺跡 確認調査	下関市 長府紺屋町	令和元年5月12日～ 令和元年7月2日	既存建物 解体	既存建物解体工事に伴い、確認調査を実施した。対象地は長門国分寺跡の寺域北限域に位置する。確認調査の結果、対象地内に亀の甲台地と国分寺川(逢坂川)の旧河道の地形変換点があり、旧河道は中世以降に埋没し、平坦面が形成された状況が確認された。
下有富遺跡近接地 試掘調査	下関市 大字有富字中尾	令和元年6月3日～ 令和元年7月29日	宅地造成	下有富遺跡および塚の原遺跡の近接地において宅地造成工事が計画されたため、試掘調査を実施した。試掘調査の結果、弥生時代末から古墳時代および中世の遺構分布を確認したため、新たに有富中尾遺跡として、山口県の遺跡台帳に登録された。
田畑遺跡近接地 試掘調査	下関市 清末西町二丁目	令和元年7月23日～ 令和元年7月30日	宅地造成	末光遺跡および田畑遺跡の近接地において集合住宅新築工事が計画されたため、試掘調査を実施した。調査の結果、現在の耕作地造成に伴う大規模な削平により、中世以前の遺構・遺物は削失した状況が確認された。
綾羅木郷台地遺跡 工事立会	下関市 大字綾羅木	令和元年8月7日～ 令和元年9月17日	個人住宅 新築	個人住宅新築工事に伴い、工事立会を実施した。表土直下で弥生時代の貯蔵用堅穴18基のほか、溝状遺構などを確認した。溝状遺構の一部は過去の調査で確認した環濠やその他の溝状遺構に連続するものと見られる。
有富中尾遺跡 本発掘調査	下関市 大字有富字中尾	令和元年11月19日～ 令和2年3月19日	宅地造成	宅地造成工事に伴い、本発掘調査を実施した。調査の結果、弥生時代中期後葉～古墳時代前期前葉の堅穴住居跡14棟と中世後期の土坑墓48基などの分布を確認した。堅穴住居跡は平面形態(隅丸方形・方形)や支柱穴の本数、ベッド状遺構・屋内土坑などの有無により、大きく3種類に分類できる。また土坑墓は形態や分布状況、出土遺物に規則性があり、同一集団による墓群と考えられる。令和2年度に発掘調査報告書を刊行予定。
有富中尾遺跡 本発掘調査	下関市 大字有富字中尾	令和元年11月19日～ 令和2年3月19日	農地造成	個人の農地造成工事に伴い、本発掘調査を実施した。調査の結果、弥生時代後期から古墳時代前期頃の堅穴住居跡1棟をはじめ、土坑やピット状遺構などを確認した。また、調査区の中央部から北半部にかけては近代以降の造成に伴い、遺構が大きく削失した状況を確認した。令和2年度に発掘調査報告書を刊行予定。
松原遺跡近接地 立会調査	下関市 長府侍町二丁目	令和元年9月2日～ 令和元年10月17日	既存建物 解体	松原遺跡の近接地においてマンション新築工事が計画されたため、先行する既存建物解体工事に伴い、立会調査を実施し、地下の堆積状況および埋蔵文化財の分布状況を確認した。調査の結果、砂礫の堆積層上面に柱穴・土坑の遺構分布が見られ、中世以降の土地利用と近世の長府藩城下町に伴う段階的な造成と遺構面が形成された状況を確認したため、新たに侍町遺跡として山口県の遺跡台帳に登録された。

(5) 史跡管理・保存活用

活動名	日時	内 容
令和元年度 長門鑄銭所跡出土遺物保存活用	令和元年5月1日～ 令和2年3月23日	平成22年度に「長門鑄銭所跡」において出土した鑄銭関連遺物について、適切な保存と価値付けを目的として、平成27年度から平成30年度にかけて木簡・削り屑を対象に計195点について専門機関への委託により、保存処理等を実施した。令和元年度は報告書作成に向けての整理作業に着手し、鑄銭関係遺物の実測やトレースを行い、あわせて過去の長門鑄銭所跡の調査成果について再整理作業を行い、出土遺物の実測や遺構実測図のトレースなど、報告書作成に向けて長門鑄銭所跡の調査成果の総括整理作業を行った。また写真測量（SfM-MVS）を用いた三次元計測の手法検討や、鉍滓等の理化学分析についての分析手法検討など、報告書作成に向けての準備・検討作業を進めた。

金子遺跡確認調査



長門国分寺跡確認調査



下有富遺跡近接地試掘調査



田畑遺跡近接地試掘調査



綾羅木郷台地遺跡工事立会



有富中尾遺跡本発掘調査



有富中尾遺跡本発掘調査



有富中尾遺跡本発掘調査



IV その他資料

1 教育委員会

(1) 機構及び事務分掌

(令和2年4月1日現在)



(2) 職員配置

(単位：人)

		令和 元年度	令和 2年度	内 訳					
				事 務	技 術	校 務 技 士	調 理 員	指 導 主 事	教 員
事務部局の職員		311	302	101	12	27	70	20	72
事務局		103	100	67	11	2	0	20	0
内 訳	教育部（教育長を含む）	4	5	4	1				
	教育政策課	8	8	7	1				
	学校教育課	15	16	5				11	
	教育研修課	10	9	2				7	
	学校支援課	12	13	5	6	2			
	学校保健給食課	11	10	8	2				
	生涯学習課	11	11	9	1			1	
	文化財保護課	10	10	10					
	体育課								
	菊川教育支所	6	5	4				1	
	豊田教育支所	5	4	4					
	豊浦教育支所	6	5	5					
	豊北教育支所	5	4	4					
学 校		179	172	5	0	25	70	0	72
内 訳	幼稚園	34	28						28
	小学校	69	67			11	56		
	中学校	28	27			13	14		
	高等学校	48	50	5		1			44
学校以外の教育機関		29	30	29	1	0	0	0	0
内 訳	公民館	0	0						
	南部調理場	0	1	1					
	中部調理場	1	1	1					
	豊田調理場	0	0						
	豊浦調理場	1	1		1				
	黒井調理場	0	0						
	滝部調理場	1	1	1					
	歴史博物館	7	8	8					
	考古博物館	2	2	2					
	中央図書館	5	5	5					
	長府図書館	0	0						
	彦島図書館	0	0						
	豊田図書館	0	0						
	豊田ホテルの里ミュージアム	1	1	1					
美術館	6	5	5						
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム	5	5	5						

各年度4月1日現在。再任用短時間職員を除く。

中央図書館の令和元年度の職員数は、図書館政策課の職員数。

(3) 教育費予算

(単位：千円、%)

款	項	目	令和2年度			令和元年度	
			当初予算額	構成比	対前年比	当初予算額	構成比
教育費			8,221,056	100.0	105.6	7,786,339	100.0
		教育総務費	1,085,872	13.2	101.6	1,068,827	13.7
		教育委員会費	21,325	0.3	101.1	21,087	0.3
		事務局費	1,064,547	12.9	101.6	1,047,740	13.5
		小学校費	1,664,444	20.2	133.1	1,250,336	16.1
		学校管理費	1,130,624	13.8	114.2	990,453	12.7
		教育振興費	533,820	6.5	205.4	259,883	3.3
		中学校費	775,987	9.4	119.6	648,999	8.3
		学校管理費	489,308	6.0	111.8	437,542	5.6
		教育振興費	264,679	3.2	125.2	211,457	2.7
		学校建設費	22,000	0.3	皆増	-	-
		高等学校費	556,154	6.8	98.4	565,465	7.3
		高等学校総務費	467,303	5.7	94.6	493,963	6.3
		高等学校管理費	61,013	0.7	113.6	53,718	0.7
		教育振興費	27,838	0.3	156.5	17,784	0.2
		幼稚園費	0	0.0	0.0	81,728	1.0
		幼稚園費	0	0.0	0.0	81,728	1.0
		社会教育費	1,899,613	23.1	101.0	1,881,116	24.2
		社会教育総務費	698,123	8.5	100.4	695,656	8.9
		青少年対策費	46,450	0.6	99.4	46,746	0.6
		文化財保護費	98,721	1.2	106.2	92,994	1.2
		公民館費	150,233	1.8	100.7	149,175	1.9
		図書館費	299,681	3.6	105.3	284,601	3.7
		博物館費	274,005	3.3	100.2	273,491	3.5
		美術館費	111,920	1.4	94.6	118,360	1.5
		生涯学習施設費	220,480	2.7	100.2	220,093	2.8
		保健体育費	1,994,333	24.3	94.8	2,104,622	27.0
		保健体育総務費	861,718	10.5	99.9	862,809	11.1
		体育振興費	113,918	1.4	101.5	112,209	1.4
		体育施設費	340,383	4.1	71.7	474,656	6.1
		学校給食共同調理場費	678,314	8.3	103.6	654,948	8.4
		大学費	244,653	3.0	132.1	185,246	2.4
一般会計			114,780,000	100.0	100.2	114,510,000	100.0
教育費			8,221,056	7.2	105.6	7,786,339	6.8

(注) 四捨五入の関係で、構成比が合計の数字と一致しない場合がある。

2 教育年譜

明治	22年	1889年	4月	市制施行、赤間関市誕生
	32	1899	1	赤間関幼稚園（現市立第一幼）開園
	35	1902	6	下関市と改称、赤間関商業学校を市立下関商業学校と改称
	38	1905	5	市立下関高等女学校開校（現下関南高、昭和3年県移管）
	39	1906	8	英国領事館（現旧下関英国領事館）上棟
	42	1909	4	名池小学校開校、市立第二幼稚園開園
			8	豊浦（長府）図書館開館
			10	市立第三幼稚園開園
	43	1910	4	市立下関実業補修学校開校（現下関中央工高）
大正	2	1913	-	梶栗浜遺跡から多紐細文鏡と細形銅剣を発掘
	3	1914	6	梅光女学院開校
	4	1915	4	桜山小学校開校
	9	1920	4	市立下関中学校開校（現下関西高）
	11	1922	3	市立第四幼稚園開園
	15	1926	7	下関商業学校、現在地へ移転
昭和	3	1928	9	向山小学校開校
	8	1933	10	桂 弥一、長門尊攘堂創建（現長府博物館）
	10	1935	4	安岡町役場（現安岡考古資料室）新築
	12	1937	6	日清講和談判記念館（現日清講和記念館）開設
	15	1940	7	市立下関図書館開館
	20	1945	6	空襲罹災、桜山・菁莪・生野・蓋井国民学校、第一・第四幼稚園、下関女子商業学校、梅光女学院、阿部高等技芸女学院、下関盲啞学校
			8	太平洋戦争終結、名池国民学校全焼
	21	1946	5	農林省水産講習所下関分所開設（現水産大学校）
	22	1947	4	新学制、新制中学校発足、第一中学校（現日新中）、第二中学校（現文洋中）、彦島中学校、長府中学校、東部中学校、安岡中学校、吉見中学校、王喜中学校、吉田中学校、内日中学校、北部中学校
	23	1948	4	第三中学校（現名陵中）開校、小月幼稚園開園
				新制高等学校発足、下関高等学校（現下関西高）、下関女子高等学校（現下関南高）、豊浦高等学校、長府女子高等学校（現長府高）、下関工業高等学校、下関実業高等学校（現下関中央工高）、下関商業高等学校、梅光女学院高等学校、早鞆高等学校、河野学園高等学校（現下関女子短期大学附属高等学校）
			7	第1回下関美術展開催
	24	1949	4	北部中学校分離、川中中学校と勝山中学校となる
			6	新制大学発足、山口大学農学部開設
			10	下関球場完成
	25	1950	4	西山小学校開校
			11	市民館（現文化会館）、公民館（現中央公民館）完成
	26	1951	12	岡枝公民館内に山口県立山口図書館豊浦分館（現菊川図書館）開館
	27	1952	6	下関図書館彦島分館開館
			11	市教育委員会発足、委員長 浅尾逸司
	28	1953	11	国宝指定（功山寺仏殿・住吉神社本殿）
	30	1955	4	神田小学校・玄洋中学校開校
	31	1956	2	市史編修委員会発足
			4	下関商業短期大学開学、角倉小学校開校
	32	1957	4	山口県立山口図書館豊浦分館閉館、菊川町に移管され菊川町立菊川図書館開館

昭和	33年	1958年	7月	下関陸上競技場完成
			8	第11回全国高等学校陸上競技対抗選手権（インターハイ）開催
	33	1958	12	吉見公民館開館
	34	1959	4	向洋中学校開校
			10	日独交歓陸上競技大会開催 自動車文庫「みちづれ」運行開始
	35	1960	4	市宮庭球場設置
			10	小月公民館開館
	36	1961	5	下関商業高等学校と鹿児島商業高等学校が姉妹校となる
			6	市民学級講座開講
	37	1962	4	下関市立大学開学、市立下関第一高等学校（現県立下関中等教育学校）開校
	38	1963	4	第35回選抜高校野球大会で下関商業高等学校優勝
			8	第45回全国高校野球選手権大会で下関商業高等学校準優勝
			9	下関市体育館開設
			10	第18回山口国体秋季大会開催
			12	長府公民館開館
	39	1964	6	下関電子工業高等学校開校（現下関国際高校）
	40	1965	4	江浦幼稚園開園
			7	弥生遺跡綾羅木郷台地の発掘調査開始、川中公民館開館（現川中公民館分館）
			10	安岡公民館開館
	41	1966	4	山の田小学校、木屋川中学校（王喜・吉田両中の統廃合）開校
			8	第1回日韓親善関釜両市高校生交歓事業発足
	42	1967	9	長府図書館全面改築
	43	1968	8	全日本高校ハンドボール選手権大会で下関中央工業高校優勝 （以後44年、51年、52年優勝）
	44	1969	3	綾羅木郷遺跡緊急史跡指定
			4	山の田中学校、川中西小学校開校、生野・清末幼稚園開園
				下関市文化会館開館
			6	市指定文化財第1号の指定（蓮台寺木造十一面観音坐像）
			10	下関図書館移転改築完成
			12	自動車文庫「みちづれ」に代わり、個人貸出可能な移動図書館「ともしび号」運行開始
	45	1970	5	下関考古館開館、王司公民館開館
	46	1971	4	向山幼稚園開園、彦島公民館開館
			8	第1回関釜親善陸上競技大会開催
			11	下関市と豊浦郡4町による下関地区広域行政事務組合が発足し移動図書館「くさぶえ号」の運行開始
	47	1972	4	南部学校給食共同調理場完成、清末・内日公民館開館
			6	下関市武道館設置
	48	1973	3	市立青年の家完成
			4	川中西幼稚園開園、王喜・勝山公民館開館
				菊川町立菊川図書館が現在地に移転
	49	1974	1	彦島中学校火災
			3	全国子ども音楽コンクールで玄洋中学校全国1位（以後53年1位）
			4	桜山・第五幼稚園開園
			7	長府運動場完成、北部公民館開館
			10	桜山小学校六連分校廃校、彦島武道館開館

昭和	50年	1975年	12月	毎日音楽コンクールで安岡小学校全国1位
	51	1976	3	小月武道館完成
			7	市民プール完成
			10	下関市・韓国釜山直轄市姉妹都市盟約締結
			11	吉田公民館開館
52	1977	1	全国合奏コンクールで下関西高校全国1位	
		3	吉見武道館設置	
52	1977	4	彦島運動場設置	
		5	下関市民会館完成	
		7	吉見公民館移転改築	
53	1978	3	長府武道館設置	
		4	川中幼稚園開園、吉母公民館開館	
54	1979	4	教育委員会が庁舎第一別館（旧逓信省下関電信局電話課庁舎）に移転 長府小学校開校、西部公民館開館	
		8	第9回全国中学校バスケットボール選抜大会で彦島中学校優勝	
		10	下関市・中国山東省青島市友好都市締結	
55	1980	4	玄洋・吉見中学校移転改築、長府博物館市移管（財団法人より）	
		10	下関・青島市不定期航路就航（日中友好の船「ユートピア号」）	
		12	川中武道館開館	
57	1982	4	向井・垢田小学校開校、西山・垢田幼稚園開園、下関市弓道場開設	
		9	蓋井小学校水泳プール完成（市内全小学校に設置完了）	
58	1983	4	下関市長府体育館開館	
		6	玄洋公民館開館	
		11	下関市立美術館開館	
59	1984	4	下関商業高等学校校舎全面改築完了	
		6	長州砲が120年ぶりにフランスから里帰り（博物館展示）	
		10	下関商業高等学校創立100周年記念	
		11	川中西小学校と中国山東省青島市上清路小学校が友好校締結 日新中学校と中国山東省青島市第17中学校が友好校締結 下関商業高等学校と中国山東省青島市第一職業高級中学校が友好校締結	
60	1985	4	垢田中学校開校	
		5	北運動公園に下関第二球場開設	
		10	中国青島市教育考察団来関	
		11	下関市青少年健全育成市民会議発足	
61	1986	4	一の宮小学校開校	
		8	全国高校総体開催（バトミントン・ウエイトリフティング・弓道）	
		10	下関商業高等学校と韓国釜山直轄市釜山商業高等学校（現 開成高等学校）が姉妹校調印	
62	1987	8	下関相撲場開設	
63	1988	3	豊浦幼稚園舎全面改築完了	
		7	北運動公園に新下関球場開設	
		11	内日中学校水泳プール完成（市内全中学校に設置完了）	
平成	元	1989	3	下関地区広域行政事務組合廃止
			4	下関市制施行100周年記念、彦島体育館開館、森の家下関オープン、移動図書館が下関図書館に編入し「ともしび号」のみで運行開始
			8	下関市彦島庭球場開設
			12	“あるかぼ〜と下関”起工
	2	1990	1	下関市立大学と韓国釜山直轄市東義大学が姉妹校調印

平成	2年	1990年	4月	熊野小学校開校 長成中学校開校 下関市立大学学術センター完成 中部学校給食共同調理場完成 川棚公民館内の図書室が独立し、豊浦町立図書館開館
			7	彦島図書館開館
	3		3	教育委員会が庁舎第一別館から教育委員会棟（旧水道局庁舎）に移転
			4	下関アーチェリー場開設 下関市垢田体育館開設
			5	仁馬山古墳が国指定史跡となる
			7	第1回下関市中学校海外派遣研修（韓国）
			9	台風17、19号により学校諸施設に多数の被災を受ける
			10	下関図書館コンピュータ化に着手
	4	1992	3	史跡綾羅木郷遺跡の西地区を古墳の森として整備 向洋町スポーツセンターテニスコート全天候型に改修完了
			6	川中公民館移転改築
			9	学校週5日制スタート
	5	1993	4	不登校対策事業「サークル・一里山」を市立青年の家に開設
			8	第41回日本海洋少年団全国大会開催 （常陸宮殿下、同妃殿下来関）
			10	吉見体育館開設
	6	1994	3	下関商業高等学校図書館改築
			4	下関市立下関・長府・彦島各図書館コンピューター処理開始 北運動公園庭球場設置
	7	1995	1	生涯学習推進本部設置
			5	下関市立考古博物館開館 （三笠宮殿下・同妃殿下来関）
			7	豊田町立図書館開館
	8	1996	10	一の宮児童クラブ（別棟教室）開設
	9	1997	4	下関市体育館リニューアルオープン
			5	長府東公民館開館
			8	「下関市生涯学習まちづくり推進基本構想」策定
			10	熊野児童クラブ（別棟教室）開設
	10	1998	4	下関市民会館リニューアルオープン 財団法人下関市文化振興財団発足 適応指導教室「さくらやま」を休園中の市立桜山幼稚園舎内に開設し、不登校対策事業「サークル・一里山」を移転
			10	下関陸上競技場リニューアルオープン
	11	1999	5	旧下関英国領事館が重要文化財に指定
	12	2000	3	勝山児童クラブ（別棟教室）改築
			5	小月公民館リニューアルオープン
			10	旧豊浦町商工会事務所に豊浦図書館移転
			12	「下関市生涯学習まちづくり推進プラン」策定
	13	2001	4	児童・ふれあいクラブが保健福祉部こども課に移管 火の山ユースホステルが産業経済部観光施設課に移管 下関市立しものせき水族館「海響館」オープン 「唐戸市場」リニューアルオープン

平成	13年	2001年	10月	移動図書館車「ともしび号」にかわり、新車「ブックル」で運行開始
	14	2002	4	社会教育課同和教育係の事務を人権啓発課に移管 青少年課の係を廃止 第54回国際捕鯨委員会（IWC）年次会合開催
	15	2003	4	北九州市との図書館広域利用開始
			10	第18回世界宇宙飛行士会議・コミュニティデーin 下関開催
			11	下関市フットサル場完成
	16	2004	6	文化課の係を廃止し、文化課を文化財保護課に改める
	17	2005	2	下関市と豊浦郡4町が合併し、新しい下関市が誕生する 菊川、豊田、豊浦、豊北の各教育支所を設置する
			4	豊浦中学校と宇賀中学校を統合し、夢が丘中学校を開校
			10	図書館のコンピュータシステム統合
	18	2006	4	小野ふれあいセンター開館 豊北第一中学校・豊北第二中学校・豊北第三中学校・角島中学校を統合し、豊北中学校を開校 豊北中学校内に豊北図書室を開設
	18	2006	9	下関球場スコアボード電光掲示板供用開始
	19	2007	10	第28回国際・全日本マスターズ陸上競技選手権山口（下関）大会開催
	20	2008	3	「下関市子どもの読書活動推進計画」策定
			4	教育委員会機構改革 総務課を教育政策課と学校支援課へ分割 学校教育課を学校教育課と学校安全課に分割 指導課を廃止し学校教育課内に教育研修室を設置 社会教育課と青少年課を生涯学習課として統合 教育支所の課を廃止
	21	2009	4	幼保一体化施設「西市こども園」、「豊北こども園」開園
			5	彦島公民館リニューアルオープン
			11	下関図書館閉館
	22	2010	1	鳥山民俗資料館が下関市川棚温泉交流センター内に移転、開館
			3	下関図書館を廃止し、図書館政策課を設置 生涯学習プラザ開館
			4	中央図書館開館
			6	川中中学校が伊倉新町の新校舎に移転
			8	東行記念館開館 長州藩下関前田台場跡（前田砲台）が国指定史跡となる
	23	2011	2	教育委員会が教育委員会棟から上田中町庁舎（旧下関図書館）に移転
			4	教育委員会機構改革 教育部を設置 体育課の事務（学校体育を除く）を観光交流部スポーツ振興課に移管し、体育課を廃止 長府博物館、東行記念館を文化財保護課に移管 鳥山民俗資料館及び豊北歴史民俗資料館を人類学ミュージアムに移管 学校安全課内に生徒指導推進室を設置 適応指導教室「さくらやま」を教育支援教室「さくらやま」に改称
	24	2012	11	豊北歴史民俗資料館リニューアルオープン
			4	豊田西中学校と豊田東中学校を統合し、豊田中学校を開校
	25	2013	4	下関商業高等学校の新講堂が竣工
	26	2014	2	勝山公民館リニューアルオープン

平成	26年	2014年	3月	神田公民館廃止
			4	第二、第四、桜山、榎崎幼稚園を廃園 教育支援教室「さくらやま」の分室を、川棚地区及び小月地区に開設
			8	全国コミュニティ・スクール研究大会 in 下関開催
	27	2015	12	豊浦図書館が豊浦総合支所2階にリニューアルオープン
			3	「下関市子どもの読書活動推進計画（第二次）」策定 三豊、二見、田耕小学校を閉校
			4	西市公民館開設 中学生の不登校対策「文洋中学校分教室」を旧桜山幼稚園舎に開設
			5	第1回下関市総合教育会議開催 「下関市教育振興基本計画（下関市教育大綱）」策定
	28	2016	7	第23回世界スカウトジャンボリー下関市地域プログラム開催
			3	下関市教育センターオープン 教育委員会が上田中町庁舎から下関市教育センターに移転 殿居小学校を閉校
			4	教育委員会機構改革 教育研修室を廃止し、教育研修課を設置 生徒指導推進室を学校安全課内から学校教育課内に移管 歴史博物館を設置、学校安全課を組織改正し、学校保健給食課の設置
			5	教育支援教室「さくらやま」及び「文洋中学校分教室」を市立関西小学校に移転 し、教育支援教室「さくらやま」を教育支援教室「かんせい」に改称
			10	下関市立図書館のコンピュータシステム更新
29	2017	11	NHK全国学校音楽コンクール（小学校の部）で勝山小学校銅賞受賞 下関市立歴史博物館開館	
		3	神田小学校（西神田町）を閉校	
		4	関門海峡が「関門”ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」として 日本遺産に認定 教育支援教室「かんせい」の分室を、長府地区に開設	
30	2018	10	NHK全国学校音楽コンクール（小学校の部）で勝山小学校銅賞受賞（2年連続） 「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記録」に登録	
		3	「下関市立図書館基本計画」策定	
31	2019	4	旧菊川体育館を菊川中学校体育館として学校支援課に移管	
		2	勝山御殿跡が国指定史跡となる	
令和	元	2019	3	神玉、神田小学校（豊北町）を閉校
			10	NHK全国学校音楽コンクール（小学校の部）で勝山小学校銅賞受賞
			2	2020

教 育 要 覧

令和2年度

発行：下 関 市 教 育 委 員 会

〒751-0830

山口県下関市幡生新町 1-1 下関市教育センター

編集：下関市教育委員会 教育部 教育政策課

T E L 0 8 3 - 2 3 1 - 1 5 6 0